(明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可)

夕刊 八月一日

陸軍定期大異動

進級異動 千二百五十六名
待命人員 三百二十名

けふ正式に發表さる

【東京一日發】今回の陸軍定期異動進級人員は大將二名、中將及同相當官十九名、少將六十一名、大佐百五十九名、中佐二百四十五名少佐三百三十三名、大尉四百名、中尉二十一名、少尉十六名合計千二百五十六名で又待命人員は大將一名、中將十一名、少將二十三名…

第七師團司令部附 同 小倉 可夫
參謀本部附 陸軍少將 蒲 穆
第十四師團司令部附 同 秦 眞次
歩兵學校長 同 原田 敏一
第二師團留守司令官 同 安田 郷輔
豐豫要塞司令官

高田美明△歩兵第十六聯隊長同岡本忠雄△陸軍省恩賞課長同高田友助△歩兵第六十一聯隊長同金子因之△歩兵第三十四聯隊長同遠藤五郎△第七師團參謀長同天野六郎△臺灣軍參謀同服部兵次郎△歩兵第七十五聯隊長同野口純一△侍從武官騎兵大佐蓮沼蕃△騎兵第二十四聯隊長同林金象△騎兵第廿八聯隊長同笠井平十郎△陸軍省馬政課長同高…

轉補

補軍事參議官 陸軍大將 菱刈 隆
(關東軍司令官)
補軍事參議官 大將 渡邊錠太郎
兼航空本部長 同 緒方 勝一
補技術本部長 同 緒方 勝一
第一師團長 中將 眞崎甚三郎
第十師團長 同 本庄 繁
補關東軍司令官
第六師團長 同 荒木 貞夫
教育總監部本部長 同 林 仙之
野戰砲兵學校長 同 西 義一
侍從武官少將 瀬川 章友
補士官學校長
野戰砲兵學校教育部長 同 入江甚六郎
補參謀本部總務部長
歩兵第廿七旅團長 同 田代錠一郎
補陸軍省馬政課長
陸軍省軍務局課員 歩兵中佐 谷本 貞
任歩兵大佐補參謀本部庶務課長

總て白紙に歸って難問題を解決したい

けふ着任の斯波滿鐵顧問談

内田、江口新正副總裁に招かれて新たに滿鐵顧問に就任を見た東大教授斯波忠三郎博士は令息忠夫君を同伴務の吾入港の遲れたうらる丸で來連した、岡本港務局長、關根滿鐵審課長、小山工專校長等關係者に沖まで出迎へを受けたがサロンに刺を通ずると語る

滿鐵入りの話は内田、江口正副總裁の就任後兩氏からあつたので五六月頃だつたと記憶する、大連には大正十三年に旅順工大の評議員會のあつた時來たが、その際沿線その他を視察した、それに昨年の五月にはドイツベルリンで開催された動力會議に出席のため大連を經由した、大分職制の改正や人事の異動整理がある樣に噂されてゐたがどうなつたかれ、自分は主として各部の

技術方面 の事を總轄したものを司る樣に聞いてゐたし内田總裁の話では技術局とか技監とかいふものを置き各部に超然したものにするとの御意見らしかつた、自分は目下のところ學校の方が手離せないし、航空研究所の方の仕事もやつてゐる關係でこちらに專任といふわけにいかない、學校の方は來年停年だから何とかなるとしても航空研究所長の方はまだしばらくしなくてはならないだらう、まあ正式入社は來年の話だ、顧問として國家的事業たる滿鐵に出來るだけの

力を盡す 氣だ、内地の新聞に七月學校をやめる樣に出てゐたがあれは違ひで九月の初めまではこちらにゐる、昭和製鋼所の問題とか、撫順炭礦に關するものとか或は港灣關係の問題とか色々難問題があるがこれに對してはあの問題この問題といふわけでなく全く白紙で來てゐるまあこちらに來ていろ〳〵見聞しいろ〳〵教へて貰つた上で具體的問題に手をつけるのだ、それにたとへ意見があるにしろ、こゝではうつかりいへないぢやないか、まあ滿鐵の事を

いろはか らやると云つたら問違ひない、今度はボーイ代りに學校に行つてゐる子供を一人連れて來た、こちらには友人も多く教へ子も多い滿洲ドックの和田敬三君なぞよく知つてゐる

着埠と共に内田、江口正副總裁、伍堂、木村理事その他滿鐵幹部級の出迎ひを受けた【寫眞は上陸した斯波顧問×印と出迎への正副總裁】

日本人の北米入國

一ケ年に二百餘名を認める

米移民部會で採擇

【ワシントン三十一日發】全米商業會議所大會は三十一日開會されサンフランシスコ海運業者アレキサンダー氏は**東洋移民のアメリカ入國に歩合割當制の實現を期すとの建議案**を提出し、移民問題部會に附議された結果異議なく採擇、理事會に廻附されたが、實現後は**日本人は年二百餘人入國出來る**はずである

待命

技術本部長陸軍大將吉田豐彦△第八師團長中將三好一△第七師團長同新井龜太郎△航空本部長同古谷清△科學研究所長同黑崎延次郎△憲兵司令官同峰幸松△東京灣要塞司令官同石川漣平△造兵廠火工廠長同勝野正英△陸軍省經理局長主計總監中村精一△關東軍々醫部長軍醫總監宮崎弘隣△歩兵第廿八旅團長少將角田政之助△騎兵第二旅團長同…

若竹航空官

太刀洗聯隊長に

遞信局航空官航空大佐若竹又男氏は今回太刀洗飛行第四聯隊長に榮轉し、その後任には航空本部より航空少佐加藤正美氏來任の内命あつた、若竹氏は昭和四年七月太刀洗飛行聯隊(當時航空中佐)から關東廳囑託として來任、同年十月官制改正と同時に航空官となりこの三月大佐に昇級した、今回の榮轉で元の古巢に歸る譯で一日正午氏は往訪の記者に左の如く語る

まだ内命だけで本電報は來ません、だが一昨年七月來任して以來まる二年一ケ月、何等見るべき功績のないのを遺憾とする殊に民間飛行協會が出來かゝつて出來なかつたのは返す〳〵も念である、しかし個人的にはこの間滿蒙の事情に就いて多少なりとも勉强出來たのは大なる收穫であつた、後任に内定した加藤君は飛行機につき操縱、機關とも修得し非常に溫順しい有爲の士であるから航空官として最適任者であらう

厚東中將留任

【東京特電一日發】陸軍異動に待命を報ぜられた旅順要塞司令官厚東中將並に陸軍經理局長主計總監中村精一氏は共に留任…

菱刈參議官

赴任迄の日程

菱刈軍司令官は一日午前十一時三十分關東軍司令部に參議官親補の公報着電と同時に同四十分三課長以下一同を集めて轉任の挨拶を述べたが以後の日程左の如し

▲一日午後六時半より將校集會所において部内高等官別宴▲二日午後六時三十分官邸發赴連、大連神社、忠靈塔參拜、同十時滿鐵正裁挨拶、同十一時關東長官…午後六時半より關東…▲三日午後…校を官邸に招待▲四日旅順官民送別會▲六日午後六時半より滿鐵總裁送別▲七日白玉山參拜、旅順市内挨拶▲八日午後一時三十分旅順驛發同二時五十分大連驛着關東倉庫に宿泊▲九日午前九時三十分ばいかる丸乘船離連

約三週間に亘り滿洲各地を視察

滿鐵正副總裁一週間後に出發

内田、江口正副總裁は去月十一日着任以來連日異常なる精勵を以て理事の更迭、六年度實行豫算の緊縮更正、職制及び給與の改正、人事の異動整理を順次斷行し社業の基礎確立と社内人心の一新を圖つたが以上の重要事務が一段落着いたので、正副總裁同列で近く沿線及び支那側鐵道沿線各地巡視に赴…

上海會審衙門引繼終了

【上海一日發】フランス租界にある會審衙門の引繼ぎは昨夜六時か…

南部男後任

【東京三十一日發】公正會の選擧母體協同會は三十一日幹事會で男爵議員故南部光臣男の後任として現島根縣知事大森佳一男に決定した

…倉地方事務所長が全員の名簿を持參し滿鐵本社に赴き木村理事と細目打合せの上決定する筈で一兩日中に發表されるやうである、尚奉天地方事務所は制度改正と共に全所員の解散式を行ふこととなつてゐる【奉天電話】

犬や鳩に例へて邦人の覺悟諷刺

榮轉した菱刈將軍

關東軍司令官菱刈隆大將は一日付を以て豫ての内命通り軍事參議官に親補、宮中軍事參議院出仕を仰付られ九日ばいかる丸にて東上の筈であるが、榮轉の將軍を軍司令官室に訪へば語る

どうも色々お世話になつた、來任一年餘り全くこんなに良い處はなかつた、君等が一向可愛がつてくれぬものだから到頭行くことになつたよ、可愛がるといへば僕は昔から犬が好きで今でも五匹の犬を飼つてゐるが

犬飼育の 秘訣は全く可愛がることにある、餘程旨い物をやるし、善いことをした時は心から賞める、惡いことをした時は大いに叱るといふ具合に又個々の氣質を良く見分けて飼育しないと直ぐに隣のお溜を漁り主人のいひつけも聞かぬものだが是は獨り犬だけではないので人間の教育もその通りだ、又この犬と云ふ奴は周水子飼育場のセパード等一ド噛みついたら最後打たれても蹴られても死んでも放さぬ、先日も石炭泥棒を到頭噛み殺したさうだが我々の對滿方針も是でなくてはいかぬ、學良氏が何といはうと南京政府や列國がどうしやうと打たれても叩かれても

目的を達 するまでは決して噛みついたまゝ放してはいかぬ、それから僕はあの傳書鳩飼育を一度君等にも見て貰いたいと思ふ、あの平和な鳩…よつてでも脅せばもう歸…ぬよ、附屬地や州内の日…殊に支那人はよく彼等の…理解して心から日本人に…尊敬の念を抱かしめ彼等…心底から日本に頼らしめ…に皆がその心懸けでやつ…ればならぬ

と豪毅な野武士的將軍は天然村長者に成りすまして犬…

本庄繁氏 香椎浩平氏 二宮健市氏 龜井盛隆氏 宮崎弘隣氏 小野寺吉氏 土肥原賢二氏 渡邊友松氏 若竹又男氏 大沼正輔氏

賀陽宮恒憲王 少佐に御進級

【東京一日發】本日の陸軍定期異動と共に賀陽宮恒憲王殿下には左の如く御進級あらせられた

任騎兵少佐 騎兵大尉 恒憲王

進級

任陸軍大將(各通)
陸軍中將 渡邊錠太郎
同 緒方 勝一
…
任陸軍中將 香椎浩平
…
任陸軍少將(各通)
…
任主計監
…
任軍醫…(各通)
龜井盛隆

奉石兩軍休戰狀態

保定附近は豪雨のため

【保定一日發】昨夜來豪雨襲來戰線一帶濁流溢れ、三日に亘る激戰も奉天軍優勢の儘自然休戰の形となつたが、奉天軍は雨の歇むのを待つて石家莊に進擊すべく準備中である

韓軍は中立態度

表面中央擁護を通電

【天津卅一日發】石友三軍の旗擧げ後態度を注目されてゐた韓復榘氏は遂に娘子關を下り三十日附を以て中央擁護の通電を發した、然し韓軍は大事を採り積極的には中央軍、石軍何れにも加擔せず徳州に集中した軍で山東省境を守り最後迄中立的態度を採る模樣である

石軍士氣鼓舞

給與窮乏を利用

【北平一日發】石友三軍は軍事行動開始前から給與甚だ惡く列車内で僅かに饑餓をしのいでゐる有樣で幹部はこの點を利用し平津地方に達せばこの窮狀を脫し得べしと宣傳士氣を鼓舞してゐる、若し石軍が平津地方に入れば同地は大混亂に陷るだらうと關係方面は多大の注意を拂つてゐる

蛇角

政友會十大政綱といふ大看板をあげる、看板に詐りあり、但し政綱に限る。

◇

五ケ年で日本は大金持ちになる國民は福々ものになる、ウソだとは思つても貧乏になる話よりはいい。

◇

世界有數の大貯水池を東京市がこしらへる、その中にウンと現ナマをためて置きたい。

◇

雨で奉石戰は自然中止、凉しい天氣のいい月夜にだけ夜襲しますぞ。

◇

手當五割増で士氣を鼓舞するのもあれば、都會へ出たら金も女もと士氣を操作するのもある。

人事

▲猪子一到氏(大連鐵道事務所長)新任挨拶のため一日市内各方面歷訪
▲福田又司氏(同車務長) 同上

パス・ルームの電氣が開いた戸口から、隣りの部屋へパーッと射し、明るくなつた部屋の中央に、磊三が足を踏ん張つてゐた。洋子にお湯をぶつかけられ、顏をしたゝか濡らしたが、そのためいくらか醉ひが醒め、足許などもよろめかなかつた。横濱一流の貿易商であつた。

…憎惡に充ちた鋭い眼で、…さうに睨んでゐた。それが磊三には堪らなく…た。彼はニタリと凄く笑ひ、…と、その面へ唾が張りつ…りと迫つて飛びかゝつた。「チ、畜生！唾をかけたな」「あたりまへよ！ッ、穢い…」

…て、彼女は耳を澄ました…隣の部屋からは何んにも聞こえない。流石に彼女の胸は踊り、羞恥で頬がほてる氣がした。

…くはあるが强い力で、…から突き上げられた。カーッと血が逆流した…それでも磊三は斷念す…

東亞の謎

國枝史郎 作
伊藤順三 插畫

大倉組の現場監督二名を馬賊拉去

西遼河橋の工事場を襲ひ 官兵と交戰し逃走

卅一日午前十時ごろ鄭家屯から約一哩西遼河橋梁改修工事現場監督として出張中の四平街大倉組詰所の三楠國義氏（三）は十數名の長銃を携帶せる匪賊の襲撃を受け馬賊のため縛られた儘倉庫内に押込められたが、午後一時頃に至つて現場から約五哩の地點の詰所にあつた山田亮一氏（三）のもとに急報があつたので直にモーターカーで谷本請負師と巡警二名を護衛として救助に向つたところ三楠氏を拉致し行かんとした馬賊は一齊射撃し山田氏は其際モーターカーから墜落した、モーターカーは非常な速力を出してゐたゝめに山田氏を救助することもできず其の儘八哩の地點に駐屯してゐた巡警の應援を求める一方、鄭家屯にも増援隊の出動を得協力して現場から約一千米突の地點に差し迫つたが、馬賊は山田、三楠兩氏を引連れて交戰しながら逃走した、官兵はこの時馬賊一名を射殺、一名を捕虜としたが遂に山田、三楠兩氏を奪回することができなかつた、當地大倉組土木課からは兩名救助及び善後策をとるため谷省三氏が、卅一日夜四平街に向つたが、大倉組では目下八方手を盡して救助策を講じつゝある

巖窟に人質を拉して馬賊團頑强に抵抗 千山で鞍山署員奮戰

馬賊團の所在を突き止めた鞍山署では松木署長以下警部補、刑事、巡査等四十數名が長銃及び機關銃を携行して大孤山に向つたが、この時賊團は早くも朝食を終り人質を伴れ雲觀を出發し五佛頂に攀ぢ上る途中であつたから松木署長は全員井上枝隊、山口枝隊、山本枝隊、松木本隊と各班に分ち、松木隊長は部下七、八名を引率し機關銃をもつて正面より攻撃し井上、山口、山本各枝隊は上石橋子より五佛頂後方に迂回し背後より襲ひ射撃を以て賊團を追ひ出し木本隊が正面より機關銃を以て威嚇する計畫を樹て前進したが、賊團は早五佛山頂の巖窟に入り込み見張り番を置いて嚴重に警戒し居り松木署長の前進命令に署員は山また谷と峨峨の岩壁を攀ぢ登り或は密林の中を前進したが折柄の夕立に會ひ雨中を衝いて激しい交戰を開始し、銃聲は天地に轟き悲壯を極めたが地の利不案内なる警官隊は惡戰苦闘四時間に亘り午後七時頃日暮れに至るも尚逮捕に至らず一時休戰狀態となつた大孤山寨高所では恢のき焚出し湯茶の補給等をなし若し萬一の場合を慮り擔架繃帶藥品等を準備して居たが、夜に……

電園にモダン花園 夕涼みに好適の散策場

電氣遊園に滿鐵自慢のモダン花園が出來あがつた、イルミネイシヨン塔の隣の高地約四百坪に種々の洋花を植え純白のベンチを並べて夜は煌々と五百燭の電燈が數箇所に點ぜられ夏の夕涼みには好適の散策場である、今てうどカンナが美しく咲いてゐる

將校泥醉し鞍山醫院で暴行 土足をとがめられて

海城野砲兵第二聯隊將校十數名は三十一日午後七時頃より鞍山柳町一樂に於て懇親宴を張つたが、某少尉は其の歸途、午後十一時頃鞍山滿鐵醫院三病棟日光室に入院中の妻女を見舞ふべく來院し、泥醉して靴履のまゝ室内に入りたるより三好守衛が靴を脱いで病室は靜かにして下さいと注意するや、彼は無法にも生意氣云ふなと同守衛を毆打して左手に傷を負はせ日光室の扉硝子を打破る等亂暴の限りをつくしたので憲兵隊、警察に通報したところまたく事務室に於て亂暴狼藉を働きたる故三好、田淵の兩氏が取鎭め、來院した憲兵隊に引渡した【鞍山電話】

九十萬圓の小切手紛失 七千圓詐取さる

【東京一日發】三十一日午前九時頃市外澁谷町上通り三の三六明治……九枚の小切手總額九十萬圓が何時の間にか消えて無くなつてゐるのを發見、直に東京手形交換所へ詐欺されたと小切手の支拂停止届けをなすと共に支店關係銀行へもそれぞく支拂停止方を通知した、交換所ではこの屆出と共に嚴重警戒中であるがこの手配中日本橋通三丁目川崎第百銀行で右小切手中七千圓が引出された後でこれを知つて地團駄踏んだが後の祭りで川崎第百銀行と明治銀行との間に紛擾を起してゐる

一決して午後八時半ごろの臨時發運行電車にて署員四十數名みな無事にて引揚げたが賊團は「北國」と云ふ頭目の部下にて蒙古人數名を交へた大馬賊團であると【鞍山電話】

財團法人の創立總會 五日に力行會

財團法人大連力行會期成會では五日午後三時から市社會館に於て財團法人大連力行會の創立總會を開き左記議案を附議すると
一、基金及び資金募集その他報告の件
二、財團法人大連力行會寄附行爲議定の件
三、現在の力行會承繼に關する件
四、理事長、理事及び監事選擧の件

市長を相手取り慰藉料請求訴訟 糞便車に轢殺された幼女の兩親と祖父母から

北大山通り十一番地六の九滿鐵大連機關庫機關手河合博章、同人妻こと、同人父芳松、同母ヒチの四氏は一日附連名で大連市長田中千吉氏及び大連市の使用人たる市内白菊町九一の三江頭巳之助氏及び同じく西崗街沙河家屯一九八首琴鈁段德成の四名を相手どつて大連地方法院へ慰藉料、損害金一萬圓の請求の民事訴訟を提起した
訴狀によると原告博章の長女あつ子（三つ）さんは去る六月廿四日午後三時半ごろ、實母に連れられて自宅前の道路で近所の子供と共に遊戯してゐた處被告段德成は大連市役所の糞便馬車を馭して通行し傍らのテニスコートでテニス遊戯に見惚れてゐる中馬がひとりでに走り出し、あつ子さんは車輪に轢かれて頭部を粉碎され堀江病院で手當した加療も効なく死したが、あつ子さんは夫婦間で結婚生活十年後に出來た一粒種で、掌中の珠と鍾愛してゐたものだが、市の使用人たる段の重過失から遂に死に至らしめたことは精神上の重い打撃だから加害者段及びその監督者及びその直接上司江頭氏及び大連市代表田中市長は連帶して金一萬圓の慰藉料損害金を原告四名に支拂へといふのである

簡閱點呼好成績 卅一日で終る

大連における關東軍司令部の六年度簡閱點呼は高野中佐執行官となり……門學校に於て施行されて來たが三十一日を以て終了した
期間中令狀交付不能一名、無屆不參者二名、病氣屆出不參十九名入監のため不參者九名、其他事故のため不參者四名で參會者數は一千六百二十六名、この中遲刻參會者は二十六名であつたがこれは不注意から點呼令狀の期日に目を通さなかつた爲め當局の通知により遲れて參會したものである
なほ當局はこれを機會に參會者の職業調査を行つたがその結果無職者百五十三名、約一割と判明した
成績は昨年に比し遙かに好く殊に既教育者にその著るしき向上を見たがこれは各在鄕軍人分會に於て競爭的に日頃の訓練を行つてゐた結果で思想的には注目すべきものがなかつたと

赤痢患者が絶對多數 沿線の傳染病

七月中に於ける滿鐵沿線の傳染病發生狀況は赤痢三百三十三名、チフス十八名、猩紅熱十四名で赤痢は例年同樣絶對多數を占め殊に撫順の三十九名が最も多く人口に對する比率は本溪湖、四平街、長春天の九十名、長春の五十三名、撫順が最多である、之を前年同期に比較すると昭和四年四百九十四名、五年三百六十八名、本年三百六十六名で本年は氣候不順のために極……昨年同樣の發生患者數を出してゐる、然し四月以降累計に於ては昭和四年四八三、同五年六六四、同六年五一三で逐年減少しつゝある

早廻機 莫斯科出發

【モスクワ卅一日發】三十一日午後五時二十分（日本時間八月一日午前零時二十分）當地を發したアメリカ飛行家パングボーン、ハーンドン兩氏の世界早廻り機の當地着までの所要時間は約七十七時間でポスト、ゲッテイ兩氏の記錄と比較すると九時間五十六分多くかゝつてゐるのでシベリアでこれを取返すべく非常な意氣込みである

明日午前十一時を期し天龍武藏山決勝戰 相撲場は九時に開放

大日本相撲協會の大連神社奉納相撲千秋樂たる卅一日の選士權爭霸戰決勝戰に於て當代人氣力士の天龍對武藏山の一戰は俄然白熱化し水入れ二回を行ふも決せず遂に十五分休憩後再試合行ふもまた決せず遂に協議となつたが、協會側では同夜深更まで幹部集合の上種々協議するところあり、又一日午前當地後援者たる大連神社氏子總代、滿鐵、大每大連支局、大連新聞並びに本社等の關係者等と種々協議の結果この意義ある選士權大會の趣旨を完うするため武藏山對天龍の再決勝戰を明二日午前十一時を期して電園下土俵に於て擧行することに決定した、實に昭和相撲史に特筆大書すべきことで武藏山は家庭の事情上一日上り機で歸國することに決し、三十一日すでに切符を購入してあつたが、この協會側の申出を快諾し又天龍は角道精神より再試合を希望して居りこゝに協會並に兩力士の角道精神の一致を見て斷然擧行されるとに決定したのである、なほ又協會側では大英斷を以てこの一戰を角道獎勵のため大連神社奉納相撲擧行するに際し盡力した主なる人々並に各力士後援會幹事に招待狀を發する以外は一般に公開をなすこととなり午前九時開場することゝなつたが何分收容力に限りがあるので滿員の節は入場を謝絶すると、天龍か、武藏山か、けふの一戰に若し四つ相撲ならんか天龍は武藏に對して角道入り古く、宮城以來の四ツ相撲巧者として定評あるものであり、これに對する武藏は霸氣滿々たる新進氣鋭の力士で太刀山以來の强力士を以て鳴る力士であり、前者は熟練の士、一方は霸氣滿々たる士、必ずや千秋樂日におさらざる熱戰となるであらう（寫眞は上天龍、下武藏山）

福券レースに賞品を增加 秋季競馬大會に出願 ブラッセはまたお流れか

大連競馬俱樂部では來る廿二日より六日間星ケ浦競馬場において秋季競馬大會を催すが、俱樂部では今期競馬より呼物の一千圓福券レースには一等一千圓、二等三百圓三等百圓は從來通りとして更に四等に五十圓を加へ從來の等外二十圓を三十圓に增加することゝして一日關東廳に願出でた
また競馬ファンより大いに期待されて居つたブラッセ（復勝勝馬投票券發賣）は前回の臨時競馬にもお流れとなり七月中には關東廳にて施行細則の發令なく今秋季競馬より開催される筈であつたが、未だ右發令を見ないのでまたくく今季の競馬にも折角期待されて居つたブラッセ……

朝の涼味を趁うて ㊄ 汐風に乘る樂しい合唱 星ケ浦の兒童海濱聚落

鐘 朝六時、起床の鐘が鳴り響く、三百の兒童が一齊に跳起きた睡い眼をこすりながら手拭を持つて洗面所に集まる、寢具の片づけ掃除、長い廊下を雜巾を押しながら尻を高くあげて兎のやうに往きつ戻りつする、睡寢だつた朝の空氣は俄にかき亂れて活氣づいて來た、こゝは星ケ浦溫泉ホテルの兒童海濱聚落場である。再び鐘がヂヤンくと鳴つた、七時の朝禮の合圖である、子供等はゾロぐと裏の廣場へ集つて行く、朝禮の式があつてから蓄音機に合せてラヂオ體操が初まる、それから……

水 こゝは樂しい星ケ浦こゝは我等の樂園だすつかり胸をふくらせてすつかり背を伸ばしつゝ泳げ潮の波の上もぐれ千尋の海の底
胡藤の樂隊に集つて爽かな朝の空氣を吸ひながら海濱聚落の歌の稽古がはじまる「皆さん大分上手になりましたが初めのところが少しいけませぬ、こんどは寫天組丈け唱つて下さい！」先生はハモニカをタクト代りに振つてゐる、先生も子供も浴衣や着のまゝで學校の教室とはうつてかはつた聚落らしい輕い氣分である「聚落の……

泳 子供は沿線の小學校五年以上の生徒中健康者だけを集めたもので、今來てゐるのは第二回目の奉天以南奉天の春日、敷島、敷島、附屬遼陽、海城、鞍山、營口、大石橋瓦房店の生徒三百七名である「第一回の人達は恰度雨期にぶつかつて困つたさうですが、この組は天氣が好くて幸せでゐます、平常海を見ない子供が多いので大連に着いた初めての日などは一時も早く海岸に飛び出したがつて大騒ぎでした、八日間の聚落中大部分は泳げるやうになります、昨年などは歸る時に泳げない子供はたつた四人しかゐませんでした」と附屬の先生は云ふ
三度鐘が鳴る、さあ水泳だ、先生につれられて海岸の脱衣場へ、ザンブと身を躍らせて海の中へ、白い波が無數にはねる「泳げ潮の波の上」だ【凸版は合唱する聚落生】

三時間遲れてうらる丸入港

定期船うらる丸は三十日門司を出帆後濃霧に襲はれ難航に難航を重ね一日豫定より約三時間遲れて入港したが、同船では新たに滿鐵顧問に招聘された斯波忠三郎博士、京都佐伯病院長佐伯信男氏、永らく滿鐵にあり今回勇退した井手正壽氏も乘船
主として各地の農村狀態と社會施設の問題をゆつくり見て來た、やめても當分大連に居るつもりだ
次に大汽重役神戸支店長長阪清太郎氏
いつも夏には一寸本店に顏を出すよ、社務の打合せに來た丈さ只海運界は相變らずの不景氣さと來連用件を語らない、その他關東廳衞生課長星子敏雄氏、鑑護士湯淺唯二氏等と頗る賑々しい顏ぶれであつた

歌扇の宿代踏倒し事件送局

元般大連劇場に出演した女歌舞伎中村歌扇（四）は四月二十二日から六月十二日まで市内吉野町六番地名古屋旅館に宿泊し宿料二百四十圓二十錢を不拂のまゝ離連したといふので名古屋館主藤原物兵衞氏から詐欺の告訴を大連署に提出され巡業先の安東警察署で取調べを受けたが「宿料は勸進元が支拂ふべきもので自分に責任はない」と抗辯した、しかし一件書類は一日附大連檢察局に送られた

僞電事件送局

松竹映畫上映權をめぐる僞電事件は大連署司法係藤本警部補の手で鋭意取調中のところ一日罪狀明白となり僞電發信人小田英治は私文書僞造、僞電送達紙を寫眞に撮り松竹關西支社に送り、上映權を取りの策動をなした常盤館主吉田辰三は營業妨害、信用毀損で送局され、兩名の身柄は寬前に刑務支所に移された

明大歡迎會

明大豫科野球部一行は三日入港の奉天丸で着連するが、同大學校友會關東州支部では三日夜六時三十分より扶桑仙館に於て同チームの歡迎會を催すが出席希望者は加藤（電四六六七）岡島（七四七二）兩氏宛申込まれたしと會費三圓（當日持參）のこと

常盤校同窓會

大連常盤小學校では二日午前九時から第十九回同窓會を開催するが、會費五十錢で辨當、菓子、氷の用意あり夜は七時から保護者慰安音樂會を開催、場内整理のため大人十錢、子供五錢

豆ゴルフ

大廣場、大連ベビーゴルフクラブでは一、二兩日午後三時より午後九時までの間に第三回のカップ爭覇戰を擧行することゝなつた、また常盤橋、中央ベビーゴルフ場は既設のコース過半數を改良しポピユラーなコースに變更した

天氣豫報 二日

東南の風 曇雨模樣

	一日午前十一時	三十一日最高
大連	二三、三	二七、三
旅順	二三、二	二八、五
營口	二八、〇	三一、四
奉天	二八、四	三三、五
長春	二三、一	三一、四

滿潮（午前零時十五分／午後零時三十五分）
干潮（午前六時十分／午後七時十分）
暴風警報 一日午後一時南滿沿海方面を警戒す

けふの小洋相場（正午） 金百圓は二五四圓七〇錢

暗流阿修羅館 (142)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

三百萬兩事件(二八)

久々で、曲直瀬鐵門が角海老樓に訪れて來たが、もう九重太夫は昨日何者かに落籍されたあさだつた。

曲直瀬は武士姿、大家の老職のやうな服裝。

(何さ、あの時の侍が立派になつたものだらう)

「旦那樣は御存じなかつたのでございますか」

角海老の主人は仲間六七人さお伊勢樣へ、お詣りに行つて半月ほど前から不在である。一切を任されてゐる番頭九六、四十七八の少し輕いが、年だけの分別顏、丁寧に一々頭をさげて

「はてれ」

さ、そばの若い者たちを見た。

「あの時の書き物を出しな」

さ云ひつけて

「手前方さいたしましても、九重太夫は、いはゞ角海老樓の一枚看板でございます。九重太夫があつて角海老が有名になりました位、誰が何さ云ひましても、人手に渡すものではございません、たさへ伊達の殿樣がおいでになりましても、島津の殿樣がぜひさ御懇望なさいましても、いつかなお渡ししない積りで居りましたのでございます」

「うむ」

「が、旦那樣からのお話ではさうはいきませぬ。手前方にも義理がございます。わけて主人はこれがやかましうございます」

「一寸待て」

「へえ」

「旦那樣からのお話さいふのは……」

「へえ旦那樣で……」

目をぐるりささせた。

「さいふのは誰のことだ」

「旦那樣のことで……」

「だから、誰のことかさいふのだ」

「貴方樣のことで」

「私のことか」

「へえ」

「默れ!」

「へッ」

「私がどうしたさいふのだ」

「ま、ま、まつて下さいませ」

「……」

何だかわからぬうちに、そのやうに……」

「何が何だかわからぬから怒つてゐるのぢや」

「ま、すつかりおきゝ下さいませ。私も腑におちないことがございますので、先程、はてな、さ申したのでございます」

「次を早く云へ!」

「旦那樣の前でこのやうなことを申しますのは甚だどうも慾ばつて居るやうでございますが、あの九重太夫がゐるさゐないさでは餘程みいりがちがふのでございます」

「そのことはいま聞いた、次を云へ!」

「へえ、でございますからして」

「同じことを云ふな!」

「へえ、へえ、何處まで話したのでございましたか」

「馬鹿!」

「へえ」

「誰が落籍して行つたゞ訊くのぢや」

「貴方樣でございます」

「……」

曲直瀬は默つて九六を睨み返した。

「貴方樣からの書面に百五十兩添へて、一人の若いお侍がお見えになりました。へえ、そのやうに手前方にさつては何よりも一番大切な玉でございますから、他樣ならば何千兩の耳を揃へられ樣さて、決して手放しはいたしませぬが、他ならぬ貴方樣」

「默れ!」

「へえ、貴方樣の親元身受でございます、義理を知らぬ樣な私ではございません、まして當角海老樓は……」

「默れ!」

語學劇 八、九日大劇

大連語學校同窓會の主催にて八月八日(土曜日)及び八月九日(日曜日)の兩日大連劇場に於て第三回語學劇大會を開催することゝなつたが、元來語學劇は實用的外國語の精華さもいふべきほどのもので之に成功することは至難であるが同校にては既に去る大正十二年滿洲に於ける最初の試みさして語學劇を公開して好評を博したが、今回開演する語學劇は日語劇登場者五名、英語劇廿名、華語劇廿五名、合計五十名でプログラムは左の如し

▲蒔子換象支那語劇▲菊池寛作父歸る日本語劇▲中村吉藏作盲者日蓮英語劇▲蘇武牧羊支那語劇

因に今回の語學劇は同窓會が母校復興資金募集の一助さして開催するもので會券一圓學生券半額である

噂話

寶館がいよく近く一部改築工事に着手するのでその間休館するため映畫戰線異狀は圓滿裡推移するらしい▲即ち現在寶館が上映してゐる帝キネさ東亞のまゝ大日活に上映される豫定の▲時期は多分來る六日からだらうさ觀られてゐるが、吉田氏對映畫會社、長氏對映畫會社の契約に關してはまだ何も發表されてゐない▲この兩氏の妥協乃至契約內容如何によつて更に寶館改築後の映畫戰線が豫想され、確定するが、これはまだ本極りになつてゐないのがほんさうだらう▲南座は「十六夜淸心」をあげ乍らスッカリ天華に喰はれ、その天華がまた日延べで立並んだアンペラビルに押され氣味である

夜目遠目

不景氣も何のその許り殖りダンス熱はいよく高まる一方でこの方面を見てもダンスくカフエー命令條項が出るまではダンスを組合で習つて踊りたくて堪らぬ、小園子の連中が盛んにカフエー街へお客を誘つて進出したものだつたが、その後どうなつたのやら。

このダンス時代に投じて果然目覺めたのは西檢で、お客の筋からいつてもダンス好きが多い譯で大抵の家では廣間に蓄音器を備へつけて賑やかにやつてゐる。

大檢では噂のあつた淺月が角の藥屋の二階をいよくホールに改築することになつたらしい。

樂屋から覗いた芝居 擬音のこと・その外いろく (三)

立花寛一

生意氣な歌舞伎の新人さやらいふ手合の階級意識呼ばはりは近頃へソ茶の至りであるが「縁の下の力持」の恐らくは語源であらうさ解せられるものに「穴番」がある。穴番一名「廻し」で舞臺を廻す役である、舞臺を廻すこの何さ命がけの蠻力の要るものであることよ! 彼等は嚴冬さ雖も裸で汗を流してゐる、而も劇場建築の大資本化、電化は何千貫の大舞臺がスヰッチの釦一つ押せば動く時代が出現して、穴番なる職業もやがては戸田教授の「職業總覽」からさへ姿を消すに至るであらう。

……小道具方である、小道具受持ちの仕事は、考へて見るとまたくいくらもあつた、家財道具が小道具である以上、行燈に灯をさもすなども當然小道具の責任に屬するが、明治何年か初めて劇場に電氣が用ゐられてや(今では理學士どの工學士どのの擔任する電氣係であるが、その現在でもなほ且つ電氣や電燈はそのまゝ用ゐられて居る)なるものが出來た時である、舞臺の照明以外の點燈も小道具を離れて電氣やの方に移るものであらうかと云ふ重大なる疑問が起つた。

この問題は勿論新職業に對する勢力の反抗乃至は權道の一つの表現であつたが、そのとばつちりを食つてひどい目に遭つた役者も少くない、電燈初期の頃で停電が頻發する度に、この點燈責任者論が繰返されたと云ふのだから、時には一幕闇の中で芝居をしなければならない事件などもあつたものであつた。

小田の蛙の鳴く音をば
とゞめて敵にさゝられじさ

武智光秀が々獨語の彼方より現れ出でんさする緊張したシーンである、シーンと靜まり返つた中に諸君は蛙の鳴く音を聞くであらうだ、蛙の聲は茶呑茶碗の底と底とを擦り合せて出す、貝殼も使ふが野趣なやうでも茶碗の底が一番眞に迫るらしい。

その外雲雀や時鳥や大抵の鳴聲はそれくく專門に作られた笛があつて虫笛、鵬笛、鵯笛、河鹿笛、そ何れも小道具に支配される

本社特選 新將棋 (其六)

平手先 四段 △鈴木禎一
四段 ▲樋口義雄
【圖は三三銀迄の局面】
▲樋口氏 持駒 歩歩
△鈴木氏 持駒 歩

△七九玉 ▲三五桂
△二六飛 ▲四四銀
△八八金 ▲九九馬
△八九金 ▲同馬
△同玉 ▲七三桂
△七八玉 ▲八五香
△同銀 ▲同桂
△同馬 ▲五二金

【土居八段講評】△鈴木君は完全に敵の戰鬪力を無くする意味で七九玉と寄つて、敵馬捕獲の策を圖つたのは安全第一の好手段である▲其時樋口君は素直に馬を取らるゝ順になつては戰鬪力を失ふから、八三金打の含みを以て譜の如く三五桂と跳れたが、敵が八四飛と浮いて豫防したので、今度は方向轉換の目的を以て七三桂と跳れて、右翼より九勢を圖つたのは已むを得ない策である。

【萩原六段解說】鈴木氏の七九玉は敵の馬を捕獲せんとする安全策である。樋口氏の三五桂は次に二七へ金又は銀、即ち九八馬を犧牲にして打込まんとする含みである。鈴木氏の二六飛も至當の應手で、樋口氏の七三桂は次に八五香と決戰して同銀、同桂、同馬である。八七銀と必死をかけんとする含みである。鈴木氏の七八玉もその手順を避け安全を圖つたのである。

波瀾性に富む麻袋取引の話……（七）

市場中心の理想境へ

麻袋の定期取引は現に實施されて居る綿糸の定期と同樣に六個月建の長期取引で、當月限から第六個月限までである。賣買單位は最低二千枚として一定の標準物件——印度產鐵筋新麻袋——に就いて競賣買の方法により取引するもので、取引所の規定によつて受渡が確保されて居る、しかのみならず若し違約が起つた場合にも賠償制度が確立して居て取引所が違約者に代つて賠償の責に任じてくれるから安んじて取引が出來るわけである

◇

定期上場が愈々實現すれば取引制度はあらかた確立したことになる、殘された問題は運用の妙諦を發揮して市場に人氣を惹きつけることである。大連は勿論奧地沿線方面の顧客を市場に吸收して來ることも滿更至難ではあるまい。否奧地沿線方面の當業者には大連の定期市場を利用したい意向があるらしい。繫ぎ商内や買付けのために、加之在來の取引方法によると奧地方面ではその土地によつて荷關係その他から隨分不自然な爲相場が造られて當業者に惱みの種を蒔くやうな結果を見るが、大連市場と連鎖を結び隔地繫ぎを行ふときは斯うした弊から免れることが出來るであらう。

◇

地場商人の疲弊から輸入商は需要地中心取引に移らんとする傾向を示し出した——恰度往年の綿糸布取引のやうに。だが需要地中心取引が不得策であることは綿糸布に於てその殷鑑遠からず生きた例證がある。場外取引も平穩無事な時はいゝかも知れないが一朝事ある場合には恰度山陰破綻の際のやうなことになつたり、他の雜貨取引で見るやうな紛擾が起つたりすることがないとは云へない。加之場外取引で轉賣買戻しをすることは法に違反した行爲であるから出來ないことになつて居るだから輸入商としても市場取引さへ確立したら徒らに前車の轍を履むことをやめて市場取引に復歸するに吝なるものではあるまい。

◇

麻袋市場の復興を期するのには取引所理事者と當業者等が多分の熱と力とを以て協力一致事に當らなければならぬ。それが彼等自身の爲めにとるべき途であらう。彼等が市場中心に結合して共存共榮の實を示さない限りは市場の繁榮は期待し難い。假需要の極度に減殺された今日大きな期待をかけることは無理であらうが、一步一步漸進主義をとつて進めば市場の前途は强ち悲觀を要せないであらう

◇

麻袋が取引所の上場物件として適合はしいものであるかどうか、と云ふ點に就いては種々の意見があるが、前に述べた商品としての麻袋の特異性から見て或程度までもと云つて差支へあるまい。だが滿洲の需要家達が鐵筋麻袋を取引の基準として居ることは果して得策であらうか。鐵筋に限定したことによつて彼等は從來餘程不利の立場におかれてゐる。麻袋の本場のカルカッタ市場では仕向地によつて麻袋の種類が各々異つてゐる——織り方に於て、寸法に於て、目方に於て、筋の有無によつて。だから麻袋取引に當つて買手は賣手に對して種々な選擇權（オプションを有つてゐる。即ち長さの選擇權、幅の選擇權、鐵青の如き筋を附するや否やの選擇權、織造の選擇權（四百枚一梱か五百枚一梱か或はバンドの種類等）他種選擇權（ヘビー、シーの契約にライトシーの選擇を附するが如き）の五種がある。

◇

しかして鐵や青の筋を附するときは百枚に付四アンナだけ餘分の費用を要するのみならず鐵筋は滿洲向と限定されて外に捌け口がない隨つて需要家にとつては非常に不利なるを免れない無地や麻袋とすればビルマ、ラングーン、盤谷西貢等東洋各地に販路を有つて居るだけに變通性に富み、餘程有利になつて來る。露人や華商が鐵筋といふ在來の因習觀念から外脫して無地麻袋を東支や滿鐵の混保保管に採用するやうになつたら麻袋界はもつと明るくなり有利な取引が出來るやうになるであらう（完）

獨逸で新銀行創立

部分的モラトリアム撤廢のため

資本金二億マークで

【東京特電一日發】在ハンブルグ村上總領事の發電によればダルムシュテッター・ウント・ナチヨナールバンク開業を可能ならしめ以て現在の部分的モラトリアムを撤廢すべく廿五日ドイツ主要銀行十一行は政府中央銀行の斡旋で新たに資本金二億マーク四分の一拂込み引受け保證銀行設立を決議し二十七日政府自ら同行の銀行企業に參加し八千萬マーク散文の署、これに必要なる法令を發布、二十八日創立總會を開催した、しかして同行業務開始の曉には中央銀行の割引し得べき手形約七億マークを增大すべしといはれてゐる、觀測による來週初めから銀行拂出し制限の撤廢、中央銀行利上げと貸出し割引上の幾多制限の緩和等を期待してゐる

慮せられてゐたがドイツ政府の手によつて救濟される事に決定した即ち大藏當局は同銀行の新しく發行する株式八千萬マークを買上げ引續き新しく設立される保障及び引受銀行の手によつて更にその上の增資株も引受けしむる事に決定これにて同行は危機より救濟さる事となつた

獨逸國銀も歩合引上

一割五分に

【ベルリン三十一日發】ドイツ國立銀行は八月一日より公定割引步合一割を一擧に五分引上げ一割五分と改訂する旨午後九時發表した因に同行は去る七月十三日七分から一割に引上げ同時貸付利率を八分から一割五分に引上げたばかりである

ドレスデン更生す

ドイツ政府が救濟

【ベルリン三十一日發】一億六千萬馬克以上に及ぶ資本及び積立金を有するドイツ第二の銀行ドレスデン銀行は最近危機に瀕し頗る憂

佛國銀行の金準備激增

【東京特電卅一日發】佛國銀行の金準備が過去一週間に十二億フラン以上激增し總額約五百七十九億フランと云ふ未曾有の多額に上つた事は既報の如くだが一方同行の外國貨手持は同週間に一億六百萬フラン減少外國に於ける佛銀の短期貸付は九億フランである

六月關稅收入

【東京特電三十一日發】大藏省調査六月關稅收入は一千九萬五千七百六十三圓である

營業稅を牌照稅と改稱

縣で分擔徵收

煩雜な手數を省く

商務聯合會は營業稅徵收の煩雜な手數を省くため牌照稅と改稱して徵收したき旨財政廳へ交涉中のところこの程承認されたが、右徵稅額は五月より翌年四月末に至る總額一千百二十萬元を基礎としてこれを各縣が分擔して徵收するので、その方法は各店舖を一々調査する必要なく等級によつて徵收するから從來の如き煩雜な手數は省けるわけである【奉天電話】

遠洋、近海ともに夏枯期に入る

荷動きも漸く減退

運賃市況も振はず

大連港を中心とする七月中の海運界は遠洋、近海共に所謂夏枯商狀の氣配愈々濃厚となり荷動きも漸次減退し、運賃市況も振はず大體左の如き狀態であつた

近海方面　東洋各地方に於て降雨多量であつたため、農作物の作柄も勢ひ良好ならざる見込みのため、濠洲小麥の商談も稍々復活の傾向にあり、且つ降雨多量の結果は北洋材積出期が例年に比し長期に亙る見込で、大型船腹の需要增加の傾向を生じた、これがため近海船腹は前月に比し寧ろ減少したが、內地の季節的需要減退のため、海運市況は更に不振を呈した、尤も臨時大型船の來航が少かつた爲め運賃率も前月並を維持し居り、定期船腹を辛じて滿す程度で越月した

歐洲方面　前月以來引續き漸落步調を示しマバラ筋の商談も月半ば迄は相當に成立し、運賃率は大口近物二十志、先物二十一、二志にして約二萬噸前後の取引決定したが、月半ば歐洲筋の買氣頓に減退し、市場運賃も一志方低落したが、尚且殆んど商談成立せず夏枯商狀は漸次濃度を加へてきた、豆油、豆粕も又極めて閑散裡に終つた但し歐洲同盟より爨に脫退したオランダ東亞汽船が本月十七日を以つて再び同盟に復歸したので、同盟運賃は競爭以前の定率に漸次復歸の氣運に向つてきたが、當地市場運賃にも多少好影響あるべしと觀測されてゐる

臺灣九州方面十錢、袋物は各一錢乃至二錢高を維持し居り、豆粕百斤につき阪神六錢、京濱七錢、

米國方面　特記すべき材料なく依然雜穀運賃は二弗七十五仙を維持し居るも荷動き閑散であつた

下旬貿易出超の理由

【東京卅一日發】七月下旬貿易は八百九十六萬圓の出超を示し中旬出超額五百廿一萬圓よりも更に增加した、增加理由は主として
一、生糸輸出の增加
二、綿糸布輸出激增
に基くもので生糸は前旬八百十二萬圓、數量一萬二千八百七十八俵に對し下旬は一千百十九萬圓、數量一萬九千四十二俵に激增して居り本年に入り一旬生糸輸出の記錄である、又綿糸布は前旬五百四十一萬圓に比し下旬は九百萬圓に激增してゐるが之は主として支那の排日を見越し輸出急增せるに基き又支那外の重要地への輸出も相當多かつた事も原因である、棉花輸入も幾分多く其の他の雜品も輸出入共多少增した、一般貿易業者は今後の成行に就き支那の排日あるも樂觀してゐる

上海連絡を廢し神戶を經由

英米トラストが大連港向の輸入貨物に新徑路を

大連港における二重課稅問題が起つて以來上海その他支那通商港を連絡とした外國貨物の大連輸入に對しては甚大な影響を蒙り、從來大連港に揚げられたものも反稅廢止の結果營口に廻るものが多くなつたが、しかるに最近また二重課稅の結果輸入貨物の運送徑路に新しき變化をみんとしてゐる、即ち

大連經由　の輸入貨物の最大なる一つとして莫大に輸入されてゐた英米トラストの葉煙草は從來上海連絡となつてゐた爲め今回の二重課稅問題以來隘らずも皆大連を回避し營口に陸揚げされるに至つたが最近新しい試みとして米國を發した英米トラストの煙草は神戶を經由し大連港向の新運送徑路をとるに至つた、既に前後二回にわたつて千噸宛

神戶經由　送られて來たが運賃の關係上未だ果してこの徑路が利益か否か疑問視されてゐるが、各汽船會社の貨物弄合の激しい折柄この運送徑路の變更は注目されてゐる

國際化した金融市場の惱み

資本は國際的に流動する。金利安く、銀行に金を預けて置いても僅かな利子しかとれない、不動產や有價證券にも安全にして有利なものがない——となると、資本は外國へ出稼ぎに行く。

ウオール街の恐慌

一九二九年の夏、ニューヨークの株が熱狂的に昂がつた、全世界の資金がウオール街へと吸ひよせられて來た、九月末日にはブローカス・ローンが八十五億五千萬ドルになつた、コールマネーは一割（百圓につき日步二錢七厘三毛に當る）以上もしたものであるからあいてゐる資金は潮の如くウオール街へと流れ込んだ。
一九二九年の九月五日からニューヨークの株式市場に大反動が起つた、餘り株があがりすぎたので誰も彼も何となく危險を感じ出したのである、資本は臆病である、危いとなると先きを爭つて逃げ出す、ヨーロッパからアメリカに入つてゐた株式投機資金は急激に引出された、十一月には三千萬ドル續いて十二月には七千三百萬ドルの黃金がアメリカから流出した、貿易關係ではない、ヨーロッパから入つてゐた投機資金の回收である。

ロンドンの受難

ヨーロッパの大戰が起つた時もそうである、ロンドンの金融市場は大混亂に陷つた。
一九一四年七月二十四日（金曜日）にオーストリーがセルビアに最後通牒を送つた。
そうすると忽ちロンドンその他の株式市場は大恐慌を起した、猛烈な正貨の引出しが始まつた、イングランド銀行は七月三十日に金利を三分から四分に引上げた、その翌日更に四分から八分に引上げた、その又翌日即ち八月一日には一割にした、その後日曜と休日とがあり、八月四日から十一月四日まで三ケ月間はモラトリアムとなつた。
宣戰布告前の一週間にイギリスから總計四百二十萬ポンド（四千二百萬圓）の正貨が流出した、イングランド銀行の正貨準備の如きも七月二十二日に三千八百五十萬ポンドあつたものが、八月五日には二千六百萬ポンドに減つてしまつた。

フランスの强味

ニューヨークにしても、ロンドンにしてもその金融市場は非常に國際的である、常に莫大な外國の資金が入つてゐる、何か事が起るとその資金が急激に引出される、そして財界はひどい打擊を蒙るのである、これが國際化せる金融市場の惱みであり、弱點である、體內に何等の病を持つてゐないでも斯うした外傷によつて大出血を來せば身體はめつきりと衰弱する。
ドイツは資本に乏しい、ドイツの產業は外國から長期の資金を借りてやつて居るのである、長期の資金は俄かに引出せないが、短期の資金は直ぐ回收される、今度の不安で一ケ月に九億マルクも引出されたのであるから、これがドイツに大痛手を與へたのである。
國際化せる金融市場を持つことは便利であるが、今度のドイツのやうな目に遭ふのではやり切れない、そこへゆくとフランスは强い、いつも引出す方の側で、引出される心配がないからである。

滿洲產米

弱含で保合

先行は天候次第

內地米穀輸入禁止に直接影響をうけた滿洲產米は爾來供給過剩の悲觀材料と一般金融機關なきため農家筋の賣り急ぎもの續出し本年一月には斤當り糶一錢七厘と空前の底値を示したが、狀勢の小安と有力筋の賣り惜みさらに思惑買進みもの續出で五月には三錢五厘まで續騰したが、六月に入り沿海米の或克入荷と新米氣構への農家賣り急ぎもの續出七月に入つて二錢八厘に續落した、內地產米は天候不良の强材料を受けて二回方急騰現に二十二圓の新高値を見せてゐるが、當地は輸出禁止の鐵鎖により何等の反響なく、今後とてもこの狀態は變るまじく依然二錢八厘、石十三圓に稍含み保合つてゐる、先行はたゞに天候次第と見られてゐる

東拓改革案

兩三日中に發表

【東京一日發】東洋拓殖株式會社は宮原總裁以來內部組織改善の準備を進めてゐたが、最近成案を得拓務省の認可も得たので目下大藏省の諒解を求めてゐるが兩三日中に改革案の發表を見るはずで骨子左の如くである
一、秘書課を廢止し總務課を設置す
二、調査課、監査課を合併して監理課を置く
三、貸附、經理、資金、事業の各課の存置
四、京城支店はそのまゝとし京城業務課及土地改良部を合して京城支社とす
五、從來の社內規一切を結合して新に業務內規定を制定す
なほ來議會にはこの方針を徹底せしむるため東拓法改正案を提出するはずである

朝鮮の窮民救濟工事

愈よ繁忙期へ

【京城特電卅一日發】朝鮮總督府の窮民救濟土木工事は昨今いよいよ繁忙期に入つたので全鮮各地の工事に從事する勞働者は約七萬人に達し、賃銀は最低金二十五錢、最高七十錢で每日三萬五千圓餘を任拂つてゐる、八九十月は土木工事の書入時期であり一方農繁期を經過する關係上一層窮民の出稼するもの增加する模樣でこれが地方經濟に及ぼす影響は大したものだらうと期待されてゐる

輸組理事俸給

年額五百圓減額

各地輸入組合理事の俸給は諸附帶給與に分たず一本に滿鐵より支給されてゐるが時節柄滿鐵において は今後一率に理事一名につき年額五百圓を減額することになつた

滿洲見本市約定高四十三萬圓突破

半ば以上は服裝附屬品で食料品は極く少い

第二回滿洲見本市約定高はその後追加あり、昨卅一日締切の正確數は四十三萬五千廿四圓にして、これを部別に示せば左の如く第二部服裝附屬品が半以上を占め第一部家庭用品これにつぎ、第三部食料品は一番少い、次に邦商並に外商別の約定高を示せば左の如く邦商が八十五パーセントを占め、外商十五パーセントの割合で昨年と略同樣のパーセンテージになつてゐる

▲部別約定高

	口數	金額
第一部	八九八	一一〇、九四四
第二部	九五九	二四八、六五三
第三部	一七二	七五、四二六
計	二、〇二九	四三五、〇二四

▲邦商約定高

	口數	金額
第一日	一五七	四三、九九九
第二日	五七八	九四、八三九
第三日	九二四	二三一、三九七
計	一、六五九	三七〇、二三六
割合		八五パーセント

▲外商約定高

	口數	金額
第一日	四〇	三、九四五
第二日	一四三	一〇、六一三
第三日	一八七	五〇、二二九
計	三七〇	六四、七八八
割合		一五パーセント

血迷つた日貨檢查隊

【上海卅一日發】反日會の不法行爲に對する市政府當局の取締の手が漸く伸びつゝあるので反日會日貨檢查隊は今の內に多數日貨を沒收せんと暴れてゐるが本日午後三時泰波行綿糸二百俵を得たりかしこしと差押へたが取調の結果之は支那系で然も皮肉な事に反日會々長虞治卿の會社製品なる事が判明血迷へる檢查隊もほうほうの態で逃げ去つた

黃塵

◇…大連の油坊が夏枯期に入りながらも割合に活況を呈してゐるのは、滿鐵の產業助成金が來る九月を以て期限滿了となるを見込んでの事に相違なる。

◇…未曾有の不況に遭遇し極度の節約を餘儀なくされる滿鐵が助成金の交附を繼續するかどうかは頗る疑問である。

◇…從つて油坊自體にとつての樂觀材料となるべきものは差當り何物もないわけだ。

◇…只內地農村における豆粕の飼料化が漸く普及してきたことに一層の希望を懸けるのが關の山らしい。

◇…窮乏に喘ぐ油房にとりさりとはチト心細い次第だが、それだけでも多大の努力と犧牲が必要だし、おいそれと急速に運ぶのではない。

◇…滿鐵今次の職制改正で技術局が設置され斯界の權威を迎へて大いに商工業の發展が圖られるかに聞く。

◇…世界的商品たる滿洲特產界の大宗、大豆の製品に消費價値を增大することもそれ自身に多大の意義を有つ。

◇…希くば旱天の慈雨とならんことを期待したい。

市場電報

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一三片〇分〇
同　先物	一三片〇分〇
紐育銀塊	二七仙八分七
孟買銀塊	四四留比十六分五
スチール	八五弗八分三
アナコンダ	二四弗八分七
英米爲替	四弗八五仙十六分十三
米日爲替	四九弗三七仙
米支爲替	三〇弗八分五

棉花

●米棉

現物	八仙五五
七月	—
十月	八仙二七
十二月	八仙六〇
一月	八仙七一
三月	八仙八六
五月	九仙一〇

●印棉

ベンゴール	一二四留比
ブローチ	一六八留比

大阪期米

オムラ　一二四留比

	前場寄	前場引
當限	二一・三六	二一・九一
中限	二二・三六	二二・四八
先限	二三・九〇	二三・三〇

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二三・二二	二三・二四
中限	二三・八三	二三・三九
先限	二三・三〇	二三・八九

神戶期米

	前場寄	前場引
當限	二一・二四	二一・六六
中限	二二・三五	二二・六三
先限	二二・九九	二二・三七

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	七四・二〇	七四・七〇
大新	六六・九〇	六六・六〇
鐘紡	一二〇・一〇	一一八・一〇
鐘新	八〇・一〇	七九・二〇
日糖	—	—

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一一八・一〇	一一八・一〇
東新	一〇一・一〇	一〇一・一〇
五品　當	—	一〇一・一〇
五品　中	—	—
五品　先	—	一〇一・四〇
豆新　當	—	—
豆新　中	—	—
豆新　先	—	—

郵船、東株、東新、（短期）大新、東新、滿鐵新 [illegible]

大阪綿糸

	前場寄	前場引
限月	[illegible]	[illegible]

市況（一日）

特產

奧地の降雨で大豆低落

今朝の定期は昨夜來奧地の降雨に [illegible]

◇現物取引（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	一一二・三〇	一二五・〇〇	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

鈔票鈍狀

材料冴へず [illegible]

當市小曳り

今朝北濱定期寄 [illegible]

上海爲替情報

上海市場休業

綿糸續落

銀

株

糸

米棉は初め實需買により騰貴したがその後作柄豫想弱氣なる西部筋の賣物が出て▲二十一乃至二十五ポイント急落し新安値に落ちこんだ▲一方印棉も十錢安倫銀も一ポイント安▲そこで大阪三品は內地諸株の小反撥を眺めたるも各限とも二圓乃至二圓六十錢方崩れ、新甫大先物も引けに至つて二十圓大關門を割つた▲而して地場大手筋はなほ見送つてゐるが大體において底近しと思はれ二三マバラの買物が現はれた

株式

內地反撥

出來高（銀對金二萬四千圓、銀對洋九千圓）

商品

麻袋同事

株式出來高（卅一日）　枚數　三、三九〇枚　金額　四三、三九五圓

◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
氷新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

後場（保合）

◇定期●當限●先限

奧地市況

錢鈔

各地特產發送高

▲開原　大豆一二〇車　高粱一車　豆粕五車　雜穀三車
▲四平街　大豆一五車　高粱　豆粕　雜穀一五車
▲公主嶺　大豆八車　高粱九車　豆粕　雜穀
▲長春　大豆一四二車　高粱　豆粕　雜穀七車

大連埠頭到着特產數量

大豆	一、一二八車
高粱	—
豆粕	—
雜穀	一一車

爲替相場

手形交換高（一日）

上海標金

埠頭在庫貨物

7月27日　（單位瓲）

品名	本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆　混保	174,717.7	44,107.0
大豆　非混保		
大豆　白眉豆	2,538.8	594.9
大豆　青豆	483.6	201.8
大豆　合計	177,740.1	44,903.7
小豆	6,267.6	1,244.2
吉豆	1,233.4	1,613.0
高粱	19,544.2	4,005.9
包米	1,314.2	1,12[illegible].2
大米	177.2	13.1
小米	185.2	201.5
麥子		70.1
蕎麥	475.0	763.6
芝麻	37.1	57.4
大麻子		133.0
小麻子	113.4	513.0
蘇子	650.7	11.3
落花生	1,483.4	2,485.4
雜穀	848.7	377.7
豆粕	14,943.9	7,270.4
雜粕	1,213.3	670.8
獸骨	81.7	40.0
豆油	2,709.1	2,312.2
其他ノ油類		
麥粉	1,861.3	9,466.1
燒酎		77.9
セメント	1,692.2	1,670.4
秋子	280.6	595.6

社說

滿鐵刷新と其教訓

滿鐵最近の大淘汰に就ては世間各その見る所を異にするが、兎に角何れの時にかかうした處置が採られねばならぬことだけは、何人も夙に認めて居た懸案であつて、之に依つて始めて社業の行詰りを打開すべき端緒を得たと評されねばなるまい、殊に新幹部は之を以て伸びんが爲の第一歩となし、今後有利な產業的企畫に着手すべき意氣込を示して居る、洵に良いことである營利會社として採るべき至當の途が採られた譯だ、併し之と同時に注意せねばならぬのは、滿洲の事情が近來急速に變化したことである、殊に滿鐵始め各種の既存事業が遣り難くなつたのは、滿洲在住者の立場が切迫した爲でなく、寧ろそれ等現有の諸機關だけでは、處理統制出來ないほど一般的に經濟事情が向上し、且つ複雜味を加へたからである、滿鐵萬能主義で涼しい顏をして居た同社が、その壟斷的態度を改めねばならぬやうになつたのは、それだけ社外に目に見えぬ新興の氣運が醱生して來たことを否定し得ない。

◇

その證據には時局打開策の運動が行はれる一面に、內地からの市場開拓團は案外好成績を擧げつゝある、官憲若くは滿鐵の聲援なくては手も足も出ないやうにいはれた農業方面にも、獨立獨步の基礎を固めた分子が多くなつた、それが沿線地帶の現狀であるが同時に滿洲全體の趨勢でもある、第一彼れほど喧ましく傳へられた支那側の鐵道包圍攻擊がそうだ、滿鐵線を唯一の中樞機能として考へると、洵に物騷な形勢のやうであるが、そうした競爭戰の出現を可能ならせたほど、滿洲の生產力が增加し文化が普及しつゝあるのだ、それを保守論者は如何にも日本の勢力が弱つたやうにいふ、寄ると觸ると悲觀說をかはし合ふ決して時代の眞相を透視した意見でない、滿鐵の淘汰に現はれた緊縮方針は明かにそれを語つて居る。

◇

新幹部は頻りに尺蠖の屈するは伸びんが爲め已むない處置であることを、今次の節約方針に就て辯明して居る、この言の實否が果して何の程度のものであるかは今後の成行に見ねば判らぬが、遂に積極主義に變らねばならぬほど、各種の新經營物件が滿洲の彼處此處に轉がつて居ることは確かだ、隨つて滿鐵萬能主義は破れかけたがその使命は益々重くなつた、從來の放漫な總花的方針から一層深刻な集約的經營に移らねばならなくなつた、最よりも實に、粗大よりも精緻に、その所謂中樞機關の特色を發揮すべき時運に際會したのである、元來滿洲の如き廣大肥沃な土地柄に、一滿鐵のみの活動を無二の力としたのが間違だ、そうした現象は初期の一階段に過ぎぬので、時代は最早やそれを准さぬやうになつた、隨つて在住邦人は眼をこの點に開き、滿鐵が採つた兩三年來の緊縮方針は、軈て在住者自體の對滿觀念に大刷新を要する事を覺悟すべきだ。

◇

世人は能くいふ、滿洲に於ける邦人事業の發達しないのは、內地資本家の自覺が足らぬ爲であり、その自覺の不足は滿洲事情の能く知られて居ない爲であると、慥かに一理ある、併し在住者がそうした眞相を知らす爲に、何れだけの調査と活動とを續けて來たかと思ふと、甚だ遺憾な點が少なくない、言ふ者は行はず、行ふ者は言はず、偶々局部的不祥事の起る每に滿洲全體が暗黑に鎖されたやうに呼號する、それでは志ある者に發憤進出さす譯がない、二十年來の滿洲發達史を仔細に回顧すると殆んど總てが良好な狀態に向つて進化しつゝある、日支兩國人間の交情に至つても、政治的にこそ種々沙汰されるが、風俗、習慣、商利の諸方面に於ては非常に理解力を增して來た、切言すれば悲觀材料よりも樂觀材料が多くなつた、緊縮刷新後の滿鐵事業が、斯くて涵養された餘力をこの方面に傾注することの必要あるは勿論だが、滿洲に對する在住者の所謂國民外交も、主張の根基をそうした光明面の廓大に置かねばならぬと吾人は思ふ。

上海排日やゝ下火　今後惡化の模樣は無い

【上海卅一日發】當地の排日取締は市政府當局により勵行されやゝ下火となつた感あり、昨日午後三時二十分上海紡績會社の屑糸二百四十斤(價格約千兩)が共同租界內を運搬されてゐる時反日會檢査員は之が取調の必要ありとて附近の檢査場に運びその儘抑留したが會社側から公安局に向つて抗議した結果現品を返還し來つた、大勢斯くの如くで今後の排日の運動の險惡化は殆ど豫想されぬ程であるが部分的の日貨抑留は免れ難く府より日貨排斥並びに宣傳遊行を嚴禁する旨正式通告を發したので今後日貨排斥は秘密工作する事となり、國貨提唱會は消滅することゝなつた【奉天電話】

奉天の排日　自然消滅

國民外交協會總工商會では國貨提唱の名の下に日貨排斥の實行を一般商民に强制すると共に小河沿に國貨提唱會を設置して日貨排斥宣傳をなしつゝあつたが、今回省政

天津反日運動　終熄

【天津特電一日發】天津における萬寶山事件による反日運動は張學銘氏の嚴重な取締と商民の反對とを更に時局の大變化で中止されて了つた

排日對策協議

【上海三十一日發】反日會の日貨抑留が愈々實行期に入り日本品抑留が頻發するに鑑み當地大會社首腦部及び領事館、陸海軍當局は午後一時より聯合協議會を開き對策協議の結果紡績業二名、綿糸同業會一名、綿布業一名その他八名の專門委員を擧げ官民合同して一日具體的排日對抗策を協議する事に決定した

抑留日貨　引渡要求　上海市長に對し

【上海特電一日發】上海で反日會のため抑留された日本棉花會社の綿糸二百四十八俵は村井總領事が嚴重抗議した結果公安局より引渡す事となつたが一時之を保管してゐた支那倉庫業者は反日會と共謀保管料を請求之を支拂はなければ貨物は引渡さないと强硬な態度を執つてゐるので村井總領事は卅一日重ねて上海市長張群氏を訪ひその不法を難詰し該貨物の無條件で卽時引渡すやう斡旋方を要求張群氏は之を承認した更に村井總領事は一般排日運動殊に昨今頻發する日貨の不法抑留につき嚴重取締方を要求した

滿鐵の退職者總數　二千七十六名に上る

滿鐵今次の職制改正に伴ふ人員整理數は當初參事、技師を除く事務員、技術員以下雇傭員は一千七百名位の豫定であつたが、待命者の銓衡中家庭上の都合やこの際退職するを有利として自發的勇退者等が續出した爲豫定數より約三百餘名を增加して二千廿五名となり之に參事技師及同待遇者の待命を加ふれば總數實に二千七十六名の多數に達した、その內譯は次の如くである(八月一日社報に據る)

參事、技師及同待遇	五一名
事務員	四一〇名
(內依願免十一名)	
技術員	二〇一名
(內依願免二名)	
雇員(日本人)	一八九名
(中國人)	六名
傭員 日本人(內依願免十六名)	四七九名
中國人	七四〇名
總計	二千七十六名

正副總裁、理事の俸給減額手續き　一割乃至一割五分

內田、江口正副總裁は經費節減のため自發的退職者を合せて二千七十六名の社員を整理し社員の在勤手當、宿舍料、旅費まで減額するの止むなきに至つたので先づ自ら節約の範を示すべく正副總裁、理事の俸給を一割乃至一割五分減額するに決し政府への手續を了した

滿鐵異動續報

滿鐵人事課にては八月一日附社報を以て今回の職制改正、人員整理に伴ふ人事異動を發表したが、既報以外の參事、技師の異動は左の如くである

元總務部考査課長　參事　中山正三郎
元計畫部能率課長　參事　田所耕耘
元計畫部技術課長　技師　根橋禎二
元炭礦部化學課長　技師　岡村金藏
總務部勤務を命ず(各通)
元總務部考査課　參事　林田精一
監理部管理課勤務を命ず
元工事部土木課長　技師　郡新一郎
元工事部築港課　技師　千石眞雄
鐵道部勤務を命ず(各通)
埠頭事務所第二埠頭主任　參事　中富清美
埠頭事務所計畫主任を命ず
元大連工事事務所長　技師　植木民
地方部工事課勤務を命ず
元工事部建築課　技師　湯本三郎
大連工事事務所長を命ず
元奉天工事事務所機械長　技師　渡邊成二
地方部工事課勤務を命ず
鐵道工場技師　久保田正次
鐵道部車務課勤務を命ず

滿洲の現狀と日支の關係　ロンドン・タイムスの滿洲論

最近着のロンドンタイムスは滿鐵發行の英文滿洲年鑑(Second Report on progress in Manchuria)を基礎として左の如き興味ある滿洲論をなして居る

世界的不景氣は滿洲の擴張の奔流を妨げてゐる、然し一九二九年には殆ど五十萬人の移住民を容れる可能性があつた、この數は一九二七年に內亂が起つて山東の何萬といふ農民が追ひ拂つてゐた時のレコードの半分以下であるが又一九二七年以前におけるよりも最多數である。

一九二七年より一九二九年の三年間にわたつて二百萬の移住民が丁度カナダが一九〇一年から十一年迄の十年間に亘つて移住民と自然の增加によつて人口が增加した樣に增して居る。

この大規模な支那移住民の組織は南滿洲鐵道株式會社が發行したリポート・オン・プログレスと云ふのに記錄されてゐる最も大切な事實である。

若しこの巧に編纂された記錄を讀んだ結果大なるドイツと肥沃なカナダで見た樣な未來戰爭この曠野においてもいつか起りはしまいかとの疑念を持つたとすれば、その人は恰度バーナード・ショウがニウースでは時代落伍者であるのと同じ樣なものである。

滿洲の所有者は世界中での多產種族である人民を以て空漠の地へ大移動を以て基礎づけつゝある。

▲▼

一九〇八年における滿洲外國貿易總額は一億兩に達し、一九二九年には七億五千五百萬兩となつてゐる、英國からの輸入は同時代に五十三萬四千六百八十四兩から九百六十七萬〇八百三十三兩に增加し、貿易總額は四百萬兩から五千五百萬兩に上つてゐる。

一九一九年における耕作土地は一千七百萬エーカーであつたが、現在では三千二百萬エーカーになつてゐる。

最初の試驗的大豆の輸出は一九〇八年にリバープールに出され之が工業の初めであつた。一九二九年における作物收穫は二億二千百萬ブッシエルであつた。

▲▼

滿洲港に入る船舶は一九一三年に百七萬八千五百〇五英噸から一九二九年において百八十三萬九千八百二十五英噸と增加し、一九一三年においては百七萬八千五百五英噸から一九二九年には百八十三萬九千八百二十五英噸に、ドイツは三十八萬二噸から八十九萬三千百十八噸に、又米國はいふに足らぬ南滿洲鐵道で運ばれた貨物は一九〇七年から一九〇八年までに百四十八萬六千四百三十四噸で一九二九年から一九三〇年に二千四十六萬一千八百十六噸に增加し一哩につき純利益十シーリング(凡そ五圓)から、五ポンド(凡そ五十圓)となつてゐる、現在滿洲において日本の投資は二億千四百萬ポンドと見積られてゐる。

不況は滿洲にも影響を及ぼして昨年の收穫大豆を全部賣却してしまふことが出來ない。一九三〇年の鐵道收入は三千萬圓に減額してゐるが、昨年に對する充分な貿易上の數は未だ完成してゐない。一九二九年までの不況は商業上減額により非常に影響し、一方絕えず增加する馬賊は滿洲田舍生產として報告書に說明してある。

▲▼

エッチ・ダブリウ・キニー氏は「今日の滿洲」といふのに盜賊は單なる職業に過ぎない、でなかつたらこの平和な農夫達は農業上の仕事などが思はしくない時に彼等は「他に何もする事がないから」と書いてゐる。

この報告は盜賊の型が變化しつゝあるといふ興味ある意味を含んで居るので、歐洲戰爭以前の滿洲馬賊は百人からの强者がいつも一團になつて働いて居たがそう度々襲擊はしなかつた。

近年においては盜賊五人か十人の小團體が度々襲擊する樣になつた、然もその攻擊度數は增して居り、一九二九年中には南滿鐵道地方においてうけた馬賊襲擊數は三百六十八件に上つて居る、之等二種の襲擊は組織だつた團體によつて指揮されてゐる、彼等が特に貫んでゐる所の武器はモーゼル銃である。

▲▼

次に鐵道計畫について見るに三年間における鐵道構造は三百哩に及んでゐるがそれらは單に鐵道線延長と舊鐵道の完成であるが之等は全部支那側が財政を投じてゐる鐵道に就ては日本と滿洲が一致してやつてゐるものはない、現在滿洲には聯合委員があり、來年の鐵道に就て方針を決しやうとしてゐるして、お互の協力を約して居り、幣原男爵はこの一月日本の政策として「我等は不都合な又利己的な條件を探さうとしてゐるものではない」といつてゐるのである。

今後爭議が持ち上るとしてもそれは支那に流れ入る多數の移民によるもので利益の分配といふ事を含む所の根本的な商業上の爭ひである。從つて爭議があるからといつて戰爭が近づいて來てゐるのだといふ考へを抱いて居ると信じられやうか、假へさうだとしても、それは不可能な事で最後の問題である」といつてゐる。これらの言は、よく諒解し得る、この言葉は末開港胡蘆島の商業政策から、南滿線に平行させて完成せしめんと計畫されつゝある鐵道を差控へる樣に希望してゐるのである。その結果は滿洲中部から朝鮮海岸への鐵道延縮する所の會線の竣工を支那に急がせる樣になるからでもある

▲▼

この大切な報告が示す點は急に發展し行く國は他の國が得られる物は凡て、あらゆる外國の助力を有益に用ゐる事が出來るといふことである、日本が滿洲において重き興味をもつてゐるのは、商業上であつて勝利といふものを豫期してゐないのである。

滿鐵地方部陣容　產業行政に一層努力

滿鐵地方部は職制改正の結果商工課農務を合併し擧て大森理事の主張たる地方行政及び產業行政合同が實現することゝなり同時に地方課長に栗屋氏を、商工課長に小須田氏を据て陣容が整つたので各課內部の事務分掌規定を一瀉千里に決定し、從來兼務になつてゐた係主任の專任、缺員主任の補充を急いでゐるが既に內定した分は庶務課では石岡庶務主任の人事係主任を解き、武田胤雄氏を人事主任とし地方課にあつては從來總務部勞務課の一部であつた福祉係を社會施設係に合併し能登博氏を係主任とし、用地係主任には森岡茂氏の後任として元奉天工事區事務所員渡邊才二郎氏を据ゑることになつてゐる

待命參事技師　慰勞宴

內田、江口滿鐵正副總裁は二日午後七時滿洲館に今回の異動で待命となつた參事、技師諸氏を招待し慰勞宴を張ると

大連商議會頭に村井氏重任　副會頭に田村氏新任

大連商工會議所新正副會頭を互選すべき常議員改選後の第一回役員會は一日午後三時半より大連商議會議室において開かれたが、新常議員三十三名賑々しく出席、先づ村井舊會頭より新選の

八常議員 を紹介して之に對して古澤丈作氏以下七常議員は新任の挨拶を述べた、次に正副會頭互選に移つたが佐藤至誠氏提議の五名の銓衡委員を擧げ委員の銓衡に一任することに多數決となつたので村井舊會頭は橫田多喜助、山田三平、古澤丈作、相生常太郎、佐藤至誠の五氏を銓衡委員に指名した、五委員は別室において合議の結果左の三氏を正副會頭に擧げ本會議において滿場一致之に贊同した

會頭　村井啓太郎(重任)
副會頭　藤田臣直(重任)
副會頭　田村羊三(新任)

之に對して村井啓太郎氏は卽座に就任を承諾し藤田、田村兩氏は一應會社の諒解を得た上でと條件付承諾、一同の拍手裡に新

正副會頭 は決定した、次に佐藤至誠氏立つて村井、藤田、山口の三氏に對して正副會頭任期中の勞を感謝し一同を代表して挨拶を述べたるに對し今期を以て副會頭の職を退いた山口啓三氏は立つて

事務多忙のため副會頭の職は之を以て退かしていたゞきましたが今後とも常議員としては皆樣と共に盡したい

と謝辭を述べた、次に村井會頭立つて副會頭を滿期退任せる山口啓三氏及び常議員を滿期退任の左の五氏に對して感謝狀及び記念品を贈ることを提議し是は會頭一任となつて同四時第一回役員會は散會した、滿期退任常議員氏名は左の如し

小田斌、平田包定、辻井彜太郎、小川慶治郎、中村敏雄

補充金の復活は主務省も承認濟　明年豫算は勿論緊縮方針　あす歸任の西山財務部長

【東京特電一日發】議會以來滯京中の西山關東廳財務部長は大體重要用務を終へたので三日夜九時二十五分東京發四日正午神戶發ばいかる丸で歸任することゝなつた、尙同部長が復活に努めた補充金五十萬圓の削減問題は拓務省においても全然同意せること故大藏省への交涉は之を同省首腦者に一任したるも歸任挨拶を兼ね一日朝井上藏相を訪問、右補充金豫算の復活を要請、懇談した、同部長は語る

議會以來半歲にもなるが後から後から中央官廳に折衝する要務が生じ却々忙しかつた、既に滿鐵の職制改革も濟み補充金復活問題も大體主務省の諒解を得たので一先づ歸任することになつた、政府の整理準備委員會も八月一杯には片づかう、關東廳の明年度の豫算は何れ中央政府の方針によつて編成されることになるだらうが相當に緊縮方針をとることになるだらう

果樹組合理事會議事

關東州果樹組合理事會は一日午前十時から關東廳會議室にて副組合長日下殖產課長、池田主事、大連寺山、旅順城崎、金州平井、普蘭店江利、滿鐵千葉、永井農務課員等各理事出席の上開會一、組合積立會は事業遂行上緊急已むを得ざる場合は理事會の議決を經て支出し得ることに規程改正の件二、昭和五年度南洋出荷に係る追加獎勵金として積立會中より三千六百五十六圓五十五錢を支出する件三、右に依る六年度收支豫算追加の件等を審議したが何れも異議なく原案通り可決、尙午後は一時より五年度南洋出荷の顚末につき池田主事の報告後、今年度の苹果輸出につき協議したが各地とも未だ輸出見込數量が見當つかず從つて本部の補助金も定まらぬので何れとも決定に至らず一週間の調査期間を置いて各支部で調査の上改めて開議することゝし四時半散會した

菱刈大將送別宴

菱刈大將の送別宴は三浦內務局長三宅參謀長久保田駐在武官永山市長發起にて五日午後六時から旅順偕行社において開催に決定、會費一圓五十錢申込締切は四日正午限り市役所庶務係電話五二番へ

政友調査員離連

萬寶山事件その他滿鮮問題調査のため滿洲各地を視察の途次去る三十日夜來連星ケ浦ヤマトホテルに投宿中であつた政友會幹事長森恪氏一行は既報の如く一日朝周水子發旅客機にて歸京の筈であつたが天候不良のため豫定を變更し一日午後九時半發列車にて陸路歸京することゝなつた

對滿鐵交涉打合せ　勞農代表者間で

【ハルビン特電一日發】廿九日モスクワより滿鐵向けソウエート交通人民委員會代表レペジエフ氏が當地を通過したが右は目下ハバロフスク滯在の東支管理局長ルディ氏と來るべき對滿鐵交涉に對する詳細な打合せのためといはれてゐる、なほ氏は右打合せ後滿鐵より赴日すると

ロシア燐寸販賣禁止　黑河地方にて

【ハルビン特電一日發】黑河地方におけるソウエート、マッチの進出は著るしく市場を獨占せんとしてゐるので支那側は東北マッチ專賣局の名によつて該地方のソウエート、マッチの販賣を禁止するに至つたこの結果從來一包十錢の相場が二十錢に騰貴した

小包通關成績

大連郵便局取扱にかゝる七月中の內地行小包郵便物は一萬六百二十五個でこれを前月に比較すれば八百二十九個多く本年に入つてからは二月に次いで取扱物數の多い月であつた而して宛地通關の指定あるものを除いた殘餘の八千六百七十六個に對し通關檢査の結果は五百八個だけ課稅された

前次長の挨拶

今回滿鐵を退社した向坊、白濱、佐藤、木村各前次長は一日關東廳、軍司令部を訪問退社の挨拶を述べた

九大教授支那出張

【東京特電一日發】九州帝大の左記四教授は本日附中華民國出張を命ぜられた

九州帝國大學教授　末廣忠介
同　山口脩一
同　小林俊次郎
同　森兵吾
中華民國へ出張を命ず

關東廳辭令(卅一日附)

關東廳事務官　山崎恒四郞
陞叙高等官六等
京都帝國大學助教授　市川禎治
任旅順工科大學教授
叙高等官六等、十級俸下賜
九州帝國大學助手　笠原新之助
職務俸六百三十圓下賜
陸軍三等軍醫正八位
出關東廳醫院醫官
叙高等官六等、四級俸下賜
旅順醫院勤務ヲ命ス
關東廳海務局技手　菊池喜藤太
兼任關東廳醫院醫官
叙高等官七等
大連療病院勤務ヲ命ス
關東廳海務局技師
兼同醫院醫官　木村勝喜
免兼官
關東廳中學校教諭　高田英夫
任旅順師範學堂教諭
任關東廳翻譯生　中里榮太

投書歡迎

八相

制限を撤廢せよ　一父兄

◇滿電は學生の通學乘車券を制限して一ケ月二册しか賣らない、また夏休み中には通學乘車券を賣らない、近時いかに不況減收の折柄とてこんな制限は撤廢して欲しい

◇空車を濛山走らせてゐるよりも一人でも多く乘せた方が、卽ち回數券を一枚でも多く使用させた方が會社のためではないか、今日の出町方面の子供にして暇ケ浦に遊びに行くものは回數券を往復六枚も使ふ、六枚の回數券を使つたら普通券の往復券と同じになる、制限しないで一ケ月何册でも濛山賣ればそれだけ會社の增收をはかる所以である

◇會社の方面以外からみてもそうである、今日滿電の割引券の世話になつてゐる子供は將來の日本、將來の滿洲を背負つて立つものである、大連にある數千のこれらの子弟の身體精神が、滿電の一寸した心の使ひ方で健全に延びて行くことが出來るとしたら、滿電たるもの少し位の會社の利益に拘泥することを捨て大いに考へてくれてよさそうなものだ

◇これらの制限を撤廢することに一步進んで考慮して欲しい

お答へ　通學回數券は二册で充分な筈です、休み中通學券を賣らぬのは休み中は通學の要がないからでその代りに水泳券を賣つてゐます、水泳券は通學券よりも多く中學生徒に對しては七月二十一日から八月三十一日までの間に使用すべきもの五册小學兒童に對しては七月二十六日から八月二十五日までの期間券を賣つてゐます、これだけの割引券で生徒や兒童は休み中充分水泳に行ける筈です【滿電電鐵課長】

大觀小觀

滿ケ峠を降りたが如く降りぬが如き韓軍▲先に行つたら斬り取り强盜勝手次第だと士氣を鼓舞する石軍▲雨が降つたからまアやめとかうと休息する蟹軍▲日本の軍隊など鳥渡眞似も出來ない鳴の平和、犬の鬪志、巧に比喩を混ぜて滿蒙對策を論ずる菱刈將軍▲その觀點は飽くまでも軍人式なれど面白い▲この好武人今や將に滿洲を去らんとす、些か淋し▲奧地の馬賊ますます跳梁、今年は所謂「人質馬賊」の橫行が特に目立つ▲彼等の行動は從來の馬賊に比し頗る組織的、計畫的で例の「黑手組」そのまゝであり▲遣り口が至つて智的で統制があるだけに險呑この上ない▲險呑といへば例の列車妨害がまた一部に始まつた▲この方は一層險呑、特に警戒肝要▲馬賊といへば「北國」「掃北」などゝいふ新しい、そしてロクでもないお題目がまた出來さうだ▲困つたことだ

市況(一日)

株式

內地株保合　當市變らず

大阪東京とも小巾保合を傳へて當市も氣配變らず

◇後場

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	一〇七	一〇七	一〇四	一〇四
豆	三三	三三	三三	三三
新鈔	―	―	―	―
錢新	―	―	―	―
氷新	―	―	―	―
大新	―	―	―	―
東新	―	―	―	―
鐘新	一三八	一三〇〇	一三〇四	一三六

錢鈔

標金釘付　當市不變

上海標金の釘付商狀を眺めて當市も保合ひ極めて閑散

◇定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
近期	四四〇	四四三	四四〇	四四三
遠期	四四〇	四四三	四四〇	四四三

出來高(近期遠期)十萬圓

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	四四二	一三三〇	三三一〇
二時半	四四三	一三三五	三三〇〇

出來高　銀對金 一萬圓　銀對洋 八千圓

商品

綿糸小反撥　麻袋變らず

大阪三品後場引は前場引に比べ各限とも七十錢乃至一圓六十錢の小反撥を報じたが當市は見送り麻袋も氣配變らず弊なし

奧地市況

現物	▲奉天票	一四、三〇〇
現物	▲奉天大洋	四四、一五
現物	▲開原大洋	四四、二〇
當限	▲安東鎮平銀	六三〇 / 六三一
先限		六三〇 / 六三一
八月	▲哈爾濱大豆	九六七五 / 九七〇〇
九月		九九〇〇 / 九九〇〇
十月		九九五〇 / 九九七五
九月	▲哈爾濱小麥	一、四四〇〇 / 一、四四〇〇
十月		一、四三〇〇 / 一、四三〇〇
現物	▲哈爾濱大洋	三五、五五 / 三五、五〇

市場電報

神戶特產

大豆現物	三八〇	
先物	三一〇	
豆粕現物	一〇五	
先物	二一五	
滿洲小麥	三二五	
豆油現物	一六〇〇	

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一三八九〇	一三八八〇
東新	一三一七〇	一三一四〇
五品先	不申	一四〇
豆信	不申	不申
豆新	不申	不申

東京株式(短期)

	東新	鐘新		鐘紡	滿鐵新
寄値	一二九七〇	八〇三〇		一九〇六〇	不申
引値	一三〇一〇	八〇八〇		一九〇六〇	不申
高値	一三〇四〇	八〇九〇		一九〇九〇	不申
安値	一二八九〇	七九五〇		一八九六〇	不申

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	不申	七五四〇
大新	六六〇〇	六六八〇
鐘紡	一八九四〇	一八九九〇
鐘新	八一三〇	八一二〇
東株	不申	不申
東新	一三〇一〇	一三〇八〇
日糖	不申	不申
郵船	不申	不申

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
八月	一二六五〇	一二七八〇
九月	一二四六〇	一二五六〇
十月	一二一九〇	一二二六〇
十一月	一二〇九〇	一二一四〇
十二月	一二〇八〇	一二一三〇
一月	一二〇八〇	一二一六〇
二月	一二〇八〇	一二一一〇

東京期米

神戶期米

限	後場寄	後場引
八月	二二六七	[illegible]
九月	二二二一	[illegible]
十月	二二八七	[illegible]

大阪期米

限	後場寄	後場引
八月	二二六八	[illegible]
九月	二二六〇	[illegible]
十月	二二四五	[illegible]

家庭

滿洲の女性へ
『奥さま然』たるより『宿の妻然』『山の神然』たれ

大連地方法院長　森本豐治郎氏談

在滿婦人諸君……さいふより在滿夫人の皆さんに希望するのは、皆さんが「奥さま然」とせずに、今少しく「宿の妻然」……否「山の神然」たらんことです、といへば言葉が奇矯にわたりますが

私 はこの滿洲には餘りに「奥さま然」とした奥樣の多いのに苦むものであります、關東長官や、軍司令官や、滿鐵總裁の奥樣であれば、いかにも奥樣らしく日髮日化粧、橫のものを竪にもせずつんとすましていやに上品ぶり高尚らしく構へらることも結構でせうが、それ以下の人々の奥樣であればさまで奥樣らしく取つくろはるゝ必要がなく、襷がけで鼻うたの一つも歌ひながら氣輕にまめ〳〵しく臺所に立働き、手拭を姉樣かぶりにしてアッパッパー姿く身輕に甲斐々々しく箒や雑巾を

手 にされてもよろしからうと思ふのです、音樂がどうの、長唄が乙だの「三越」に新柄が來たの、今年の夏物の流行はこうだの、そんな事に浮身をやつさずに質實勤勉よき意味に於ての「山の神然」たれよと希望するのである

女學校などでも、いや情操教育とか、趣味の向上とか何とか、そんな七面倒くさい事をいはずに「にこ〳〵と襷がけ」換言すれば「頰には笑くぼ掌にはマメ」即ち「怒らずに働く」といふことをモットーにして教育し躾すれば充分「美化作業」なんてハイカラな

名 をつけなくても「拭き掃除」で結構、その「拭き掃除」の練習の機會を今少し澤山に與へられたく、あの羽衣女學校で「あんま」の稽古を授業科目中に設けてあるやうなのは私の最も賛成するところ、かくて私の所謂「奥さま然」たる奥樣でなくて「山の神然」たる奥樣の修養を希望する次第です

科學常識
現代科學者の悩み 冷光時代展望（B）

大貫正

◆…宇宙間の總ての物質は我々人間の目には見えない非常に小さな分子から出來てゐます、そしてこの分子は絶えず振動してゐるのですが肉眼等では到底判りません、また宇宙にはエーテルといふこれも目に見え無い物が到るところに詰つてゐて物體の分子の振動がこのエーテルに傳はつて恰度池の中に石を投げ込んだ時のやうに波が出來ます、しかもこの波の長さが物によつてそれ〴〵違ひその長短によつて或は目に見える光になつたり、耳に聞えるラヂオになつたり、體に感ずる熱になつたり、樣々の變化を起すものであります

◆…この波の長さはラヂオやその他の電波では〇・四センチから一萬メートルまで長短色々ありますが極端に短いのは赤外線即ち熱を出す線でこの熱線の波長は千分の十三センチメートルから百萬分の七十六センチ位まであります、およそ總ての分子の振動がエーテルに波となつて傳はる時この範圍の波を出しさへすれば熱が出るのです、然るにこれが一層短くなつて百萬分の七十六センチ以下百萬分の三十九センチまでになると初めて光に變ります、しかも目に映る紫、青、綠、黄、橙、赤の中波長の最も長い赤が最も熱線に近く波長の最も短い紫が熱線に最も遠い、更にこの波が短かくなると百萬分の三十九センチから百萬分の一センチの範圍が紫外線で、一億分の一センチのものがX線で、紫外線もX線も目には見えません

◆…目に見える部分はすべての波のうち極小部分であります、以上のことから考へると目に見える波以外の他の波を少しも含まなければ冷光が得られるわけです、電燈が熱と光を一緒に出すのは光の波と熱の波を同時に放射するからです

高速度編もの無料講習會
五日から三日間本社講堂で 滿日婦人團員の爲に

來る五日より七日まで三日間本社第一講堂で滿日婦人團主催の高速度編物講習會を催すとになりました、講師は大日本編物研究會講師佐久間依子女史ほか二名で、會員全部にS式高速度手編器を一臺づゝ無料で貸與して實地について個人的に指導されることになつてゐます、このS式手編器は在來の文化編物器や高速度手編器に更に幾多の改良を加へて

至極簡單 に誰人にも使用が出來てしかも非常に能率的だといふので日本内地ばかりでなく既に海外にも好評を博してゐるさうです不日滿鐵地方課でも後援して沿線各地に講習會を開く計畫ださうです、第一日の五日には午前九時から午後三時まで基礎編の一齊教授がありますが第二日と第三日はなほつゞいて研究したい方だけに、各自お好みの實物について個人的に指導する筈です、會費無料、會員は滿日婦人團員に限ります、

第一日に 出席の方は基本編用としてお持合せの並毛糸二オンスほど御持參下さい、第二日第三日の材料は皆さんの御自由ですが、毛糸の御用意のない方には當日會場で上等の毛糸を廉價で提供する手筈になつてゐます、なほこれは毛糸ばかりでなくてリリヤン、スピーンなどにも應用されるさうです、講習が長時間に亘りますので各自座蒲團とお辨當を御持參下さい、服裝、食事萬端なるべく質素に、團員の約束に從つて必ず

團員章を 御着用下さい、今回は別に出缺席の御通知は要りません、一般の迷惑にならない限りお子樣おつれ下すつてもかまひません【寫眞は佐久間講師】

北極氷上で失はれた ギルバード氏一行の記念碑

家庭消費經濟の日本主義

三田雄

日本主義は日本人の國民生活上の一般的原理であります。その道德的意義は誰しも認めてをりますが、その實行的方面のことに至りますと注意を向ける方は案外少いやうです。

×……×

家庭の消費經濟は國民生活全體から見ればその一部に過ぎませんが、家庭生活から見ても、一人の主婦が司掌してゐるやうな極小さな仕事であります、日本主義の實行はこの卑近な家庭消費經濟から始めたらよいことを、最近になつて私の考へに浮びました。極く卑近なことではありますが、家庭消費經濟の日本主義の實行は國を救ひます。觀念の意味からこの日本主義を定義しますと、日々私共が使用する品物の一切を日本製品にするといふことです、併し私はそれ程の徹底した主義を行はふとは思つてゐません、實行しやうとしても不可能です。

×……×

日本人は今は西洋なしには一日も生活出來なくなつてゐるやうです、私共の腕には瑞西の時計が巻かれ、身には英國製の毛織物が纏はれてをります、時計も洋服も我々の生活になくて叶はぬものであるとしますと、私共の消費生活から全く西洋を逐ひはらふことは不可能です、私の日本主義は相對的であります。徹底しないと云ふ意味で非難する人もありませう、人間は得手右か左かの極端に傾き易いものですから、下駄屋は穿いてゐる下駄を見てその人を判斷し、呉服屋は着てゐる衣服で人を判斷することもあります。

×……×

外國品を使はないことには可成りの不便がありませう、日本品に代用品がない場合もありませう、また外國品より日本品が高價だといふ場合も多いでせう、消費經濟の日本主義は一種の痩せ我慢であります。國は何で保つでせうか、喧嘩には何で勝つでせうか、痩我慢によつてです、十五億の外債と年々の輸入超過とを考へたら、日本も破産する時が來ないだらうかと心配になります、國を保つためには私共も痩我慢をしなければなりますまい。

×……×

最も實行し易い痩我慢は外國嗜好品の廢止であります、リプトンス紅茶は滿洲の何處の家庭でも愛飲される品でありますが、あれを止めて私共は何れほどの苦痛を嘗めなければならないでせうか、リプトンスは只一例に過ぎません、酒も煙草も日本品、薬も日本品と云ふことにして、手近いところから日本主義の實行にかゝつたら何うでせうか。

これだけ知つて置けば食べるのに不自由はない
支那料理の形と材料と調理法の根本的な名稱解説（下）

料理の名稱

●炸（チャー）　炸とは油であげる事を云ひます、強い火をつかつて油をたつぷり用ひます、ラード豆油、落花生油、胡麻油など色々使ひますが、普通落花生油と豆油と半々位用ひます、炸蝦球など日本人に好まれてゐます

●炒（チャオ）　矢張り油物ですが炸ほど油を澤山つかひません、油を用ひていためる程度のものです、炒肉絲、炒飯など皆さんに親しみの深いものでせう

●煎（チエン）　飯などないためてから湯をかけて煮たものです、煎丸子、南煎丸子などなか〳〵美味しいものです

●溜（リユー）　これはあんかけです油であげたりいためたりしたものゝ上に葛をかけたもので、溜汁魚などは皆さんの御家庭でお拵へになつても結構でせう

●醬（チャン）　味噌の事です、豆味噌とメリケン粉味噌と二通りありますが、豆で拵へた方が日本人向でせう、なほ味噌漬の事を醬といふ場合もあります

●燴（ホエ）　油でいためたのに汁をたつぷり入れてグタ〳〵煮たもので、燴蝦仁などあります

●烹（ポン）　油を少く、火を強くして手早く拵へる料理です、野菜をよく用ひますが外が熱く、中が未だ冷たくてグニャ〳〵にならぬ程度にしたものです

●湯菜（タンツアイ）　湯は品物を煮た汁、菜は料理で、つまり汁物の料理です、豚肉、雞、家鴨などに葱、人參、生姜などを入れて少くも半日以上煮たものです［illegible］紅湯など代表的なものでせう

●川（チョワン）　川菜はスープの中に肉や野菜が澤山はいつてゐますが川は中味が少くてスープが澤山あるのです、川丸子川肉片等あります

●高湯（カオタン）　高さいふのは良いものといふ意味で味の良い上等のスープのことです、これはほんのスープで海苔を二三枚浮せたのもあります

●燜（メン）　肉類をとろ火で蓋をして長く煮たもので、蓋を明けたら燜になりません、軟かく煮えたらドロ〳〵したお汁をかけて頂くのです、黄燜雞だの黄燜肉だの色々あります

●燒（シヤオ）　これは火の上で燒くのではありません、鍋の中で煮るのですが、その前に一度油でいためるか燒くか炙るかしてあるものを煮るから燒といふのです、燒茄子、燒肉片などがあります

●燉（トン）　これは燜と同じやうに蓋をして煮るのですが燜のやうに蓋をとると失敗するといふやうな事はありません、燉肉といふのは皮の附いた豚肉を用ひ、支那人の家ではお正月に必ずこしらへます

●熬（アオ）　これは汁物で湯と川との間位のものです、熬白菜、奶子熬白菜等があります

●蒸（チヨン）　蒸す料理ですから種類も澤山あります、豚饅頭もこの一種ですが米粉肉、雞子羹などやはり蒸籠で蒸したものです

●烤（カオ）　日本語の炙ると同義で遠火であぶる料理です、烤鴨は夏向の料理で、烤肉は火鍋子に入れると大變美味しいものです

●燻（シユン）　煙で肉類を燻べたもの、所謂燻製です、本當は松かさ焚いてその煙で燻べるので肉に松の香がしみこまなければ燻といふ値打がないとされてゐます

●糟（ツアオ）　前に申しました溜の料理の最後に葛をかける時酒糟を加へたものです

●蜜餞（ミーチエン）　砂糖蜜を使つて拵へる料理です、果物などを油と強い熱で手早く形のくづれぬやうに煮て砂糖を入れかき廻し乍ら焦げないやうにして、砂糖が細い糸を引くやうになるまで煮詰めたもので、お碗にお湯を入れたものを添へてあります

●釀（ラン）　つめ物です、鷄、家鴨、鳩、茄子、冬瓜などの中味をくりぬいて肉に生姜や葱をまぜたものをその中に詰めて、詰めた後は輕く糸で縫合せて湯に入れて茹でるのです、ナイフとフォークで頂きます

●拌（バン）　和へものです

滿日各地版

大正八年に定めた宿泊料が尚その儘
最高一日三十餘圓から八十錢迄
全滿旅館下宿の調査

【旅順】關東廳文書課物價調査係では今回滿洲各地に於ける邦人經營の旅館及下宿に就き七月一日現在で宿泊料及食事料の調査を行つた、現行料金は概れ昨年或は本年に入つて定められたものが多いが中には鐵嶺の如き大正八年に定められた儘の所もあり又組合料金を

實施せる地方は旅大、貔子窩、開原、長春の五地で其他は何れも各旅館單獨の料金を定めまちくである、宿泊料で一番高いのは遼東ホテル、安東ホテル、撫順築業館、奉天瀋陽、大丸、大星の一等乃至特等十圓にして最低は大連組合館三等の八十錢であるが普通は朝夕二食付で一等五圓、二等四圓、三等三圓の程度となつてゐる、又各地ヤマトホテル其他洋式旅館は原則として室料と食事料を區別して居り大連ヤマトホテルには一人室で最高十八圓、奉天同十二圓、星ケ浦同十一圓等べラ棒に高い所もあるが普通は室料凡そ三圓以上で

食事 は一食一圓乃至二圓五十錢でヤマトホテルは一日三食各地とも五圓である、次に下宿は一般に各地とも少數であるが、大連組合は一等四十圓乃至五十圓、二等三、四十圓、三等三十五圓から三十圓、旅順は一等三十圓乃至四十五圓、二等は五圓下り其他營口、鞍山、撫順、奉天、安東、各地とも三十圓程度が通り相場で最高四十五圓止まり最低は二十二、三圓からあると

撫順炭礦の新陣容全く整ふ
卅一日本社より電達

【撫順】新陣容全く整へる撫順炭礦所幹部級の正式任命通知は卅一日午後零時半漸く本社より電達されたが何れも本紙卅一日二面所載の如く一人の狂ひもなく確定したその顔觸れは次の如し

△所長 伍堂理事 △次長 久保孚(前採炭課長) △庶務課長宮澤惟重(前老虎臺庶務主任) △工事課長大橋頼三(前電氣課長) △採炭課長坂口兌(前大山採炭所長) △古城子採炭所長宇木甫(前工事々務所長) △楊柏堡東鄕採炭所長渡邊寛一(前運輸事務所長) △運輸事務所長人見雄三郎(前古城子庶務主任) △工事事務所長馬場彰(前楊柏堡採炭所長) △大山採炭所長中島龜吉 前煙臺採炭所長栗屋東一(前採炭課員) 尚この外石橋經理課長、前島東鄕、平石龍鳳、高畑老虎臺の各採炭所長、今泉機械工場長同發電所長、長谷川製油工場長等は從前の如くである

暗雲一掃さる

【撫順】月餘に亘つて流言蜚語續出此かも炭礦だけで五、六百名の首きりがあるとかいや東鄕その他の採炭所、機械工場の廢止いや工事事務所の大縮小の爲め日支社員二千有餘名の犧牲者を出すとか次から次へと傳へられ眞に全礦を通じて暗雲低迷流石の邦人三千餘の社員連も首の事が心配で礦に約半月は仕事も手につかぬ狀態であつた、而し被整理者も悉く判明その數噂に比しては案外少い方で三十一日朝來暗雲は全く一掃され月替りの一日から殘つた全社員何れも首をなでつゝ命拾ひした想ひで嬉々として社務に精進人心は今や全く鎭靜撫順全礦には潑剌たる更生の氣漲りこの未曾有の經濟的受難期の打開に緊褌一番善處せんとする氣持ちが溢れるに至つた

撫順炭礦の退職者
百七十四名

【撫順】全滿鐵を吹き捲くれる大嵐の爲撫順炭礦所の勇退者は本紙の三十、三十一日附逸早く報道したる如くであるが總括的詳報次の如し

邦人勇退者百七十四名(三十一日退職甲出追加職員一、傭員三名)にしてこの內譯職員四十三名、雇員四十八名、傭員八十三名、計百七十四名中國人傭員二百五十七名、總計四百三十一名である右の內邦人社員自發的辭職甲出は約三分一で殘餘百餘名は純然たる整理された者である邦人勇退社員中退職即時希望者は十七名他は勤續年數給額家族數等に依り最長一年までの待命期間を與へられ右期間終了と共に名實共に退職する事となる前記全部の退職手當撫順炭礦だけで約八九十萬圓と云はれてゐる勤續年數の最も長い高給社員では製圖係主任山口武吉氏の二十四年四ケ月職員では機械工場の今永莊吉氏の二十四年五ケ月大山坑の三本米吉氏の廿三年九ケ月等である

奉天が生んだ三人の地方長官
事務所長に榮轉の人々

【奉天】滿鐵新職制による人事の大異動によつて奉天から沿線の地方事務所長に榮轉する三氏があるがこの榮轉する人々を訪へば何れも左の如く喜びを語つた、公主嶺地方事務所長となる滿洲醫大幹事森脇襄治氏は 自分が大學醫院事務長から幹事に就任して以來四ケ年その間診療所、新病棟等の大建築を終り二年目には滿鐵から分離した獨立會計となり益々その責任の重大なるを覺えて來たのであるが更に大學の學位問題、專門部の開業醫資格問題等の重要な問題も一段落をなし安東地方事務所勸業係長であつた阿比留乾二氏が着任さ同時に敏腕な事務の働きをなすことでより以上の成績を擧げることゝ思つてゐる

鐵嶺地方事務所長になる奉天地方事務所庶務係長前田鉞雄氏は 鐵嶺は滿支關係も至つて平穩ではあるし自分としてもどうにか勤まることゝ思つてゐる事務については全く白紙なので赴任し事情を聞いた上でなければ何とも云ひかねる

又營口地方事務所長となる奉天地方事務所勸業係長門間堅一氏は 全く意外なことである奉天に來てまだ一年そこらで奉天の事情がどうやら判り掛つた處なのである故に所長として如何にするかなどゝ將來の事はちよつとも考へてゐない何れ赴任し色々事情を聞いた上で方針も樹てやう

日支兩教授の滿鐵附屬地論(六)
鐵道居留地の地位 (9)
徐淑希

右條文中にあるアドミニストレーションなる文字の意味が既に商業經營にあることはたゞに支那側のみの見解ではなく、米國もかくみてゐることは、東支鐵道に關するハルビン協定締結當時における米國からロシヤ帝國に對して與へた文書によつて示されてゐる、即ち千九百九年十一月六日附當時の米國々務長官よりロシヤに宛て發せられた文書に於て次の如く述べられてある

東支鐵道に關する契約の第六條の規定により租借せる土地の會社によるアドミニストレーションなるものは單に鐵道の「建設運用及び保護」に必要な商業經營を意味してゐるに過ぎない、これ右條文中が明白にこの點をあげた目的であり、その結果これ等の土地が支那によつて讓與されるに至つたわけである、これこそ實に疑もなく、問題の第六條の支那譯により、又た東支鐵道がハルビンにおいて市政を行はんとして支那政府から受けた抗議により明らかとされてゐる點である(中略)

アドミニストレーションなる文字の意味において英語ではこの文字は各種の商事經營の意味に使用せられるが佛語における同一の文字及び同契約の支那譯文中の同文字の譯語は英語における意味以上に商業的に非政府的に一般に使用されてゐる言葉である、佛語に於けることに言葉は普通一般には商事經營の意味に用ひられてゐるため、その一々の場合における絕對的意味は全々前文句によつて決定されるものである、しかし、契約全文を通觀するに、それは第六條の第二項中には全然政治的行政の意味を含んでゐない事を示してゐる

この米國々務長官の文書には今更何も附加へる必要を認めない

さて、所謂滿鐵本線沿線の鐵道居留地に關する日本の主張が薄弱なるものとすれば、安奉沿線の鐵道居留地に對する主張は尚薄弱なものである。その解釋はどうあらうとも、千八百九十六年の契約第六條は單に所謂本線を指すものである、蠟山教授は鐵道居留地の法的基礎ともアドミニストレーションなる文字を引用することは取りやめることがよからう

もはや支那に於ける外國居留地制度終末の日は來た、この滿洲における鐵道居留地はロシヤにより放棄された、ある決定的法律上の地位をもつた條約港における一般的な外國租界も漸次列國によつて返還されつゝある、かゝる時に日本が問題の區域を保持する何等の理由もない

蠟山教授はやゝ心配氣に「京都會議に出席した米國代表のあるものは、この鐵道附屬地と支那の他の地方における外國居留地との間に何等の差別を設けてゐないが如くである」と述べてゐる、氏は又た「京都會議の空氣及びそこで討論された問題の內容から見れば、吾人は日本人として鐵道附屬地に於ける行政の性質についての學術的分析を必要となす焦眉の必要を感ずる次第である」と述べて居られる

然しながら、蠟山教授が引戻さうと望んで居られる時計の針は、京都會議においてのみならず何處においても「米國の代表の或もの」の間ばかりでなく、すべての人々の間に、また國際的學術會議においてのみならず外交的會議においても先へ先へと進んで行く、蠟山教授の述べられたところによつても、氏の理論なるものは、日本においては一般的ではあるが「支那人その他の外國人」の見(と氏は說明してゐる)とは異つてゐる

吾人は本稿の終りにあたり、次に華府會議の支那における外國郵便局に關する小委員會で、偶然に本稿で論ぜられたと同一の問題が持ち出された際に、取り交された委員の應答を議事錄によつて紹介しておかう

「埴原(日本代表)はそこで鐵道附屬地問題を持出し、氏の條約の解釋によれば、日本はその管轄下にあり鐵道附屬地に郵便局を設置して差支へないと說明した

施肇基(支那代表)は埴原氏が何れの條約の何の條項によるかを質した

埴原氏はポーツマス條約により日本は南滿洲鐵道附屬地及び租借地におけるロシヤの權利を繼承した旨を說明した

委員長ロッヂ(米國上院議員)は租借地と鐵道契約とには相違ありとの意見を述ぶ

埴原氏は日本の行政權に關する限りでは日本は租借地における同樣な權利を鐵道附屬地においても有すと聲明す

委員長は鐵道に關する權利なるものが單に通行權だけでなく、土地の租借も含むかと質す

埴原氏は日本は鐵道線路上においてのみならずその兩側の一定地帶に權利を有し、その地帶は租借地と同樣の地位として取扱はれ、徵稅警察郵便を含むすべての權利が附屬するものであると回答す

委員長はそれ、そ通行權といふべきものだ」と述べた(をはり)

井上所長の功績
近來安東の名市長

【安東】滿鐵の人事整理に依り安東地方事務所長井上信翁氏も待命となつた、井上所長の安東在任は僅かに二年四ケ月であるが此の短期間內に安東の爲めに盡した功績は頗る多い、地方事務所關係の仕事は減收、緊縮の爲め殆ど中止又は休止の形で大して見るべきものが無かつたが安東民間の仕事で氏の盡力に依り圓滿解決を告げたものゝ一部を擧げれば第一現安取問題、學校問題、氏子問題、安東驛問題、商議書記長問題、沙河鎭問題、土地現業員問題、第二次安取問題、競馬問題等で此の外電燈問題、漁船問題等枚擧に遑なき程である又一面安東運動協會長、滿洲靑年聯盟支部長、修養團聯合支部長、商議特別議員、安東慈善團理事その他日支有力團體の最高幹部として活躍し純然たる安東市長として公共共に滿點の好所長を失つた安東市民は只管氏の永久に安東人士として居住されることを希望してゐる

愉快に仕事をした
井上氏語る

【安東】滿鐵の大地震、參事、技師等五十餘名の待命の報を齎して地方事務所々長室に御大井上所長を訪へば平常と何等變りなき態度でニコヤカに語る

愈よやめる事になりました、安東所長を命ぜられたのが昭和四年の三月十八日で着任したのが四月一日です丁度二年と四ケ月になります、滿鐵の經濟狀況が御存じの通りですから餘り大した仕事も出來ませんでしたが市民各位の御援助に依つて始終愉快に仕事をして來る事が出來たのは何よりもお禮の申樣のない次第です

萬寶山にある警官隊苦鬪
酷暑と馬賊に惱む

【長春】萬寶山現地保護にある我警官隊の昨今は地獄たぎりの酷暑に依然警戒をゆるめず苦鬪を續けてゐるが吉林交涉が解決せざる限りは撤退せざることに決定してゐるためこの撤退は果していつになるか豫測を許さぬも吉林での圓滿解決は大體不可能視されて居り結局奉天に交涉地を移すことになららうが斯くしてこの問題も解決までには今後幾多の迂餘曲折を要する譯だから從つて警官隊の引揚もそれだけ延びることになららう、然し最近は高粱が繁茂したので警戒方針も馬賊の襲擊を防止することに努めてゐるが馬稍口、萬寶山間往復六里餘の警戒線は一隊を十名餘とし高粱間からの狙擊を特に注意しまた馬稍口が馬賊の唯一の通路となつてゐたがこれを發覺されてゐる形になつてゐるので警官隊の警戒も頗る濃厚であるため夜間の立番も四名とし徹宵之れが警戒に努めるといふから鮮農保護の警官隊の勞苦は一般の想像を許さぬものがある

五龍背の川遊び

【安東】一年中を通しての遊步地として好適の五龍背溫泉では目下大和、朝日の兩小學校の兒童が溫泉聚落に赴いてゐるが同溫泉五龍閣では土に親み水に親む事が夏の保健の第一要素として常に河水の少い砂河を掘り下げて一大プールを作り兒童及び一般浴客の子供娛樂の爲に開放してゐる此のプールは小さい子供にも危險なく愉快に川遊びが出來るので溫泉に河に一日の淸遊にはもつて來いである

夜の太公望の爲 簡易宿泊所
金州西海岸の新施設

【金州】メバル、アイナメは言はずもがなチヌも二寸位に成長して愈々釣場の金州西海岸には無我の境に入らんとする輩が日毎に增へつゝあり正に太公望跳躍の時季は訪れた、海岸線に凹入の多い西海岸龍王廟より北に向ふ海岸一帶は豐富な棲魚巖に於ても距離の點から言つても最も理想的な釣場であることを疑はない、至る處釣場ありの觀ある金州ではあると雖も衆目の推す第一位は即ち西海岸であらう、其の意味に於て今度龍王廟先の海邊に建坪十二坪の簡易宿泊所兼調辨所と言つたものを設けたこれは夜釣に大連方面から來る太公望連に取つては一大福音であつて一時に十四五人のゴロ寢も出來るから團體に利用しても誂へ向である兎に角廣茫たる渤海の靑海原を前にしてオゾンを吸ひつゝ寸時の夢を釣場に求むるのも亦一興であらう

夏の浴客を迎へ熊岳溫泉の躍進
簡易宿泊所を開設

【熊岳城】三伏の酷熱はいよく本調子にやつて來た海へ山へ避暑客は押し寄せた滿洲中唯一の民衆的溫泉として知られ山紫水明河魚躍り水鳥飛び交ふ大自然をバックにいとも原始的な河原の砂浴は汗みどろになつて植民地の生活戰線に活躍するプロレタリアのみの滿喫する事の出來る

自由と 平等との表徵として喜ばれ出した押し寄するわ寄するわ上り下りの各列車より吐き出さるゝ浴客は日々に激增した、然し此の人々は逗留中案外に經費の嵩むを嘆じて今少しく經濟的に長期入湯の出來る設備をと渴望したが今回いよく民衆本位經費節減而も居心地よく心長閑に湯治の出來る時代向き新營業方針に依つて驛前電燈會社裏に多數の室數を有する小ざつぱりとした簡易宿泊所の經營を始めスピート時代にふさはしい奉仕的旅館熊岳寮の開設を試みる篤志の人を出した、此の種營業は當溫泉として益々民衆向とし全滿人士に此の靈泉の活用をうながす

好設備 として大いに期待せられ開業前既に豫約申し込み十數件二三十名に上つて居ると云ふ好人氣因に其宿泊料は食事代を含み金一圓均一と雖も從來の二圓程度の待遇をすると云ふ破天荒の勉强振り殊に開設自祝の意にて當分溫泉場への送り迎へ馬車賃も無料で奉仕すると云ふ大サービス振りである

朝鮮を引揚げて北滿地方に移住
約五十名長春を通過

【長春】在鮮支那人四十七名は廿九日來長、城內紅卍字會員の出迎へを受け紅卍字會內に保護を加へてゐたが內五名は三十日吉林に職を求めて移住し殘りの四十二名は同日八時二十四分發列車でハルピンに向つた、因に一行の旅費は安東長春間は安東總商會より醵出保護し長春吉林間、長春ハルピン間は長春紅卍字會より保護することゝなつた、尙長春縣廳からも一人宛哈大洋五十仙宛を支給したものゝ如くであるが在鮮支人の北滿移住者はこれが最初である

奉天の火事

【奉天】卅一日午前一時十分頃市內稻葉町建築請負業深町方より出火し消防隊の活動でトタン葺平屋十七坪を燒いて鎭火したが原因は煙草の吸殼、損害は約六百圓である

御眞影奉安

【奉天】奉天加茂小學校の御眞影は卅一日十五時半着急行にて小倉地方事務所長捧持し到着直に淺速通り加茂町より小學校に安着同校講堂に奉安した

沿線往來

▲山崎代議士 三十日安奉線にて京城へ
▲宇都宮高等農林生一行十四名 三十一日公主嶺より奉天へ
▲日本大學雄辯會鮮滿視察團一行七名 三十一日安東より奉天へ
▲大阪福島商業生一行五十名 三十一日赴連
▲米國ボストン旅行會社主催觀光團一行十二名 三十一日京城より奉天へヤマトホテル投宿
▲慶應義塾產業研究會旅行團一行十三名 卅一日奉天へ
▲京都帝大鮮滿視察團一行卅六名 卅一日奉天へ
▲岡山縣第二回見本市團一行十一名 卅一日京城へ
▲柴山顧問 卅日北平へ

身代五萬三千圓に 拳銃と彈丸を呉れ
拉去された山田氏の名刺に認め 馬賊副頭目が脅迫文

鄭家屯西遼河橋梁改築工事を監督中、馬賊團のために拉去された大倉組四平街詰所三橋國義（三四）山田亮一（三三）兩氏の消息について鄭家屯領事館警察署では極力搜査中であるが、三十一日朝官兵が賊團と交戰の際射殺した一名の賊を檢證の結果この賊こそは昌圖法庫兩縣下一帶に暴威を振るひ、本年一月二十五日四洮線四平街、蚊蜂甸兩驛間の線路を破壞して滿鐵列車の劫掠を企てた馬賊團の頭目「掃北」であることが確められるに至つたが、一日午前十時ごろに至り賊團は副頭目「紅魚」の署名ある山田亮一氏の名刺を附近の百姓を使者として大倉組詰所に持參せしめ

三橋、山田兩名の身代金として金五萬三千圓及びモーゼル拳銃五十挺に彈丸五千發を添へて兩三日中に我が指定する場所に持參すべし、然らずんば兩名の屍體を引渡さん

との脅迫狀を寄越した、我領事館警察署では附屬地外の地域であるため、支那の官兵と協力して、穩當に人質を奪回せんと試みてゐるが本賊團は既に官兵により頭目掃北を射殺され捕虜一名を出してゐる關係上、相當頑强な態度に出るべく豫想され、拉去された兩氏の

危險刻々

に迫つてゐるので大連大倉組出張所加藤主任は善後策を執るため一日午後九時發急行で鄭家屯へ急行した【寫眞は拉去された山田氏】

今日迄前後五回
馬賊に襲はれた詰所

大倉組詰所が馬賊の襲擊を受けたことは今回が初めてでなく五月十六日を始めとして現在迄前後五回の襲擊を蒙つてゐる即ち五月十六日には鄭家屯附近詰所を襲はれ日本人は全部素裸にされ約金五百圓の被害を蒙つた外其後大倉組では危險を感じて巡警詰所と現場に非常ベルを裝置し警戒してゐたところ六月卅日再び襲來し非常線を切斷し一時間半に亘り交戰したことあり、又巡警詰所には金錢を强要脅迫狀が舞込んだなど現在は保安隊の應援で約四十名の巡警が警戒に當つてゐるのであつた、七月七日には石田軍太郎、梅本平松兩氏が通遼附近で矢張馬賊の襲擊を受けた、因に三橋氏の原籍は熊本縣天草郡島子村、山田氏は宮城縣登米郡米山村字西野で大正十五年大倉組に入社した、夫人は乳呑兒を

兩陛下御避暑

【東京一日發】葉山御用邸へ滯在中の天皇皇后兩陛下には照宮順宮兩內親王殿下御同伴にて五日葉山より那須御用邸に行幸、九月十日頃まで御滯在あらせらるゝ趣である

東京で大貯水池を十年計畫

【東京一日發】東京市では七年度六億五千萬立方呎の山口貯水池の完成を待ち直に多摩川上流小菅附近に六十億立方呎の貯水量を有する世界有數の大貯水池を建設する事になつた、十年計畫で工費四千五百萬圓で完成の曉は十和田湖に匹敵する人工大湖水となり大東京の一新風景となら

共產黨系の匪賊二名を射殺
鴨綠江岸光城面にて 交戰中わが刑事負傷

二名組の匪賊が鴨綠江中の島方面から新義州署管內に潛入したとの報に接して新義州署では直に三組の搜查班を出動せしめたが、卅一日午後一時半ごろ司法主任瀨原警部補以下五名の一班が光城面の守備隊射擊場の堤防に張込んでゐたところ雲降の學生服を着た廿五歲位の男と鮮服を着た卅歲位の二名組の怪しい鮮人が通りかゝつたので搜查班はこれを誰何するとその中一名は矢庭に懷に隱し持つたるモーゼル拳銃を取出し警官に向つて發射續いて第二彈を發射せんとするや搜查班も之に應戰したが彼我の距離僅かに二、三間に過ぎなかつたので瞬間の中に賊の二名を射殺した、其際新義州署高等係刑事茂木八三次氏は賊の第一彈で左大腿部に貫通銃創を受けた、賊の系統及び氏名は目下取調中であるが連累者ある見込で檢擧に努めてゐるが、桓甸縣若くは鳳城縣に根據を有する中國共產黨系に屬する匪賊で軍資金强奪のため侵入したものと見られてゐる【安東電話】

茂木刑事容體

賊との交戰に當り負傷した茂木刑事は直に新義州醫院に運ばれ、應急手當を受け引續き入院加療中であるが傷は左大腿部を前面から背部に貫いたが骨膜は外れてゐるためその後の經過は良好で全治約一月の見込み【安東電話】

けふは曇り勝
低氣壓はきのふ通過したから 雨具の用意は要らぬ

サラリーマンにとつて日曜日の雨は一番苦手であるが、一日の夕方二時間あまり土砂降りが續いたので今日の日曜日の天候が氣づかはれたが若草山の放送によつて一日朝黃河流域に起つた七百五十ミリの低氣壓が、東太平洋から襲つて日本全土を包圍した高氣壓と相呼應して北東に進み午後六時頃には渤海北岸に移動しその餘波が關東州にも驟雨を降らしたもので雨量は十ミリ（坪當り一斗八升三合）で大したものではないが日曜の前日だけに氣づかはれた、低氣壓は十二米突の風に押されて北東に向つて飛び去つたので二日の日曜は先づ大丈夫とのことだがまだ雨季を脫しないので曇りがちだらうが雨具を用意する程のことはないと

百萬法の懸賞金
八千キロ飛行新記錄者に 佛航空協會の意氣込

【パリー三十一日發】ポートマン、ボーランド兩氏のニユーヨーク、イスタンブール間八千四十五キロ（國際航空協會の計算）一氣翔破長距離飛行新記錄はフランス航空界に非常なセンセーションを起しパリー航空協會は此氏の記錄を打破る佛飛行家に對し百萬法の賞金を提供すべしと發表した、このため曩にパリー、チチハル間を翔破したコスト氏も今秋この懸賞に應ずべし既に使用機に特別燃料貯藏タンクを取つけ準備中であり過般東京訪問飛行の途挫折したル・ブリ氏も今秋迄に再擧する模樣である

ロビンス機 愈よ壯途に上る
天候良好の入電に

ニユーヨーク、イスタンブール間無着陸飛行に成功したボストンの青年飛行家ボードマン、ボランドーワ、ボクラの飛行機はファーストクラスの絕好な狀態にある、この分なら印度カルカッタ迄一氣に飛破し得るであらうそれから次に日本へも飛べ樣然し八月四日迄は歡迎會やら何やらで忙しく又色々の事を考慮せねばならぬから未定である

ボクラ機調子頗る良好

【イースタンブール卅一日發】

【シヤトル卅一日發】ロビンス機は一日延期せるも途中の天候良好なる旨入電ありしため今夜壯途に上る筈

リ大佐夫妻

【オツタワ三十一日發】リンドバーク大佐夫妻は一日ムースファクトリーへ出發の豫定なるもまだ確定せぬ、夫妻は何時でも出發し得るやう準備した上本日はカナダ下院を見學した

四萬金留の名馬
値引せぬとて持主を投獄 亂暴な支那警備司令

【ハルビン特電一日發】名馬を中に露支兩國が爭つてゐる物語り…去年二月砂金三十斤を持つて脫走して來たグラコエの巨商グラゴフ外二名のロシア人の乘馬中の一頭はクレビン號とてロシア切つての名馬であるので馬黑河警備司令官が欲しがりグラコフに二千元で買收交涉を進めたが四萬金留ならでは賣らぬとはねつけられた、そこで直に璦琿監獄に不法脫走、不法入國の廉で投げ込んだ上本國に追ひ返すと嚇かしたのでグラコフもやうやく承諾の色を見せたが、之を聞いたソウエート政府は右の名馬は國有財產であり、彼等は五萬留の稅金の滯納者であるから、人間と馬を一緒に返せと主張したに對し支那も負けてゐず、人間だけは返すと答へた、之にはソウエートも閉口して人間はいらぬから馬だけは返せと本音を吐き目下兩國國境當局に紛爭を起してゐる

殺すと、人質を山中で脅迫
『金は十日以內に持參せよ』 鞍山の自宅へ手紙

三十一日滿洲銀行鞍山支店出納係候立峰を人質として拉致した頭目北國馬賊團十數名は午前七時ごろ千山雲觀に於て朝食の際候に對して「金十六萬圓を今日より十日間以內に千山無量觀に持參すべし若し期限內に持參なき時は耳、手を殺ぎ落し送る」と脅迫し、候本人はそのため已むなく妻女に宛て「財產全部を整理して送れ」と書いた手紙を送つたが、この手紙は朝食の際大孤山に通勤する苦力を抑留して置き候にこの書面を認めさした上これを該苦力に託し大孤山より郵便にて發送したものらしいが、候方には三十一日午後一時ごろ到着した、これに就て滿銀支店では絕對に出金せぬと語つて居た【鞍山電話】

共犯者たる西田及び某寫眞店々員一に就き嚴重取調べてゐる

車は事なきを得たが犯人嚴探中【安東電話】

盜んだ品の分け前爭ひから
相手を射殺しやうと企つ 恐い不良少年捕はる

盜んだ品の分前爭ひから恨みを懷き相棒を射殺、自分も自殺せんとした大膽不敵な不良少年が大連署に擧られた、市內八幡町茶販賣店持永源吾方の雇人小櫻宏こと有馬金廣（一七）は十日以前家出し行方不明であつたが、去る三十一日朝ヒヨツコリ歸店し、店主所有のブローニング

拳銃を盜み、午後一時ごろ再び無斷家出したので、大連署に屆出で搜査中、一日午前十時ごろ中央公園滿俱グラウンド內で數名の不良少年と會合中を大連署員が取押へ、一味を本署に檢束取調べたところ、有馬は約一ケ月前、市內小崗子回春街居住大連檢車區西田某＝假名＝と共謀、市內某寫眞店の店員を唆のかし寫眞機一臺を窃取、入質したが

山分けの

ことから西田と爭ひを生じ、ひどく西田に暴行されたのに恨みを抱き西田を射殺の目的で拳銃を盜み出した旨を自白した、滿俱グラウンドで會合してゐた不良少年數名とは何等の連絡ないことが判つたので有馬を除く全部は歸宅を許されたが、窃盜

軟式野球大會の大連豫選會
來る九日から開催

スポンヂ野球の隆盛は近時各種スポーツを凌駕し大衆的スポーツとして大いに歡迎されて居り滿洲でもこれが統一機關の設置を要望されてゐる折から先般これが統一機關たる大日本軟式野球協會滿洲支部の設置を見たことは既報の如くであるが愈々來る八月九日より滿洲豫選會第一次豫選たる大連豫選會を本社後援の下に開催することに決定した、參加規定左の如し

▲參加資格　實滿兩軍選手を除いたチーム、一チーム九名補缺三名
▲申込方法　選手氏名チーム名を明記の上參加料二圓を添へ責任者を以て來る七日までに申込みのこと
▲申込場所　連鎖街體育室內日本軟式野球協會大連支部宛
▲使用ボール　日本軟式野球協會制定ボトル（三十八匁）
▲使用ルール　協會ルール
▲主將會議　八月八日

優勝チームの豫想 東京に次いで滿俱
興味ある宮武と山下の對戰 近づいた都市對抗戰

【東京特電一日發】都市對抗野球大會も愈々近づいたが、玄人筋の評判は大體次の如くである、即ち優勝候補の筆頭は六名もの六大學選手を持つ東京俱樂部で大連滿俱之につぎ、臺灣、橫濱、函館、鮮鐵、朝鮮兩鐵はそれぞれ一流チーム、富山、八幡は所謂ダークホースとして侮り難く名鐵、大阪、神戶、京都それぞれ特色を以てすばらしい前景氣だが、滿俱が豫期通り進めば決勝戰において東京と相見える こととなるべく、然もこの試合のフアンの中心的興味は何といつても天下の宮武の投球を舊の戰友和製ベーブルース山下が如何に打ちこなしてゆくかにかゝる、球界の雌は東京を一歩も出でざるか、或は遼來の滿俱勝を制して遼東の地に四度黑獅子の優勝旗が飜へるかである

朝鮮疑獄の上告棄却

【京城一日發】朝鮮疑獄事件の肥田理吉、增原一馬兩名に係る詐欺事件の上告審は一日午前十一時京城高等法院で金子裁判長係山澤檢事立會の下に開廷裁判長より上告棄却を言渡した

聚落兒童交代

滿鐵學務課の星ケ浦における沿線兒童聚落に來連中の奉天兒童百六十名は一日午前十時半列車で奉天以南の兒童百六十名は二日午前十時四十分發列車でそれぞれ歸校したが第三回目の撫順兒童二百名は二日十六時五十分着列車で安東方面兒童百九十名は三日午前七時着列車でそれぞれ着連の筈

市民水泳大會

大連市役所主催大連新聞社後援の大連市民水泳大會は二日午前十時より大連運動場プールに於て擧行されるが、延人員六名盛會を豫想されて居る

水泳場開場式延期

滿鐵水泳部では今二日黑石礁において盛大なる開場式を擧行する筈であつたが種々なる事情のため來る九日に華々しく開場式を擧行することに延期された

安奉線で列車妨害

一日午後三時十五分ごろ安奉線河口、鄒家堡兩驛間の線路上に大石を置き列車の運行妨害を企てる者あり、保線區見張員が發見し列

チリ紙は福盛號

電話五六八五番

藝術寫眞展

三、四日の兩日午前九時より午後六時迄オリエンタル寫眞工業株式會社主催の下に滿洲日報社講堂に於て滿洲文化藝術寫眞展覽會を開催するが、大連、奉天、ハルビン、四平街、長春等から參加あり、出品五十點にして其の盛況を豫想されてゐるが、入場無料にして一般來會を歡迎すと

長山島清遊延期

中日文化協會主催大長山列島清遊會は一日開催豫定のところ天候の關係で八日に延期したので機會に補缺を募集すると

搜查願

市內沙河口仲町四六田賀止二氏實弟富三（二二）は去る二十八日午前九時ごろ大連の知人を訪れ內地に歸省するからと同家を出たまゝ行方不明となり正二氏より一日朝沙河口署に搜查方を願出でた

平田校長母堂

平田旅順一中校長母堂は廿九日郷里富山縣下新川郡三日市町に於て死去した る由享年八十五歲尙平田氏は目下歸省中である

本社參觀

南滿工專附屬職業敎育部員八十五名は宮崎信一氏引率にて一日午後本社見學

▲エス語聯盟總會　二日午前十時から土建協會で滿洲エスペラント聯盟第四回總會を開催

日曜日の催物

▲本願寺關東別院　二日午後二時念佛生活の意義（特別講演）諒折勝師
▲春日小學校　二日午前九時より第十回同窓會を開催（會費五十錢）
▲大正小學校　二日午前九時講堂に於て第十回同窓會を催す
▲南山麓小學校　二日午前十時同窓會を開くが會費四十錢

安樂椅子

野人そのもので ある滿洲體育主事の林田學君は無類の國粹主義者だがその反面また「如何なることでも自然に飽しないのは駄目だい」と自然愛好者だ。

……◇……

話はチト古いがこの間內田滿鐵總裁を熊本縣人會で招待した時「內田總裁は毎日鹿爪らしい宴會ばかりで面白くなからうから俺達は野趣横溢の園遊會をやつゝけよう」と屋の家前庭でやつたがそれが圖に當つて內田總裁も大喜び、肥後の鄕土趣味を遺憾なく發揮し參會者も大喜びで野人林田氏も大滿足だつたらしく內田總裁から「前略久方ぶりで十分の鄕土趣味に浸り思はず靑年の當時に立ち歸つた心持ちになり頗る愉快に一夕を過ごし積日の疲勞を洗滌し去りたる思ひ之有各位の御勞志誠に有難候云々」

……◇……

林田さんこの感謝狀を手にして「ドウダイ、總裁を若返らせ元氣潑剌として滿蒙のために働いてもらふのは俺達若者だ」と鼻息滔るべからざるものがある

曙の鐘（5）

倉田潮　淺枝次朗畫

白鷺の選士（五）

百合子は春木にたえ子を引合せてから、改めてかう說明した。
「正雄さん、この月瀨たえ子さん、あなたと同鄕で、しかも幼な友達なんですつて」
「さうです」
百合子の說明を待つまでもなく春木は二度目に見た時既に思ひついてゐたのだつた。彼の故鄕の田舍町に昔から舊家で通る月瀨屋と云ふ造り酒屋があつた。かやぶきの大きい母屋に、古い倉が裏庭に二つついてゐた。その酒倉でない方の古倉で、春木は幼年時代を送つたのだとも云へる。朝からそこへ遊びに行つて「村の腕白同志」と毎日驕ぎ廻つて日を送つたのだつた。たえ子と夫婦にさせられて恥かしいまゝごとをしたこともあつた。今も幼年時代の追憶に耽ると、彼は必ずその倉のにほひを思ひ出すのである。
しかし、その月瀨屋は春木が尋常小學三四年の時分に何うした譯か急に東京へ引つこして行つた。恐らく家が立ち行かなくなつた爲なのだらう。
「遠い昔ですが、まだちやんとおぼへてますよ」
と春木は思ひ出すまゝにその頃のことを話し出した。たえ子は背の高い體を少し前こゞみにして話を聞いてゐたが、時に黑い瞳を笑ひに輝かして無言の同感を表した。白粉けなぞは全くないのに、襟足の線が透き通るやうに白かつた。
「で、今は東京にゐられるのださうですね」
「さうですの」
「御家族は？」
「母と弟だけですの」
「それで、あなたが今まで働いて……」
「さうですの。一昨年父がなくなつてから大變困つてゐるのですわ」
と先程大體百合子から聞いてゐた家の事情を細に打ちあけた。父の死後彼女は可成り信用のある雜誌會社に務めたが、この頃その會社が傾きかけて、場合によると月給をくれない月さへあるそれに弟が今度商業を卒業するので、中學にだけは是非入れてやりたい、でもう少ししつかりしたところへ這入らなければならない立場に立つてゐると云ふのだつた。
「で、淺草を訪ねられたのは…」
「職業紹介所から廻されたんですのよ。父の生前パブロバ夫人に踊りを習ふたことを履歷書にかいておいたら、レビユーに出ないかとすゝめられたので……」
「出るつもりだつたのですか」
「ええ、家の爲ですから」
敢然と答へて、彼女はスラとした上半身を起した。家の爲には如何なる危難でも突破する――さう云ふ強い決心がおさなしい態度の裏から光をはなつてゐた。
「正雄さん」と百合子が言葉をさしはさんだ「何うでせう、この方あなたの社に……。あなたはスポーツの餘德で（失禮よ）初めから社長の秘書だつてぢやないの。ぢや、一人ぐらゐ……」
たえ子は百合子のさう云ふ言葉を聞くと、また嫁い女にかへつて恥かしげにうつむいて了つた。横から眺めると其の眼がへの字をさかさにしたやうに見えて、長いまつ毛が瞼をかげらしてゐた。
「僕まだ社に這入つたばかりで」と春木は一寸考へてから答へた。
「人を御世話する柄ぢやないですけど、一寸心あたりがありますから、いゝです、引受けませう」
「ブラボー、白鷺の選士！」
、百合子がさう云つて笑ふと、たえ子も眼にあふるゝばかりの感謝をたたえて初めて明るく笑つた。堅い蕾が急にほころびて、眞紅な花が咲き出したやうな無言の美しさだつた。

新刊紹介

▲滿蒙の重大化と實力發動（細野繁勝著）著者は國民新聞の前編輯局長だが、一昨年上梓した「滿蒙管理論」の一著に依つて俄然東都操觚界に於ける滿蒙通の權威として知られ需求藉書を傾けて研究して居たが今回また本著なる、著者の如き權威ある滿蒙通が時局の重大性を巧みに捉へてこれを一流の筆法を以つて論じたゞけでも有意義なことは云ふまでもない、內容は▲苦難に喘ぐ日本▲國際日本の正視▲對支外交の退轉▲死活線上の滿蒙▲支那の對日挑戰▲日支交戰と米露▲開戰の波動および效果等に大別されてゐるが近來漸く滿蒙問題に關する世論の喧しき折柄、各種の關係著書中の最も權威ある好著の一つとして、本書を敢へて江湖に薦む（四六判二百三十頁、價五十錢、東京巧藝社發行）

▲新聞全集（第二卷）フランス革命前後のフランス新聞の動搖（喜多壯一郎著）新聞紙と世論との立體的考察の一部分として新聞紙と革命とが、過去に於てどんなであつたか、それをフランス革命に求めたのである（價五十錢、東京市京橋區銀座西四ノ五新聞の新聞社）
▲農業世界（八月號）價四十錢、東京市小石川區戸崎町四十六博文館
▲調査月報（第七號）價三十錢朝鮮總督府發行
▲滿洲遞信協會雜誌（七月號）價五十錢、大連市大廣場遞信局內滿洲遞信協會
▲性（八月號）價三十錢、東京市小石川區宮下町五十六日本體性學會
▲新青年（夏季增刊）中篇探偵小說傑作集、紐育ギヤング成長記（砂土原簑八）脫獄囚（F・Wホーナング）等他二十八篇（價六十錢、東京市小石川區久堅町百八番地博文館）
▲滿洲建築協會雜誌（第七號）價六十錢、大連市紀伊町八十五番地滿洲建築協會
▲民衆時論（七月號）價五十錢、奉天加茂町九番地民衆時論社
▲同仁（八月號）價二十錢、東京市神田區北神保町二十番地同仁會
▲つはもの（三百二號）價四錢、東京牛込區原町三ノ八つはもの社
▲文學時代（八月號）夏の隨筆、世界を震撼させた最近の人物、夏の新感覺、世界秘密結社秘話他小說六篇（價四十錢、東京市牛込區矢來町七十一番地新潮社）
▲海外（八月號）南洋發展大座談會（價四十錢、東京市落合町文化村海外社）
▲運（八月號）價三十錢、東京市神田區北神保町三宏運社
▲セルパン（八月號）海洋文學號季節の横顏（松　讓）私の愛好する島と岬（井伏鱒二）海（久野豐彥）價十錢、東京市麴町區二番町五第一書房
▲露西亞時報（百四十一號）北滿勞働者に關する考察、滿洲貿易と中華民國貿易に於ける共同位置等（價五十錢、哈爾濱道裡東經緯街四哈爾濱商品陳列館）

▲內外蒙古の橫顏（玉井莊雲著）滿蒙と人々は簡單にいふ、だが滿洲はよく人の識るところであるが蒙古（內蒙古、外蒙古）は依然怪奇、謎の國として無露好みの現代人の興味を唆つてゐる、著者は一介の畫かきとして內外蒙古に遊ぶこと七年其の間の紀行を書いたものでスケツチを頁一枚毎に挿入し加ふるに寫眞數葉、讀んで面白く又得るところも多い（寫帖布二百十二頁、價二圓八十錢、東京市外落合町文化村二ノ三海外社）

けふの放送

大連 JQAK
八月二日午後七時三十分
▲ニユース▲童話（牟生の鞭）成島成夫▲謠曲（三井寺）梅若流渡邊三作▲清元（三千歲）唄岡崎、同牧、三味線清元延徳富▲小唄（イ）柞川（ロ）高時（ハ）秋の夕邊（ニ）いつしかに、櫻川遊女助▲中國劇（洪洋洞）連東俱樂部々員▲ラヂオ體操▲料理獻立▲天氣豫報

東京 JOAK
八月二日午後六時三十分
婦人山岳の夕（日比谷より）▲講演（山岳の神秘）黑田より子▲獨唱、大倉ちろ子、西條管絃樂團、指揮南條仲造▲淸談（一）婦人と登山（高田義一郎）（二）歌舞伎の探偵趣味（大下歌治）▲俚謠唄三島一聲、尺八福田蘭童、林田美園▲管絃樂（支那抜萃曲）西條管絃樂團

大倉組の現場監督 二名を馬賊拉去
西遼河橋の工事場を襲ひ 官兵と交戰し逃走

卅一日午前十時ごろ鄭家屯から約一哩西遼河橋梁改築工事現場監督として出張中の四平街大倉組詰所の三橋國義氏(三一)は十數名の長銃を携帶せる匪賊の襲撃を受け馬賊のため縛られた儘倉庫内に押込められたが、午後一時頃に至つて現場から約五哩の地點の詰所にあつた山田亮一氏(三一)のもとに急報があつたので直にモーターカーで谷本請負師と巡警二名を護衛として救助に向つたところ三橋氏を拉致し行かんとした馬賊は一齊射撃し山田氏は其際モーターカーから墜落した、モーターカーは非常な速力を出してゐたゝめに山田氏を救助することもできず其の儘八哩の地點に駐屯してゐた巡警の應援を求める一方、鄭家屯にも增援隊の出動を得協力して現場から約一千米突の地點に差し迫つたが、馬賊は山田、三橋兩氏を引連れて交戰しながら逃走した、官兵はこの時馬賊一名を射殺、一名を捕虜としたが遂に山田、三橋兩氏を奪回することができなかつた、當地大倉組土木課からは兩名救助及び善後策をきるため谷省三氏が、卅一日夜四平街に向つたが、大倉組では目下八方手を盡して救助策を講じつゝある

巖窟に人質を拉して 馬賊團頑强に抵抗
千山で鞍山署員奮戰

馬賊團の所在を突き止めた鞍山署では松木署長以下警部補、刑事、巡査等四十數名が長銃及び機關銃を携行して大孤山に向つたが、この時賊團は早くも朝食を終り人質を伴れ喜雲觀を出發し五佛頂に攀ち上る途中であつたから松木署長は全員井上枝隊、山口枝隊、松木本隊と各班に分ち、松木隊長は部下七、八名を引率し機關銃を以て正面より攻撃し井上、山口、山本各枝隊は上石橋子より五佛頂後方に迂回し背後より襲ひ射撃を以て賊團を追ひ出し松木本隊が正面より機關銃を以て威嚇する計畫を樹て前進したが、賊團は早五佛山頂の巖窟に入り込み見張り番を置いて嚴重に警戒し居り松木署長の前進命令に署員は山また谷と嶮岨の岩壁を攀ち登り或は密林の中を前進したが折柄の夕立に會ひ雨中を衝いて激しい交戰を開始し、銃聲は天地に轟き悲壯を極めたが地の利不案内なる警官隊は惡戰苦鬪數時間に亘り午後七時頃日暮れに至るも尚逮捕に至らず一時休戰狀態となつた大孤山寨高所では飯のき焚出し湯茶の補給等をなし若し萬一の場合を慮り擔架繃帶藥品等を準備して居たが、夜に入つたので遂に一應引揚ることに一決して午後八時半ごろの臨時發運行電車にて署員四十數名みな無事にて引揚げたが賊は「北國」と云ふ頭目の麾下にて蒙古人數名を交へた大馬賊團であると【鞍山電話】

電園にモダン花園
夕涼みに好適の散策場

電氣遊園に滿鐵自慢のモダン花園が出來あがつた、イルミネイション塔の隣の高地約四百坪に珍種の洋花を植え純白のベンチを並べて夜は燦々と五百燭の電燈が數箇所に點ぜられ夏の夕涼みには絶好の散策場である、今てうどカンナが美しく咲いてゐる

九十萬圓の小切手紛失
七千圓詐取さる

【東京一日發】三十一日午前九時頃市外澁谷町上通り三の三六明治銀行澁谷支店では同支店振出しの九枚の小切手總額九十萬圓が何時の間にか消えて無くなつてゐるのを發見、直に東京手形交換所へ詐欺されたと小切手の支拂停止届けをなすと共に支店關係銀行へもそれ〴〵支拂停止方を通知した、交換所ではこの届出と共に嚴重警戒中であるがこの手配中日本橋通三丁目川崎第百銀行で右小切手中七千圓が引出された後でこれを知つて地團駄踏んだが後の祭りで川崎第百銀行と明治銀行との間に紛擾を起してゐる

將校泥醉し 鞍山醫院で暴行
土足をこがめられて

海城野砲兵第二聯隊將校十數名は三十一日午後七時頃より鞍山柳町一樂に於て懇親宴を張つたが、某少尉は其の歸途、午後十一時頃鞍山滿鐵醫院三病棟日光室に入院中の妻女を見舞ふべく來院し、泥醉して靴履のまゝ室内に入りたるより三好守衛が靴を脱いで病室は靜かにして下さいと注意するや、彼は無法にも生意氣云ふなと同守衛を殴打して左手に傷を負はせ日光室の扉硝子を打破る等亂暴の限りをつくしたので憲兵隊、警察に通報したところまた〳〵事務室にて亂暴狼藉を働きたる故三好、田淵の兩氏が取鎭め、來院した憲兵隊に引渡した【鞍山電話】

財團法人の創立總會
五日に力行會

財團法人大連力行會期成會では五日午後三時から市社會館に於て財團法人大連力行會の創立總會を開き左記議案を附議すると

一、基金及び資金募集その他報告の件
二、財團法人大連力行會寄附行爲議定の件
三、現在の力行會承繼に關する件
四、理事長、理事及び監事選擧の件

市長を相手取り慰藉料請求訴訟
糞便車に轢殺された幼女の兩親と祖父母から

北大山通り十一番地六の九滿鐵大連機關庫機關手河合博章、同人妻とこ、同人父芳松、同母ヒチの四氏は一日附連名で大連市長田中千吉氏及び大連市の使用人たる市内白菊町九一の三江頭巳之助氏及び同じく西崗街范家屯一九八首琴舫段徳成の四名を相手どつて大連地方法院へ慰藉料、損害金一萬圓の請求の民事訴訟を提起した訴狀によると原告博章の長女あつ子(三つ)さんは去る六月廿四日午後三時半ごろ、實世に連れられて自宅前の道路で近所の子供と共に遊戯してゐた處被告段徳成は大連市役所の糞便馬車を馭して通行し傍らのテニスコートでテニス遊戯に見惚れてゐる中馬がひとりでに走り出し、あつ子さんは車輪に轢かれて頭部を粉碎され堀江病院で憾した加療も効なく死したが、あつ子さんは夫婦間で結婚生活十年後に出來た一粒種で、掌中の珠と鍾愛してゐたものだが、市の使用人たる段の重過失から遂に死に至らしめたことは精神上の重い打撃だから加害者段及びその監督者范及びその直接上司江頭氏及び大連市代表田中市長は連帶して金一萬圓の慰藉料損害金を原告四名に支拂へといふのである

簡閲點呼 好成績
卅一日で終る

大連における關東軍司令部の六年度簡閲點呼は高野中佐執行官となり二十二日から伏見臺南滿工業專門學校に於て施行されて來たが三十一日を以て終了した

期間中令狀交付不能一名、無屆不參者二名、病氣届出不參十九名、入監のため不參者九名、其他事故のため不參者四名で參會者數は一千六百二十六名、この中遲刻參會者は二十六名であつたがこれは不注意から點呼令狀の期日に目を通さなかつた爲め當局の通知により遲れて參會したものである

なほ當局はこれを機會に參會者の職業調査を行つたがその結果無職者百五十三名、約一割と判明した成績は昨年に比し遙かに好く殊に既教育者にその著ろしき向上を見たがこれは各在郷軍人分會に於て競爭的に日頃の訓練を行つてゐた結果で思想的には注目すべきものがなかつたと

朝の涼味を趁うて(五)
汐風に乘る樂しい合唱
星ケ浦の兒童海濱聚落

鐘 朝六時、起床の鐘が鳴り響く、三百の兒童が一齊に跳起きた睡い眼をこすりながら手拭を持つて洗面所に集まる、寢具の片づけ掃除、長い廊下を雜巾を押しながら尻を高くあげて兎のやうに往きつ戻りつする、睡氣だつた朝の空氣は既にかき亂れて活氣づいて來た、こゝは星ケ浦濱海ホテルの兒童海濱聚落場である。再びガチャン〳〵鳴つた、七時の朝禮の合圖である、子供等はゾロ〳〵と聚落の廣場へ集つて行く、朝禮の式があつてから蓄音機に合せてラヂオ體操が始まる、それから……

水 こゝは樂しい星ケ浦　こゝは我等の樂園だ　すつかり胸をふくらせて　すつかり背を伸ばしつゝ　泳げ聚落の波の上　もぐれ千尋の海の底

胡蘿の葉陰に集つて爽かな朝の空氣を吸ひながら海濱聚落の歌の稽古がはじまる「皆さん大分上手になりましたが初めのところが少しいけませぬ、こんどは朝天組丈け唱つて下さい!」先生はハモニカをタクト代りに振つてゐる、先生も子供も浴衣や着のまゝで學校の教室とはうつてかはつた聚落らしい輕い氣分である「聚落の

子供は沿線の小學校五年以上の生徒中健康者だけを集めたもので、今來てゐるのは第二回目の奉天以南奉天の春日、敷島、敷嶋、附屬地、遼陽、海城、鞍山、營口、大石橋、瓦房店の生徒三百七名である「第一回の人達は恰度雨期にぶつかつて困つたさうですが、この組は天氣が好くて幸せでゐます、平常海を見ない子供が多いので大連に着いた初めての日などは一時も早く海岸に飛び出したがつて大騒ぎでした、八日間の聚落中大部分は

泳 げるやうになります、昨年などは歸る時に泳げない子供はたつた四人しかゐませんでした」と附近の先生は云ふ

三度鐘が鳴る、さあ水泳だ、先生につれられて海岸の脱衣場へ、ザンブと身を躍らせて海の中へ、白い泥が無數にはねる「泳げ聚落の波の上」だ【凸版は合唱する聚落生】

赤痢患者が 絶對多數
沿線の傳染病

七月中に於ける滿鐵沿線の傳染病發生狀況は赤痢三百三十三名、チフス十八名、猩紅熱十四名で赤痢は例年同樣絶對多數を占め殊に奉天の九十名、長春の五十三名、撫順の三十九名が最も多く人口に對する比率は本溪湖、四平街、長春が最多である、之を前年同期に比較すると昭和四年四百九十四名、五年三百六十八名、本年三百六十六名で本年は氣候不順のために極力豫防手段を講じたにも拘らず略昨年同樣の發生患者數を出してゐる、然し四月以降累計に於ては昭和四年四八三、同五年六六四、同六年五一三で逐年減少しつゝある

明日午前十一時を期し 天龍武藏山決勝戰
相撲場は九時に開放

大日本相撲協會の大連神社奉納相撲千秋樂たる卅一日の選士權爭霸戰決勝戰に於て當代人氣力士の天龍對武藏山の一戰は俄然白熱化し水入れ二回を行ふも決せず遂に十五分休憩後再試合を行ふもまた決せず遂に協議となつたが、協會側では同夜深更まで幹部集合の上種々協議するところあり、又一日午前當地後援者たる大連神社氏子總代、滿鐵、大每大連支局、大連新聞並びに本社等の關係者等と種々協議の結果この意義ある選士權大會の趣旨を完うするため武藏山對天龍の再決勝戰を明二日午前十一時を期して電園下土俵に於て擧行することに決定した、實に昭和相撲史に特筆大書すべきことで武藏山は家庭の事情上一日上り機で歸國することに決し、三十一日すでに切符を購入してあつたが、この協會側の申出を快諾し又天龍は角道精神より再試合を希望して居りこゝに協會並に兩力士の角道精神の一致を見て斷然擧行されることに決定したのである、なほ又協會側では大英斷を以てこの一戰を角道獎勵のため大連神社奉納相撲擧行するに際し盡力した主なる人々並に各力士後援會幹事に招待狀を發する以外は一般に公開することゝなり午前九時開場することゝなつたが何分收容力に限りがあるので滿員の節は入場を謝絶すると、天龍か、武藏山か、けふの一戰に若し四つ相撲とならんか天龍は武藏に對して角道入り古く、宮城以來の四ツ相撲巧者として新進氣鋭の力士で太刀山以來の強力士を以て鳴る力士であり、前者は熟練の士、一方は覇氣滿々たる士、必ずや千秋樂日におさらざる熱戰となるであらう(寫眞は上天龍、下武藏山)

早廻機
莫斯科出發

【モスクワ卅一日發】三十一日午後五時二十分(日本時間八月一日午前零時二十分)當地を發したアメリカ飛行家パングボーン、ハーンドン兩氏の世界早廻り機の當地着までの所要時間は約七十七時間でボスト、ケッテイ兩氏の記錄と比較すると九時間五十六分多くかゝつてゐるのでシベリアでこれを取返すべく非常な意氣込みである

福券レースに 賞品を增加
秋季競馬大會に出願
ブラッセはまたお流れか

大連競馬俱樂部では來る廿二日より六日間星ケ浦競馬場において秋季競馬大會を催すが、俱樂部では今期競馬より呼物の一千圓福券レースには一等一千圓、二等三百圓、三等百圓は從來通りとして更に四等に五十圓を加へ從來の等外二十圓を三十圓に增加することゝして一日朝沙河口に願出でた

また競馬ファンより大いに期待されて居つたブラッセ(複勝式勝馬投票券發賣)は前回の臨時競馬にもお流れとなり七月中には關東廳にて施行細則の發令なく今秋季競馬より開催される筈であつたが、未だ右發令を見ないのでまた〳〵今季の競馬にも折角期待されて居つたブラッセはお流れるさうらしい

暑中稽古 滿鐵本社道場では本年度の暑中稽古を來る三日から向ふ二週間(日曜休み)毎日午後三時半より四時半まで擧行することになつたが市内各警察署、各學校等からも多數の參加者があり盛大を豫想されてゐる

三時間遲れて うらる丸入港

定期船うらる丸は三十日門司を出帆後濃霧に襲はれ航航を重ね一日豫定より約三時間遲れて入港したが、同船では新たに滿鐵顧問に招聘された斯波忠三郎博士、京都佐伯病院長佐伯信男氏、永らく滿鐵にあり今回勇退した井手正雄氏も乘船

主として各地の農村狀態と社會施設の問題をゆつくり見て來たやめても當分大連に居るつもりだ

次に大汽重役神戸支店長長阪清太郎氏

いつも夏には一寸本店に顔を出すよ、社務の打合せに來た丈さと來連用件を語らない、その他關東廳衞生課長尾子敏雄氏、辯護士只海運界は相變らずの不景氣さ湯淺唯二氏等と頗る賑々しい顔ぶれであつた

歌扇の宿代踏倒し事件送局

女優大連劇場に出演した女歌舞伎中村歌扇(三〇)は四月二十二日から六月十二日まで市内吉野町六番地名古屋旅館に宿泊し宿料二百四十圓二十錢を不拂のまゝ離連したといふので名古屋館主藤原惣兵衛氏から詐欺の告訴を大連署に提出され巡業先の安東警察署で取調べを受けたが「宿料は勸進元が支拂ふべきもので自分に責任はない」と抗辯した、しかし一件書類は一日附大連檢察局に送られた

僞電事件送局

松竹映畫上映權をめぐる僞電事件は大連署司法係藤本警部補の手で鋭意取調中のところ一日罪狀明白となり僞造發信人小田英澄は私文書僞造、僞電送達紙を寫眞に撮りの策略をなした寶館主吉田辰三は松竹關西支社に送り、上映權横取り業務妨害、信用毀損で送局され、兩名の身柄は關東刑務支所に移された

明大歡迎會 明大選科野球部一行は三日入港の奉天丸で着連するが、同大學校友會關東州支部では三日夜六時三十分より扶桑仙館に於て同チームの歡迎會を催すが出席希望者は加藤(電四六六七)岡島(七四七二)兩氏宛申込まれたしと會費三圓(當日持參)のこと

常盤校同窓會 大連常盤小學校では二日午前九時から第十九回同窓會を開催するが、會費五十錢で辨當、菓子、氷の用意あり夜は七時から保護者慰安音樂會を開催、場內整理のため大人十錢、子供五錢

豆ゴルフ 大廣場、大連ベビーゴルフクラブでは一、二兩日午後三時より午後九時までの間に第三回のカップ爭覇戰を擧行することゝなつた、また常盤橋、中央ベビーゴルフ場は既設のコース過半數を改良しポピュラーなコースに變更した

天氣豫報 二日 東南の風 曇雨模樣

	一日午前十一時	三十一日最高
大連	二三、三	二七、三
旅順	二三、二	二八、五
營口	二八、〇	三一、四
奉天	二八、四	三三、五
長春	二三、一	三一、四

滿潮(午前零時十五分 午後零時三十五分)
干潮(午前六時十分 午後七時十分)
暴風警報 一日午後一時南滿沿海方面へ警戒す

けふの小洋相場(正午) 金百圓は二五四圓七〇錢

父滿鐵調査課員本村正直儀永らく大連醫院に於て療養中の處藥石効無く今朝死去仕候間此段生前辱知諸賢に御通知申上候也
追而明二日午前十時聖徳街葬齋場に於て告別式相營申候
昭和六年八月一日
大連市眞金町十九番地
長男 本村直之
滿鐵調査課 僚友一同

暗流阿修羅館 (142)

生田蝶介 作　挿畫 藤井耕達

三百萬両事件（二八）

久々で、曲直瀬鐵門が角海老樓に訪れて來たが、もう九重太夫は昨日何者かに落籍されたあさだつた。

曲直瀬は武士姿、大家の老職のやうな服裝。

（何さ、あの時の侍が立派になつたものだらう）

「旦那樣は御存じなかつたのでございますか」

角海老の主人は仲間六七人さお伊勢樣へ、お詣りに行つて半月ほご前から不在である。一切を任されてゐる番頭九六、四十七八の少し輕いが、年だけの分別顏、丁寧に一々頭をさげて

「はてれ」

さ、そばの若い者たちを見た。

「あの時の書き物を出しな」

さ云ひつけて

「手前方さいたしましても、九重太夫は、いはゞ角海老樓の一枚看板でございます。九重太夫があつて角海老が有名になりました位、誰が何さ云ひましても、人手に渡すものではございません、たさへ伊達の殿樣がおいでになりましても島津の殿樣がぜひさ御懇望なさいましても、いつかなお渡ししない積りで居りましたのでございます」

「うむ」

「が、旦那樣からのお話ではさうはいきませぬ。手前方にも義理がございます。わけて主人はこれがやかましうございます」

「へえ」

「一寸待て」

「旦那樣からのお話さいふのは……」

「へえ旦那樣で……」

目をぐるりささせた。

「さいふのは誰のことだ」

「旦那樣のことで……」

「だから、誰のことかさいふのだ」

「貴方樣のことで」

「私のことか」

「へえ」

「默れ！」

「へッ」

「私がどうしたさいふのだ」

「ま、ま、まつて下さいませ」

「……」

「まだ、まだ、お氣が早い、何が何だかわからぬうちに、そのやうに……」

「何が何だかわからぬから怒つてゐるのぢや」

「ま、すつかりおきゝ下さいませ。私も腑におちないことがございますので、先程、はてな、さ申したのでございます」

「次を早く云へ！」

「旦那樣の前でこのやうなことを申しますのは甚だどうも怒ばつて居るやうでございますが、あの九重太夫がゐるさゐないさでは餘程みいりがちがふのでございます」

「そのことはいま聞いた、次を云へ！」

「へえ、でございますからして」

「同じことを云ふな！」

「へえ、へえ、何處まで話したのでございましたか」

「馬鹿！」

「へえ」

「誰が落籍して行つたゞ訊くのぢや」

「貴方樣でございます」

「……」

曲直瀬は默つて九六を睨み返した。

「貴方樣からの書面に百五十兩添へて、一人の若いお侍がお見えになりました、へえ、そのやうに手前方にさつては何よりも一番大切な玉でございますから、他樣ならば何千兩の耳を揃へられ樣さて、決して手放しはいたしませぬが、他ならぬ貴方樣」

「默れ！」

「へえ、貴方樣の親元身受でございます、義理を知らぬ樣な私ではございません、まして當角海老樓は……」

「默れ！」

語學劇　八、九日大劇

大連語學校同窓會の主催にて八月八日（土曜日）及び八月九日（日曜日）の兩日大連劇場に於て第三回語學劇大會を開催することゝなつたが、元來語學劇は實用的外國語の精華さもいふべきほどのもので之に成功することは至難であるが同校にては既に去る大正十二年滿洲に於ける最初の試みさして語學劇を公開して好評を博したが、今回開演する語學劇は日語劇登場者五名、英語劇廿名、華語劇廿五名、合計五十名でプログラムは左の如し

▲晴子摸象支那語劇▲菊地寛作父歸る日本語劇▲中村吉藏作據言者日蓮英語劇▲蘇武牧羊支那語劇

因に今回の語學劇は同窓會が母校復興資金募集の一助さして開催するもので會券一圓學生券半額であるさ

樂屋から覗いた芝居　擬音のこと・その外いろいろ（三）

立花寛一

生意氣な歌舞伎の新人さやらいふ手合の階級意識呼ばはりは近頃へソ茶の至りであるが「縁の下の力持」の恐らくは語源であらうさ稱せられるものに「穴番」がある穴番一名「迴し」で舞臺を迴す役である、舞臺を迴すこの何さ命がけの努力の要るものであることよ！彼等は嚴冬さ雖も裸で汗を流してゐる、而も劇場建築の大資本化、電化は何千貫の大舞臺がスキッチの鈕一つ押せば動く時代が出現して、穴番なる職業もやがては戸田教授の「職業總覽」からさへ姿を滅するに至るであらう。[illegible]て再び受難もの小道具であ

る、小道具受持ちの仕事は、秀へて見ろさまたくいくらもあつた家財道具が小道具である以上、行燈に灯をさもすなども當然小道具の責任に屬するが、明治何年か初めて劇場に電氣が用ゐられて電氣や（今では理學士さの工學士さの擔任する電氣係であるが、その現在でもなほ且つ電氣やの尊稱はそのまゝ用ゐられて居る）なるものが出來た時である、舞臺の照明以外の點燈も小道具を離れて電氣やの方に移るものであらうかさ云ふ重大なる疑問が起つた。この問題は[illegible]

表現であつたが、そのさばつちりを食つてひどい目に遭つた役者も少くない、電燈初期の頃で停電が頻發する度に、この點燈責任者論が繰返されたさ云ふのだから、時には一晩暗闇の中で芝居をしなければならない事件などもあつたものであつた。

小田の蛙の鳴く音をば
さゞめて敵にさゝられじさ

武智光秀が夕闇の彼方より現れ出でんさする緊張したシーンである、シーンさ靜まり返つた中に諸君は蛙の鳴く音を聞くであらうこれも小道具の小父さんの仕業なのだ、蛙の聲は茶呑茶碗の底さ底さを擦り合せて出す、貝殻も使ふが野暮なやうでも茶碗の底が一番眞に迫るらしい。

虫笛、鹿笛、鳩笛、沖鳥笛、その外雲雀や時鳥や大抵の鳴聲はそれぞれ專門に作られた笛があつて何れも小道具に[illegible]

夜目遠目

噂話

寶館がいよいよ近く一部改築工事に着手するのでその間休館するため映畫戰線狀は圓滿裡推移するらしい▲即ち現在寶館が上映してゐる帝キネさ東亞がそのまゝ大日活に上映される豫定で▲時期は多分來る六日からだらうと觀られてゐるが、吉田氏對映畫會社、長氏對映畫會社の契約に關してはまだ何も發表されてゐない▲この兩氏の妥協乃至契約内容如何によつて更に映畫館改築後の映畫戰線が豫想され、確定するが、これはまだ本極りになつてゐないのがほんさうだらう▲南座は「十六夜清心」をあげ乍らスッカリ天華に喰はれ、その天華がまた日延べで立並んだアンペラビルに押され氣味である

不景氣も何のその許り流行りダンス熱はいよいよ高まる一方でごの方面を見てもダンスダンス、カフェー命令條項が出るまではダンスを組合で習つて踊りたくて堪まらぬ、小崗子の連中が盛んにカフェ一軒へお客を誘つて進出したものだつたが、その後どうなつたのやら。

このダンス時代に投じて果然目覺めたのは西崗で、お客の筋からいつてもダンス好きが多い譯で大抵の家では廣間に蓄音器を備へつけて賑やかにやつてゐる。

大檢では噂のあつた淡月が角の樂屋の二階をいよいよホールに改築することになつたらしい。

本社特選 新將棋（其六）

平手先　四段△鈴木禎一
四段▲樋口義雄

【圖は三三銀迄の局面】

▲樋口氏 持駒 歩歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂			金	王		桂	香	一
	香					金			二
歩			歩		桂	銀	歩	歩	三
								飛	四
歩	歩	歩			歩	歩	歩		五
	馬	銀	銀	歩		歩			六
			歩	銀	歩			歩	七
角		金			金		飛		八
			玉				桂	香	九

△鈴木氏 持駒 歩

△七九玉　▲三五桂
△二六飛　▲四四銀
△八八金　▲九九馬
△八九金　▲同　馬
△同　玉　▲七三桂
△七八玉　▲八五香
△同　銀　▲同　桂
△同　馬　▲五二金

【土居八段講評】△鈴木君は完全に敵の戰鬪力を無くする意味で七九玉さ寄つて、敵馬捕獲の策を圖つたのは安全第一の好手段である▲其時樋口君は素直に馬を取らるゝ順になつては戰鬪力を失ふから、八三金打の含みを以て諸の如く三五桂さ跳ねたが、敵が八四飛さ浮いて豫防したので、今度は方向轉換の目的を以て七三桂さ跳ねて、右翼より攻勢を圖つたのは已むを得ない策である。

【萩原六段解説】鈴木氏の七九玉は敵の馬を捕獲せんさする安全策である。樋口氏の三五桂は次に二七へ金又は銀、即ち九八馬を犧牲にして打込まんさする含みで、鈴木氏の二六飛も至當の應手である。樋口氏の七三桂は次に八五香さ決戰して同銀、同桂、同馬八七銀さ必死をかけんさする含みである。鈴木氏の七八玉もその手順を避け安全を圖つたのである。

波瀾性に富む麻袋取引の話……(七)

市場中心の理想境へ

麻袋の定期取引は現に實施されて居る綿糸の定期と同様に六個月建の長期取引で、當月限から第六個月限までである。賣買單位は最低二千枚とし一定の標準物件――印度産鐵筋新麻袋――に就いて賣買の方法により取引するもので、取引所の規定によつて受渡が確保されて居る、しかのみならず若し違約が起つた場合にも賠償制度が確立して居て取引所が違約者に代つて賠償の責に任じてくれるから安んじて取引が出來るわけである

◇

定期上場が愈々實現すれば取引制度はあらかた確立したことになる、殘された問題は運用の妙諦を發揮して市場に人氣を惹きつけることである。大連は勿論奥地沿線方面の顧客を市場に吸收して來ることも滿更至難ではあるまい。否奥地沿線方面の當業者には大連の定期市場を利用したい意向があるらしい。繋ぎ商内や買付けのために、加之在來の取引方法によると奥地方面ではその土地によつて在荷關係その他から隨分不自然な人爲相場が造られて當業者に惱みの種を蒔くやうな結果を見るが、大連市場と連鎖を結び隔地繋ぎを行ふとさはこうした弊から免れることが出來るであらう。

◇

地場商人の疲弊から輸入商は需要地中心取引に移らんとする傾向を示し出した――恰度往年の綿糸布取引のやうに。だが需要地中心取引が不得策であることに就いては膠州灣からの綿糸布に於てその生きた例證がある。場外取引も平穏無事な時はいゝかも知れないが一朝事ある場合には恰度山東破綻の際のやうなことになつたり、他の雜貨取引で見るやうな紛擾が起つたりすることがないとは云へない。加之場外取引で轉賣買戻したすることは法に違反した行爲であるから出來ないことになつて居るだから輸入商としても市場取引さへ確立したら徒らに前車の轍を履むことをやめて市場取引に復歸するに吝なるものではあるまい。

◇

麻袋市場の復興を期するのには取引所理事者と當業者等が多分の熱と力とを以て協力一致事に當らなければならぬ。それが彼等自身の爲めにとるべき途であらう。彼等が市場中心に結合して共存共榮の實を示さない限りは市場の繁榮は期待し難い。假需要の極度に減殺された今日大きな期待をかけることは無理であらうが、一歩一歩漸進主義をとつて進めば市場の前途は强ち悲觀を要せないであらう

◇

麻袋が取引所の上場物件として適合はしいものであるかどうか、と云ふ點に就いては種々の意見があるが、前に述べた商品としての麻袋の特異性から見て或程度までものと云つて差支へあるまい。だが滿洲の需要家達が鐵筋麻袋を取引の基準として居ることは果して得策であらうか。鐵筋に限定したことによつて彼等は從來餘程不利の立場におかれてゐる。麻袋の本場のカルカッタ市場では仕向地によつて麻袋の種類が各々異つてゐる――織り方に於て、寸法に於て目方に於て、筋の有無によつて。だから麻袋取引に當つて買手は賣手に對して種々な選擇權(オプション)を有つてゐる。卽ち長さの選擇權、幅の選擇、鐵青の如き筋を附するや否やの選擇權、荷造の選擇權(四百枚一梱か五百枚一梱か或はバンドの種類等)他種選擇權(ヘビー、シーの契約にライトシーの選擇を附するが如き)の五種がある。

◇

しかして鐵や青の筋を附するときは百枚に付四アンナだけ餘分の費用を要するのみならず鐵筋は滿洲向と限定されて外に捌け口がない爲め需要家にとつては非常に不利なるを免れない。無地や麻袋とすればビルマ、ラングーン、盤谷西貢等東洋各地に販路を有つて居るだけに融通性に富み、餘程有利になつて來る。露人や華商が鐵筋といふ在來の因習觀念から外脱して無地麻袋を東支や滿鐵の混保保管に採用するやうになつたら麻袋界はもつと明るくなり有利な取引が出來るやうになるであらう(完)

獨逸で新銀行創立

部分的モラトリアム撤廢のため

資本金二億マークで

【東京特電一日發】在ハンブルグ村上總領事の發電によればダルムシュテッター・ウント・ナチヨナールバンク開業を可能ならしめ以て現在の部分的モラトリアムを撤廢すべく廿五日ドイツ主要銀行十一行は政府中央銀行の斡旋で新たに資本金二億マーク四分の一拂込み引受け保證銀行設立を決議し二十七日政府自ら同行の銀行企業に參加し八千萬マーク收支の筈、これに必要なる法令を發布、二十八日創立總會を開催した、しかして同行業務開始の曉には中央銀行の割引し得べき手形約七億マークを增大すべしといはれてゐる、觀測によると來週初めから銀行據出し制限の撤廢、中央銀行利上げと貸出し割引上の幾多制限の緩和等を期待してゐる

虞せられてゐたがドイツ政府の手によつて救濟される事に決定した卽ち大藏當局は同銀行の新しく發行する株式八千萬マークを買上げ引續き新しく設立される保障及び引受銀行の手によつて更にその上の增資株も引受けしむる事に決定これにて同行は危機より救濟さるゝ事となつた

佛國銀行の金準備激增

【東京特電卅一日發】佛國銀行の金準備が過去一週間に十二億フラン以上激增し總額約五百七十九億フランと云ふ未曾有の多額に上つた事は既報の如くだが一方同行の外國貨手持は同週間に一億六百萬フラン減少外國における佛銀の短期貸付は九億フランである

六月關稅收入

【東京特電三十一日發】大藏省調査六月關稅收入は一千九萬五千七百六十三圓である

獨逸國銀も歩合引上

一割五分に

【ベルリン三十一日發】ドイツ國立銀行は八月一日より公定割引歩合一割を一躍に五分引上げ一割五分と改訂する旨午後九時發表した因に同行は去る七月十三日七分から一割に引上げ同時貸付利率を八分から一割五分に引上げたばかりである

ドレスデン更生す

ドイツ政府が救濟

【ベルリン三十一日發】一億六千萬馬克以上に及ぶ資本及び積立金を有するドイツ第二の銀行ドレスデン銀行は最近危機に瀕し頗る憂

營業稅を

牌照稅と改稱

縣で分擔徵收

煩雜な手數を省く

商務總合會は營業稅徵收の煩雜な手數を省くため牌照稅と改稱して徵收したき旨財政廳へ交涉中のところこの程承認されたが、右徵稅額は五月より來年四月末に至る錦縣稅一千百二十萬元を基準としてこれを各縣が分擔して徵收するので、その方法は各店舗を一々調査する必要なく等級によつて徵收するから從來の如き煩雜な手數は省けるわけである【奉天電話】

遠洋、近海ともに夏枯期に入る

荷動きも漸く減退

運賃市況も振はず

大連港を中心とする七月中の海運界は遠洋、近海共に所謂夏枯商狀の氣配愈々濃厚となり荷動きも漸次減退し、運賃市況も振はず大體左の如き狀態であつた

近海方面 東洋各地方に於て降雨多量であつたため、農作物の作柄も槪ひ良好ならざる見込みのため、濠洲小麥の商談も稍々復活の傾向にあり、且つ降雨多量の結果は北洋材積出期が例年に比し長期に亘る見込で、大型船腹の需要增加の傾向を生じた、これがため近海船腹は前月に比し寧ろ減少したが、內地の季節的需要減退のため、海運市況は更に不振を呈した、尤も臨時大型船の來航が少かつた爲め運賃率も前月並を維持し豆粕百斤につき阪神六錢、京濱七錢、臺灣九州方面十錢、袋物は各一錢乃至二錢高を維持し居り、定期船腹を辛じて滿す程度で越月した

歐洲方面 前月以來引續き漸落歩調を示しマバラ筋の商談も月半ば迄は相當に成立し、先物率は大口近物二十志、先物一、二志にして約二萬噸前後の取引決定したが、月半ば歐洲の買氣頓に減退し、市場運賃も一志方低落したが、尙且殆ど又極めて閑散裡に終つた但商談成立せず夏枯商狀は漸次度を加へてきた、豆油、豆洲同盟より曩に脫退したオランダ東亞汽船が本月十七日をて再び同盟に復歸したので盟運賃は競爭以前の定率に復歸の氣運に向つてきたが地市場運賃にも多少好影響べしと觀測されてゐる

米國方面 特記すべき材く依然雜穀運賃は二弗七十を維持し居るも荷動き閑散つた

上海連絡を廢し神戸を經由

英米トラストが大連港向の輸入貨物に新徑路を

大連港における二重課稅問題が起つて以來上海その他支那通商港を連絡とした外國貨物の大連輸入に對しては甚大な影響を蒙り、從來大連港に揚げられたものも稅廢止の結果營口に廻るものが多くなつたが、しかるに最近また二重課稅の結果輸入貨物の運送徑路に新しき變化をみんとしてゐる、卽ちるが、各汽船會社の貨物争奪の激しい折柄この運送徑路の變更は注目されてゐる

下旬貿易

出超の理由

【東京卅一日發】七月下旬貿易は八百九十六萬圓の出超を示し中旬出超額五百廿一萬圓よりも更に增加した、增加理由は主として

一、生糸輸出の增加
二、綿糸布輸出激增

に基くもので生糸は前旬八百十二萬圓、數量一萬二千八百七十八俵に對し下旬は一千百十九萬圓、數量一萬九千四十二俵に激增して居り本年に入り一旬生糸輸出の記錄である、又綿糸布は前旬五百四十一萬圓に比し下旬は九百萬圓に激增してゐるが之は主として支那の排日を見越し輸出急增せるに基き又支那外の重要地への輸出も相當多かつた事も原因である、棉花輸入も幾分多く其の他の雜品も輸出入共多少增した、一般貿易業者は今後の成行に就き支那の排日あるも樂觀してゐる

滿洲産米

弱含で保合

先行は天候次第

東拓改革案

兩三日中に發表

朝鮮の窮民救濟工事

愈よ繁忙期へ

【京城特電卅一日發】朝鮮總督府の窮民救濟土木工事は昨今いよいよ繁忙期に入つたので全鮮各地の工事に從事する勞働者は約七萬人に達し、賃銀は最低金二十五錢、最高七十錢で每日三萬五千圓餘を仕拂つてゐる、八九十月は土木工事の書入時期であり一層窮民の出稼するもの增加する模樣でこれが地方經濟に及ぼす影響は大したものだらうと期待されてゐる

輸組理事俸給

年額五百圓減額

各地輸入組合理事の俸給は諸附帶給與に分たず一本に滿鐵より支給されてゐるが時節柄滿鐵において は今後一率に理事一名につき年額五百圓を減額することになつた

滿洲見本市約定高

四十三萬圓突破

半ば以上は服裝附屬品で食料品は極く少い

第二回滿洲見本市約定高はその後追加あり、昨卅一日締切の正確數は四十三萬五千廿四圓にして、これを部別に示せば左の如く第二部

血迷つた日貨檢查隊

【上海卅一日發】反日會の不法行

國際化した金融市場の惱み

ウオール街の恐慌

ロンドンの受難

フランスの趣味

市場電報

銀塊及爲替

棉花

市況

特産

奥地の降雨で大豆低落

錢鈔

材料冴へず鈔票鈍狀

上海爲替情報

綿糸續落

物貨在庫頭埠

爲替相場

奥地市況

各地特産發送高

滿洲日報

運命決まる保定戰

奉天軍の奪回成るか

この一戰で雜軍起否を決せん

石軍死物狂ひの防禦

【天津特電三十一日發】保定奪回戰は今や奉天と石友三軍の關ヶ原となつた、石友三軍がこれまでの戰勝に乘じて死物狂ひで突進しやうとするのも奉天軍が急に兵力を增加して硬化したのも此一戰を目的とするからである、石友三軍にしては若しこんどの奉天の總攻擊をさへ擊破せば態度曖昧の山西軍も韓復渠軍もいよ〳〵こんどこそ卽日反蔣反張を表明して參戰するであらうと見、奉天軍にしては北方各軍が尙右顧左眄してゐるこの際今保定を奪回して石軍を擊破せば石軍に致命的打擊を與へることが出來ると信じ双方全く懸命となつて戰ひを交へてゐる、有體に言つて山西軍にせよ韓復渠軍にせよ內部には石友三氏と行動を共にすることを約束したのは事實であらうが四圍の情勢にかんがみ一步を誤れば各自の地盤を失ふので石友三軍を援助し從來の中央擁護の面子を失はずそうして各自の地盤をも確保しやうと言ふまことに虫のよいことを考へてゐるので急に態度を表明する譯には行かないのが山西山東軍の實狀である、石友三側では密約を信じて北方各軍が數日ならずして擧兵することを宣傳し奉天軍はその態度不表明を唯一の理由にして石軍の孤立を吹聽してゐる、斯くて戰局の形勢は遽に逆睹し難きものがあるが之を決定すべきものは今度の奉天軍の保定の奪回戰の成否如何に在る、なほ北平は奉天軍の大本營の所在地の關係から一般は石友三軍の失敗を信じ又奉天軍の宣傳に視聽を傾けてゐる嫌ひがあり天津の租界地は反蔣派の巢窟の關係から奉天軍の退却を時間の問題と見て之等の宣傳に購されてゐるのは面白い

奉天軍保定を奪回か

【天津特電卅一日發】當地の信ずべき筋に達した情報によると應援隊の大增員によつて大逆襲に轉じた奉天軍は本朝までに保定を完全に奪回し目下保定南方において對峙中であると

山西軍の態度不明

中央の擁護を表明しながら

蔣氏に對しては不滿

【天津特電三十一日發】山西各將領の態度は尙不明である、各軍隊が娘子關、龍泉關、平型關、雁門關等に集結して出動の準備を整へたのは事實だが戰爭に參加するものか否かは判明しない徐永昌氏からの電報によれば山西各將領の意見は一致して中央を擁護し山西省內の內部を整頓することが必要であると言ふに在る、其結果商震氏は娘子關から出動して石友三氏を討伐すると共に省政府は改造されて徐永昌氏が主席となることに決定した、又各將領の連名通電には蔣介石氏の政治について若干の不滿を陳述してゐる、一方別消息によれば山西各將領はいよ〳〵石友三氏と行動を共にすることに決定し通電を發して軍隊を出動せしめつゝあるとも言ふ

石軍は定州へ潰走

天津支那軍事機關公表

【天津一日發】當地支那軍事機關公表によれば奉軍全線は三十一日拂曉以來總攻擊を開始し望都の南方一帶に石軍を誘致して包圍攻擊を加へ石軍は算を亂し安國方面に潰走、奉軍騎兵旅は深澤、安平を經て定州へ向ひ追擊中であるが兩三日中に石軍潰滅の見込みである

望都方面へ

奉軍進擊

【北平一日發】副司令公表、二十八日以來望都方面にて奉石軍間に激戰が行はれてゐるが、奉天軍左翼部隊は三十日望都東方一帶に進擊し激戰五時間の後石軍は死體八百、小銃六百六十六挺、機關銃數臺、捕虜九百を遺棄して潰走し三十一日には望都の東南方永豐鎭方面の石軍右翼部隊は奉天軍騎兵旅の活躍によりこれ亦潰滅に瀕し後退中である

蔣氏平漢線出馬

敗退せば斷然下野說

【南京特電三十日發】蔣介石氏は北方の形勢に鑑み平漢線上の戰線に出馬の必要に迫られ旣に江西から漢口まで引揚げたとの說があるが、時局の成行如何によつては蔣介石氏は斷然下野を表明するだらうとの觀測が餘に傳へられてゐる

石軍を三方面より挾擊

【北平特電一日發】副司令部への公電によれば奉石兩軍は現在保定を距る二十支里の方順橋及び張登鎭の線において對峙し中央軍は旣に內邱を占領、山西軍は本日から商震氏自ら指揮の下に石家莊を攻擊三方面より挾擊して一擧に石友三軍を粉碎の見込みである

今尙對峙中

【天津特電一日發】奉石兩軍は其後保定南方僅かの地點において對峙中で未だ何等進展を見ない

奉軍頽勢を挽回

王樹常軍河間方面へ

【天津特電一日發】二十八日夜より開始された保定一帶の奉石兩軍の激戰は一進一退で援軍到り戰線を擴大化さともに奉天軍はやゝ頽勢を挽回し西は滿城から東は張登に到る線に陣取り石軍と對峙

北滿の石氏部下後方擾亂を圖る

張作相氏取締を嚴命

關內時局は奉軍不利の報により一般人心に相當の影響を與へ折柄石軍の便衣隊東北省に潛入し最近北滿に駐屯する石友三氏の舊部下が關內石軍と連絡をとり

離平せず

張學良氏

【北平三十一日發】張學良氏は健康恢復したので副司令の職權を回復し協和醫院の病室を司令部として作戰指揮に當つてゐるが張學良氏は軍事一段落迄離平せずと

張學良氏潛行說

變裝して天津へ

【天津特電一日發】北平より當地某所に入つた消息によれば張學良氏は二十九日夜順承王府から何れかへ姿を隱した、一說によれば變裝して窃に天津に入つたともいはれてゐるが、氏の佛租界の私邸及び張學銘氏邸にもそのやうな形跡はない

常于兩軍聯絡

【天津三十一日發】津浦線王樹常氏の司令部は馬廠の北唐官屯に置かれ滄州には步兵二ケ旅騎兵一ケ旅で固めてゐる、又馬廠から保定に通ずる大城、任邱、高陽等の配備も終り保定の于學忠軍と聯絡が

外務省の在勤加俸本年度は五分減額

之を機會に標準率を改正する

【東京特電一日發】在勤加俸減額問題に關しては外務省は其後も大藏省と折衝を重ねてゐるが、大藏省は外務省の主張を或程度まで承認し今年度においては五分の減額に止め、次年度において更に幾分その率を增し第三年度より現主張たる一割五分減額せんとする妥協案を提示し來つた、故に今年だけは實際的解決がついた、なほ外交官の在勤加俸は各任地國の事情により相當調節の餘地あるので外務省は之れを機會に標準率を改正し節減と共に標準率の公平を期するに決定し目下調査を進めてゐる

完全に救れた英蘭銀行

利上の理由

井上藏相談

【東京三十一日發】英蘭銀行の利上につき井上藏相語る 英國からフランスへの金流出が大分疑くなつたが、英國はクレヂット交涉が億圓の信用が成立しなかつたため今後引續き流出を恐れて英蘭銀行は利上げをしたものだ、英國にあるフランスの資金は一億五千萬圓の巨額でこれが若し全部引揚げられたら英國は非常な打擊を受ける、併し四分半は非常な高金利で恐らくこれ以上は上げないがこのため米貨は流入も止まるし、み佛貨の流入も止まらう、英國はドイツを中心とする中歐の不安から來てゐるのだから中歐の救濟策確立とその安定の見通しが立たれば金利政策も緩和されるだらう、日本最近の現送は、で英蘭銀行が金流出防止をしなかつたら正金の現送も引續くかも知れない

上海排日や〻下火

今後惡化の模樣は無い

【上海卅一日發】當地の排日取締は市政府當局により勵行されや〻下火となつた感あり、昨日午後三時二十分上海繩糸會社の屑糸二百四十斤(價格約千兩)が共同租界內を運搬されてゐる時反日會檢查員は之が取調の必要ありとて附近の檢查場に運びその儘抑留したが會社側から公安局に向つて抗議したる結果現品を返還し來つた、大勢斯くの如くで今後の排日の運動の險惡化は殆ど豫想されぬ程であるが部分的の日貨抑留は免れ難く警戒してゐる

排日對策協議

【上海三十一日發】反日會の日貨抑留が愈々實行期に入り日本品抑留が頻發するに鑑み當地大會社首腦部及び領事館、陸海軍當局は午

天津反日運動終熄

奉天の排日自然消滅

英國貴節減

調査委員會報告

佛ブ外相勢養

【パリ三十一日發】一日に六十本以上の煙草を吸ふ事で有名な喫煙家フランス外相ブリアン氏は、度醫者から一ぜられおまけに厳一ケ月間の轉地療養

政友兩代議士

政友調査員派遣

北滿大豆の在荷數量

九大教授支那出張

特別商團組織

革命第三期の重大な任務

蔣氏沒落は時の問題

中國々民革命の鬪爭は、に第三期に入つた、第一期は辛亥革命以前で、此時期の特徵は狹義の民族主義を主要內容とし、滿族の專制政權をその直接對象とし帝制を推翻し共和政府を建立する事を中心目標とした、その結果滿族の專制政府は斃れたけれども、新に產出された共和政府は反つて北洋軍閥のために政權を取上げられて了つた○

第二期は民國元年より十七年までゞあり、此時期の特徵は廣義の民族主義卽ち反帝國主義(特に民國八年の五四運動以後)をその主要內容となし、民治に名を籍りて惡を作す、舊北洋軍閥をその直接對象とし軍權政を推翻し、革命的黨權政治の建立をその中心目標とした、その結果北洋軍閥は次第に撲滅され、黨治政府は正式に樹立されたけれども、不幸にして野心を抱く新式軍閥蔣介石氏のためにその政權は取上げられた、蔣介石氏の作惡の程度は舊北洋軍閥以上である、十七年末より今日へ引續いて

これ第三期であるが、此時期の特徵は民生問題の解決をその主要內容とし、僞黨治の個人獨裁政權を直接對象とし、民主集中制の眞正黨治(過渡)を基とし、純粹民主政治の憲政政府(最後の的)完成をその中心目標としてゐる、過去の歷史に顧みて一個の政權を轉移せしめる事は比較的に容易であるが、一個の社會制度を根本的に變革せしめるといふ事は容易でない○

政治制度、經濟制度の根本的變革も亦同樣極めて難事である、これは過去の改朝換代と今日の國民革命を對照して見れば一目瞭然である、卽ち今日の國民革命は政治方面に在つては、軍權政治を變革して民權政治を實現し、個人獨裁制を變革して集權合議制を實現せんとするに在り、同時に經濟方面に在つては、手工生產を變革して機械生產とし、私人本位の經濟を變更して社會本位の經濟を樹立せんとするにあるのであるが、長期の努力を經て居るにも拘らず、未だに成功の域に達しないのは周知の通りである○

所で民主政治は今日中國の最も需要する所のものである、何となれば政權が一般民衆に公にされる事によつて始めて一切の私權私利の爭奪を絕れる事が出來るからである、政權の獨裁、軍隊の私有、財政の、等は中國今日の罪惡の淵泉となつてゐる、而して獨裁政治下に在つては軍隊國有、財政公開は到底求められず、其處には當然の結果として、私有者間相互の爭奪が行はれ、統一和平の如きは絕對に望まれない、眞正の統一と永久の和平は必然民主政治の實現を前提としなければならない、不平等條約の廢除や共匪の剿滅にしても公開された革命外交と、民衆總動員に於て始めて實現し得るものである○

上述の諸大問題を解決する事は革命第三期における偉大なる任務であるが、この問題を解決するに當つて、最も障礙となつてゐるのは蔣介石氏が黨治に籍名して、その反動政權を實行してゐることである、此種の關係は旣に我國民の一般に知るところであるが、人もいつてゐる「千夫の指す所病無くして死す」と、今や蔣氏の覆亡は時間の問題ではあるがその獨裁の時間を短縮し、更に實に完全せる成績を收むるために全國の同志同胞は奮起して、最後的大決戰に參加すべきである(上海民報)

光に立て (50)

中西伊之助

山口みづき畫

きらめく砂金(八)

「あなたの奧さんは、田川さんの妹ぢやありませんか?」

と、新吉は詰問するやうにいつた。

「さうですが……」

總逸は、やはり冷靜に「君、この方は、何んといふ方かね?」

と、濱子にきいた。

「私も今晚お目にかゝつたばかりですが……」

「は、はあ、それはどうも」

總逸は輕く頭をさげた。

「そんなことはどうでもいゝんです。しかし、あなたの奧さんは實に冷酷です。人間ぢやありませんよ」

新吉はズケズケといつた。

「さうですか、いや、どういふ點でさういはれるか知らないが、或はそんなところがないとも限りません」

今晚の總逸は、まるで常の日とは違つてゐた。彼は顏を外向けていつた。

「實は僕は、今日、田川さんの入院料のことで行つたんですが――一たい、いくらブルジョアの奧さんだつて、泊るところもない兄を追ン出すなんて、怪しからんと思ひますよ」

「追ン出すつて、だれをですか?」

「あなたは知られないですか?」

と、總逸は怪訝な顏をした。

「知りません」

「あなたの奧さんは、田川さんを追ン出したんですよ」

「そんなことはないでせう……」

總逸は呆れた。

「それでも事實は事實です。僕はそれで田川さんを僕の宿へ泊めようと思つてつれてかへる途中に暴漢がとび出したんです」

「…………」

新吉はしきりに昂奮した。

「……がめなたの奧さんのやうなブルジョア女だ、醫者のやうな醜劣してゐてもプロレタリアの女は實に純情だ」

「いや、ほんとうです。金のためには義理も人情もすてゝしまふのです」

と、濱子は更に赧くなつた。

「そんなこといはれては困ります」

らんが、醫者といふものは男だまして金を奪る蠅のかたまりだと思つてゐたんだ。今晚僕はそんな考へが全く違つてゐたと思つたんです。僕はあなたの奧さんと比較して、この人を尊敬します」

社說

金と銀の調節 フーヴァ案の其後に來るもの

フーヴァ大統領がモラトリアムを提唱するや、各國財界は恰も世界が更生でもしたかの如く一齊に沸き立ち、各市場は奔騰に奔騰を重ねた、即ち銀塊相場までが十二片二分一毫から十三片十六分の十三迄飛躍し、我國でも歐米に敗けず劣らざる狂騰を演じ、新東株は百五十圓臺に踏み上げ、紡糸、生糸、期米等の重要商品も一齊高を示した、然るにその後人氣が冷靜に復すると共に反動安をみせ、獨逸再度の經濟的危機に會ふていよ〳〵落調を速め今やフーヴァ景氣の崩壞を思はしむるに至つた。

◇

しかし乍ら果してフーヴァ景氣は弊のみに終つたものであらうか、之を檢討するに當つて、特に注目すべき現象は最近獨逸及びメキシコにおける貨幣制度の轉換である、吾人はさきに世界的に剩つた銀と不足せる金の調節を行ふことが、銀の破滅を救ふ途であると同時に現下の世界經濟難局打開の一つの鍵たることを力說して置いたが、輓近の新現象はます〳〵之を裏書するに充分なるものがある、今次の世界的不況の根源は生產過剩と貨幣制度の矛盾に在ることは何人も否定し難き事實であつてこの禍根を如何にして芟除するかといふことが財界更生の要諦であらねばならぬ。

◇

世界各國の兌換制度は國によりて各々趣を異にしてゐるが、獨逸に心醉せる學者達は同國の比例準備制を以て、最も進步した理想的兌換制度と謳歌してゐた、ところが理論は必ずしも現實と一致せず、今次の獨逸の恐慌によつて比例準備制度の缺陷が遺憾なく暴露された、而して或る程度まで正貨準備を充實して兌換券發行はその時々の情勢により、伸縮自在ならしめる我國の如き屈伸法が妥當の制度なるを惟はしめるものがある、然るに金本位國では正貨準備の充實を計るには如何にしても金を必要とするが、昨今の如く世界中の金が米佛に偏在し、他の諸國は金缺病に惱んで黃金爭奪戰が尖銳化した際には到底充分に希望を達することが出來ない、然も黃金なくしては兌換制度の確立は期し難いとなるとそこに大きな矛盾が生じ、金貨國の惱みはます〳〵甚だしくならざるを得ないことになる。

◇

翻つて銀についてみる時は金本位制の普遍化によつて貨幣としての銀は世界から見捨てられ過剩銀の處置に惱まされてゐる有樣である、この足らぬ金と剩つた銀の調節を如何にして行くかといふことが、世界經濟人を今日の惱みから離脫させ、不況の苦難から救ひ出す一つの途であらねばならぬ。輓近メキシコ政府は國內に流通してゐる金ペソ貨を回收して、銀ペソ貨のみを流通させて同時に兌換券發行限度を從來の倍額に擴張し、更に其紙幣は銀ペソ貨とパーの法定通貨とすることに內定し、金銀兌換比率は追而適宜決定公表するとのことである、更に獨逸でも銀貨の鑄造額を增加して行詰つた兌換制度の打開を計らんとしてゐると傳へられてゐる。一方國際銀問題委員會でも獨逸救濟策として、獨逸の貨幣制度を暫定的に金銀複本位制に改め同國は期限二十個年の銀借款を起し、四億オンスの銀塊を輸入して、之を以て銀マルク貨を新たに鑄造して國內に流通せしむるやう米大統領から獨逸に對し提議することを建議したとの說もある。

◇

之等の提案は未だどの程度の可能性あるか俄かに判定出來難いが、早晚斯うした對策を講ずるにあらざれば、獨り獨逸のみならず世界各國を金缺病の惱みから救濟することは出來ないであらう、又斯くすることによつて銀價の安定恢復が期し得られ支那や印度の如き多年銀を流通經濟の重心としてゐる國々の大衆を蘇生せしめ、彼等の購買力を增進することによつて世界の過剩生產品の捌け口をつくることが出來ると同時に、ひいては世界的不況に沈淪しつゝある各國財界の局面打開を計り得るであらう。

要するに剩つた銀と足らぬ金の調節こそ世界經濟難局を救ふ一石二鳥の秘策であつて、これフーヴァ提案の其後に來るものであり、より偉大なる效果を持つものとして世界人に講究さるべき問題であらう。

赤色國際記念日に大街頭デモを計畫 極左分子九十名檢擧

【東京特電卅一日發】八月一日の赤色國際記念日を期し左翼諸團體では一大街頭デモを行はんとする計畫があるので警視廳官房特高勞働兩課で探知し之が內偵を行ひ既に今日まで極左分子九十名の檢擧を行つたが數日前から此不穩計畫漸く表面化し日本反帝同盟の不穩ビラが各所に配布せられるので當局では嚴重なる警戒と檢擧に努め十七名を檢擧更に三十一日夕刻から一日朝に掛け管下各所と協力して嚴重な警戒を行ふ事になつた

取締役報酬金に新しい判例 定款にない退職報酬は違法

【東京卅一日發】株式會社の取締役が退職の際報酬を受くる事が會社定款に無き限り例へ重役會の決議を經ても總會の決議に依らず退職報酬金を受くる事は違法であるとの判例が三十一日東京地方裁判所で判決公示された原告は共同生命代表清算人、被告は市外西巢鴨宮中二二八〇番島田德太郎で島田は大正十四年十二月二十五日から昭和二年一月二十八日迄原告會社の取締役をなし退職の際勤勞金一萬五千圓を受けたところ定款に右規定なきため株主總會を經てない報酬金は無效なりといふのであるが裁判の結果被告は原告に一萬三千九百七十三圓九十三錢と昭和五年二月十五日より五分の割合で利息を附すべしとの新判例である

上京代表大阪へ 豫期以上の目的を達す

【東京三十一日發】東都に於て十三日間に亘り不眠不休の努力を續けた滿洲代表一行は遂に七十一團體の結束強化となり各方面に一大センセイションを捲き起し豫期以上の目的を達し八月五日は上野日比谷の二ヶ所に於て國民大會を開催する事となり續いて全國的運動に移る陣立が出來たので三十日を以て運動を打切り後事を在京朝野に一任し同日午後九時四十分發大阪に向つた東京驛には朝野の名士各團體代表新聞記者團等約三千の見送りあり萬歲聲裡に大阪遊說の途に就いた

各方面を歷訪

【東京三十一日發】滿洲代表一行は二十九日午前十時から貴族院研究會本部に於て政務調査委員大久保利武侯、小笠原長幹伯、岡部長景子、土岐章、東園基光、岩城隆德、飯篤廣、伊東祐弘各子爵、山川端夫、木場貞長兩博士等と會見小澤氏より「萬寶山」永江氏より「經濟問題」に陷れる在滿邦人」佐竹氏より「支那の排日狀況」につき二時間に亘り實情を報告說明し各氏からの質問あり午後一時散會直に丸の內常盤に於ける民政黨の午餐會に出席し山道幹事長以下の議員と懇談を交へ三十日午前十時久原政友會幹事長を芝の私邸に訪問二時間に亘り懇談午後一時より頭山滿翁を私邸に訪問し運動の經過を報告し尚は今後の盡力を懇請し四時から各方面の挨拶廻り七時永井柳太郎氏を訪問九時迄懇談を交へた

一行大阪到着

【大阪三十一日發】滿洲代表一行は三十一日午前八時四十分大阪驛着國粹大衆黨、各新聞代表、黑龍會支部其の他有志多數の出迎へを受け驛前東雲館に入つた

演說會を開催

【大阪三十一日發】着阪後の滿洲代表一行は大每に本山社長を訪問約二時間に亘り滿蒙の事情を縷述すると共に本山氏の意見を聽取し終りて大每幹部と會見種々意見交換の結果四日午後七時より山谷講堂に於て同社東亞調查會後援、青年聯盟主催の大演說會を開催する事となつた

縣議選のトップ

【東京特電卅一日發】今秋行はれる縣會議員選擧に當り選擧期日告示前の推薦狀發送差支へなしとなつたので愛知縣半田町民政派の町會議員酒醸業田中清八氏は三十日同町會議員堀﨑貞藏氏の推薦により縣會議員候補推薦狀一萬枚を有權者に發送し全國に於ける縣議のトップを切つた

滿鐵の退職者總數 二千七十六名に上る

滿鐵今次の職制改正に伴ふ人員整理數は當初參事、技師を除く事務員、技術員以、雇傭員は一千七百名位の豫定であつたが、待命者の銓衡中家庭上の都合やこの際退職するを有利として自發的勇退者等が續出した爲豫定數より約三百餘名を增加して二千廿五名となり之に參事、技師及同待遇者の待命を加ふれば總數實に二千七十六名の多數に達した、その內譯は次の如くである(八月一日社報に據る)

區分		人數	備考
參事、技師及同待遇		五一名	
事務員		四一〇名	(內依願免十一名)
技術員		二〇一名	(內依願免二名)
雇員	日本人	一八九名	
	中國人	六名	
傭員	日本人	四七九名	(內依願免十六名)
	中國人	七四〇名	
總計		二千七十六名	

滿鐵地方部陣容 產業行政に一層努力

滿鐵地方部は職制改正の結果商工、農務を合併し擧て大森坪事の主張たる地方行政及び產業行政合同が實現することゝなり同時に地方課長に栗屋氏を、商工課長に小須田氏を据て陣容が整つたので各課內部の事務分掌規定を一兩日中に決定し、從來兼務になつてゐた係主任の專任、缺員主任の補充を急いでゐるが既に內定した分は庶務課では石岡庶務主任の人事係主任を解き、武田龍雄氏を人事主任とし地方課にあつては從來總務部勞務課の一部であつた福祉係を社會施設係に合併し能登博氏を係主任とし、用地係主任には緒岡茂氏の後任として元奉天工事區事務所員渡邊才二郎氏を据ゑることになつてゐる

滿鐵異動續報

滿鐵人事課にては八月一日附社報を以て今回の職制改正、人員整理に伴ふ人事異動を發表したが、既報以外の參事、技師の異動は左の如くである

元總務部考查課長 參事 中山正三郎
元計畫部能率課長 參事 田所耕耘
元計畫部技術課長 技師 根橋禎二
元炭礦部化學課長 技師 岡村金藏
總務部勤務を命ず(各通)
元總務部考查課 參事 林田精一
監理部管理課勤務を命ず
元工事部土木課長 技師 郡新一郎
元工事部築港課 技師 千石眞雄
鐵道部勤務を命ず(各通)
埠頭事務所第二埠頭主任
埠頭事務所計畫主任を命ず 參事 中富清美
元大連工事事務所長 技師 植木民
地方部工事課勤務を命ず
元工事部建築課 技師 湯本三郎
大連工事事務所長を命ず
元奉天工事事務所機械長 技師 渡邊成二
地方部工事課勤務を命ず
鐵道工場長 技師 久保田正次
鐵道部車務課勤務を命ず

待命參事技師慰勞宴

內田、江口滿鐵正副總裁は二日午後七時滿洲館に今回の異動で待命となつた參事、技師諸氏を招待し慰勞宴を張ると

藝酌婦雜種稅の稅率低減を陳情 全滿代表滿鐵に出頭

三十日關東廳に出頭し關東州內ならびに州外附屬地に於ける遊興稅の向ふ一ヶ年間徵收方猶豫および公衆衞生に關するサルバルサンならびにワクチンの注射を入院中は無料退院後は實費とすべき陳情を爲した全滿同業聯合會代表者は三十一日午後一時今度は滿鐵地方部に出頭し前記二項は勿論藝酌婦雜種稅「滿鐵の分」の賦課率の低減かたも併せて陳情する處あつた

一、即ち遊興稅は制度の缺陷と習慣とにより孰れの地方も當該當業者に徵收と代納との二重の義務を負擔され常に直接係員と營業者との間に同稅を挾んで紛々の事情絕えないのみか不況のこの際影響を蒙る事甚大で全滿同業者は何れも窮乏その極に達し倒產閉店續出の苦境にあるからこの際英斷を以て該遊興稅の徵收かた猶豫して貰ひたいと云ふのであり

二、サルバルサン並にワクチン注射料は人類の繁榮擁護の見地より從來有料であつた前記注射藥を入院中は無料退院後は實費に變更して貰ひたいと云ふのにあり

三、藝酌婦雜種稅は藝酌婦即ち稼業者ソレ自身に於て納稅の義務あるが取扱の便宜上抱主即ち營業者もまた納稅義務者となり自前藝酌婦の如きはその稼高金額中より每月一定賦課金の半額乃至は全額を支拂してゐる。從來月額百圓の稼高金を揚げつゝあつた藝妓はこの不況の爲め半額または三分の一の減少を來してゐるに稅額は依然として稼高百圓時代の分を徵收されてゐる。甚だ不合理であるから假殺の上滿鐵會社賦課分一等地藝妓金三圓以下各等を通じ一等地の賦課額を二等に二等を三等に各低減して貰ひたいと云ふのである

大連商議會頭に村井氏重任 副會頭に田村氏新任

大連商工會議所新正副會頭を互選すべき常議員改選後の第一回役員會は[illegible]午後三時半より大連商議に於いて開かれたが、新常議員三十三名賑々しく出席、先づ村井會頭より新選の八常議員を紹介して之に對して古澤丈作氏以下七常議員は新任の挨拶を述べた、次に正副會頭互選に移つたが佐藤至誠氏提議の五名の銓衡委員を擧げ委員の銓衡に一任することに多數決となつたので村井會頭は横田多喜助、山田三平、古澤丈作、相生常太郎、佐藤至誠の五氏を銓衡委員に指名した、五委員は別室において合議の結果左の三氏を正副會頭に擧げ本會議において滿場一致之に贊同した

會頭 村井啓太郎(重任)
副會頭 藤田臣直(重任)
副會頭 田村羊三(新任)

之に對して村井啓太郎氏は即座に就任を承諾し藤田、田村兩氏は一應會社の諒解を得た上でと條件付承諾、一同の拍手裡に正副會頭は決定した、次に佐藤至誠氏立つて村井、藤田、山口の三氏に對して正副會頭在任期中の勞を感謝し一同を代表して挨拶を述べたるに對し今期を以て副會頭の職を退いた山口啓三氏は立つて

事務多忙のため副會頭の職は之を以て退かしていたゞきましたが今後とも常議員としては皆樣と共に盡したい

と謝辭を述べた、次に村井會頭立つて副會頭を滿期退任せる山口啓三氏及び常議員を滿期退任の左の五氏に對して感謝狀及び記念品を贈ることを提議し是は會頭一任となつて同四時第一回役員會は散會した、滿期退任常議員氏名は左の如し

小田斌、平田包定、辻井乗太郎、小川慶治郎、中村敏雄

行財政整理懇談 政府、與黨委員會合

【東京一日發】民政黨は來る三日午前十一時から丸の內中央亭において加藤(政)、俵兩氏主催の下に行政、財政整理兩委員と黨幹部並に與黨側行財政審議會委員との聯合會を開き省の廢合、恩給法問題等を中心とし行財政整理問題につき懇談する筈であるが、省の廢合農林商工兩省の合併については農村關係議員の反對運動あるに加へて拓務省廢止については永井總務等の有力幹部中から反對意見が起つてゐるし更にこの上交通省の設置運動問題まで絡つて來たので省の廢合に關しては當日の會合でも完全に意見の一致を見る事はむつかしい模樣である、なほ恩給法の改正については既に財政委員會の成案を政府に進言してゐるので與黨としては政府がこの際軍部の反對を押切り斷行を希望してゐる

軍部との間に恩給改正折衝 卅一日第一次會議

【東京卅一日發】恩給法改正に關する行政整理準備委員會と軍部との第一次折衝は三十一日午後一時半より首相官邸に開會、主査委員井上藏相、輔佐委員川崎書記官長以下軍部側よりは陸軍杉山次官、小磯軍務、中村人事兩局長、海軍小林次官、阿武人事局長以下出席井上主査より恩給法改正案を詳細說明した後軍部側の總論的質問に入り

一、改正恩給と現行恩給の比較表を提出され度い
一、武官恩給改正案は軍部としては文武官待遇に差別ある爲め贊成出來ぬ
一、ロシヤ、アメリカの制度を知り度い
一、恩給增加率に對する政府の考慮は大きに過ぐ
一、海軍志願兵に對する一時恩給支給制を認めぬか

等の質問あり井上藏相以下の答辯に就て武官恩給年限改正、武官恩給と文官の夫との同一等に就き質疑を行ひ五時十五分散會した次回は來月三日開催の筈

に附議する事になつた

農商合併反對

【東京三十一日發】農林商工兩省合併絕對反對の全國的運動を起して起つた帝國農會產業組合中央會其の他產業關係十一團體は三十一日農業關係聯合會を赤坂三會堂に開催合併絕對反對の決議宣言を可決し各方面に陳情した

若槻首相靜養

【東京三十一日發】若槻首相は明一日午後一時二十九分新橋驛發伊豆伊東に赴き四日正午歸京の豫定である

辭令

【東京卅一日發】
京都帝大助教授 市川禎治
任旅順工大教授(六)
九州帝大助手 笠原愼之助
任關東廳醫院醫官(六)
關東廳海務局技手 菊池喜藤太
兼任關東廳醫院醫官(七)

政友會幹部會

【東京三十一日發】政友會臨時幹部會は本日午後二時から開會山本氏より政務調查會の經過報告あり島田顧問より今秋の府縣會議員選擧スローガンは政務調查の十大項目と發議し小久保顧問より失政糾彈の項目を附すべしとの提議あり結局島田顧問の動議通り可決し四時三十分散會した

農業保險協議會

【東京卅一日發】三十一日の農業保險制度協議會に於て松本烝治博士其の他委員より農林省の保險要項に就て細目に關する意見あり農家の火災、疾病等も加ふる要があるとの意見や希望も出たが保險制度を速かに實施するが先決問題と各委員間に意見の一致を見たので農林省では專門學者の意見を參酌して原案を訂正し近く農林審議會

大觀小觀

減賞、減員、減給、減俸、減部、減課等々——ゲンゲン盡し▲みなこれゲン收のなせる仕業、あまりゲンのよい話でなし▲この際一つ大いにゲン氣を鼓舞してゲン狀打破と出掛けるさ▲さもなくば如何に大滿鐵でも今にゲン滅の悲哀を味はふこと必定だ▲貴衆兩院議員の歲費も一割減、政府もえらく遠慮したものだ▲これなンざ一つそ無歲費としたつて一向構はないのに▲鞍山に、鞍山に馬賊が來る▲沿線各地住民諸氏は時節柄御用心專一に▲識に時代逆行の橫暴なガソリン値上げを敢行した外油三社▲今度は仲間割れがして協定値段破棄、値下げ競爭時代と御座い▲それがい、それがい、。

八相

制限を撤廢せよ 一父兄

◇滿電は學生の通學乘車券を制限して一ケ月二冊しか賣らない、また夏休み中には通學乘車券を賣らない、近時いかに不況減收の折柄とてこんな制限は撤廢して欲しい

◇空車を澤山走らせてゐるよりも一人でも多く乘せた方が、即ち回數券を一枚でも多く使用させた方が會社のためではないか、日の出町方面の子供にして星ケ浦に遊びに行くものは回數券を往復六枚も使ふ、六枚の回數券を使つたら普通券の往復券と同じになる、制限しないで一ケ月何冊でも澤山賣ればそれだけ會社の增收をはかる所以である

◇會社の方面以外からみてもそうである、今日滿電の割引券の世話になつてゐる子供は將來の日本、將來の滿洲を背負つて立つものである、大連にある數千のこれらの子弟の身體精神が、滿電の一寸した心の使ひ方で健全に延びて行くことが出來るとしたら、滿電たるもの少し位の會社の利益に拘泥することを捨てて大いに考へてくれてよさそうなものだ

◇これらの制限を廢することに一步進んで考慮して欲しい

お答へ 通學回數券は二冊で充分な筈です、休み中通學券を賣らぬのは休み中は通學の要がないからでその代りに水泳券を賣つてゐます、水泳券は通學券よりも多く中學生徒に對しては七月二十一日から八月三十一日までの間に使用すべきもの五冊小學兒童に對しては七月二十六日から八月二十五日までの期間券を賣つてゐます、これだけの割引券で生徒や兒童は休み中充分水泳に行ける筈です【滿電電鐵課長】

投書歡迎 五十行以內 中略はさらず

ル・ブリー氏を激勵する佛航空相

去る七月十二日パリ、東京間無着陸長距離飛行の壯途についたフランスの名飛行家ル・ブリー、ドレー兩氏の「トレー・デユニオン」號は、中不幸にして不時着陸し第一回の壯擧に失敗したが、直ちにパリーに引き揚げ八月中には再擧を決行すると傳へられるがフランス航空相デユメスニール[illegible]ル・ブリー、ドレー兩氏を激勵すると共に「トレー・デユニオン」號を詳細に亘つて視察した。寫眞は「トレー・デユニオン」號に[illegible]デユメスニール航空相ルブリー[illegible]クに左よりド[illegible]ボアッタンヌ氏(「トレー・デユニオン」號の製作者)ドレー氏

市況(一日)

株式

內地株保合 當市變らず

大阪東京とも小巾保合を傳へて當市も氣配變らず

後場 ◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高值	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
氷新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

錢鈔

標金釘付 當市不變

上海標金の釘付商狀を眺めて當市も保合ひ極めて閑散

◇定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	—	—	—	—

出來高(期近 十萬圓 遠期 —)

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金 一萬圓 銀對洋 八千[illegible]

商品

麻袋變らず 綿糸小反撥

大阪三品後場引は前場引に比べ各限とも七十錢乃至一圓六十錢の小反撥を報じたが當市は見送り麻袋も氣配變らず弊なし

奥地市況

	品目	値
現物	▲奉天票	一四、三〇〇
現物	▲奉天大洋	四四、一五
現物	▲開原大洋	四四、二〇
當限	▲安東鎭平銀	六三〇
先限		六三〇
八月	▲哈爾濱大豆	[illegible]
九月		[illegible]
十月		[illegible]
八月	▲哈爾濱小麥	[illegible]
九月		[illegible]
十月		[illegible]
現物	▲哈爾濱大洋	[illegible]

市場電報

神戸特產

品目	値
大豆現物	[illegible]
先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品先	[illegible]	[illegible]
豆信	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]

東京株式(短期)

	東新	鐘紡
寄値	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]

大阪株式

	鐘新	滿鐵新
寄値	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

銘柄	後場寄	後場引
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]

東京期米

限	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]

神戸期米

限	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]

家庭

滿洲の女性へ

『奥さま然』たるより『宿の妻然』『山の神然』たれ

大連地方法院長　森本豐治郎氏談

在滿婦人諸君……といふより在滿夫人の皆さんに希望するのは、皆さんが「奥さま然」とせずに、今少しく「宿の妻然」……否「山の神然」たらんことです、といへば言葉が奇矯にわたりますが

私 はこの滿洲には餘りに「奥さま然」とした奥樣の多いのに苦むものであります、關東長官や、軍司令官や、滿鐵總裁の奥樣であれば、いかにも奥樣らしく日髮日化粧、橫のものを竪にもせずつんとすましていやに上品ぶり高尚らしく構へらるゝことも結構でせうが、それ以下の人々の奥樣であればさまで奥樣らしく取つくろふ必要がなく、襷がけで鼻うたの一つも歌ひながら氣輕にまめまめしく臺所に立働き、手拭を姐樣かぶりにしてアツパツパー姿も身輕に甲斐々々しく箒や雜巾を

手 にされてもよろしからうと思ふのです、音樂がどうの、長唄が乙だの「三越」に新柄が來ただの、今年の夏物の流行はこうだのと、そんな事に浮身をやつさずに質實勤勉よき意味に於ての「山の神然」たれよと希望するのである

女學校などでも、いや情操教育とか、趣味の向上とか何とか、そんな七面倒くさい事をいはずに「にこ〳〵と襷がけ」換言すれば「頬には笑くぼ掌にはマメ」即ち「怒らずに働く」といふことをモットーにして教育し躾すれば充分「美化作業」なんてハイカラな

名 をつけなくても「拭き掃除」で結構、その「拭き掃除」の練習の機會を今少し澤山に與へられたく、あの羽衣女學校で「あんま」の稽古を授業科目中に設けてあるやうなのは私の最も賛成するところ、かくて私の所謂「奥さま然」たる奥樣でなくて「山の神然」たる奥樣の修養を希望する次第です

科學常識

現代科學者の悩み 冷光時代展望(B)

大貫正

◆…宇宙間の總ての物質は我々人間の目には見えない非常に小さな分子から出來てゐます、そしてこの分子は絶えず振動してゐるのですが肉眼等では到底判りません、また宇宙にはエーテルといふこれも目に見え無い物が到るところに詰つてゐて物體の分子の振動がこのエーテルに傳はつて恰度池の中に石を投げ込んだ時のやうに波が出來ます、しかもこの波の長さが物によつてそれぞれ違ひその長短によつて或は目に見える光になつたり、耳に聞えるラヂオになつたり、體に感ずる熱になつたり、樣々の變化を起すものであります

◆…この波の長さはラヂオやその他の電波では〇・四センチから一萬メートルまで長短色々ありますが極端に短いのは赤外線即ち熱を出す線でこの熱線の波長は千分の十三センチメートルから百萬分の七十六センチ位まであります、およそ總ての分子の振動がエーテルに波となつて傳はる時この範圍の波を出しさへすれば熱が出るのです、然るにこれが一層短くなつて百萬分の七十六センチ以下百萬分の三十九センチまでになると初めて光に變ります、しかも目に映る紫、靑、綠、黃、橙、赤の中波長の最も長い赤が最も熱線に近く波長の最も短い紫が熱線に最も遠い、更にこの波が短かくなると、百萬分の三十九センチから百萬分の一センチの範圍が紫外線で、一億分の一センチのものがX線で、紫外線もX線も目には見えません

◆…目に見える部分はすべての波のうち極小部分であります、以上のことから考へると目に見える波以外の他の波を少しも含まなければ冷光が得られるわけです、電燈が熱と光を一緒に出すのは光の波と熱の波を同時に放射するからです

北極氷上で失はれたギルバード氏一行の記念碑

高速度編もの無料講習會

五日から三日間本社講堂で　滿日婦人團員の為に

來る五日より七日まで三日間本社第一講堂で滿日婦人團主催の高速度編物講習會を催すことになりました、講師は大日本編物研究會講師佐久間依子女史ほか二名で、會員全部にS式高速度手編器を一臺づゝ無料で貸與して實地について個人的に指導されることになつてゐます、このS式手編器は在來の文化編物器や高速度手編器に更に幾多の改良を加へて

至極簡單 に誰人にも使用が出來てしかも非常に能率的だといふので日本内地ばかりでなく既に海外にも好評を博してゐるさうです不日滿鐵地方課でも後援して沿線各地に講習會を開く計畫ださうです、第一日の五日には午前九時から午後三時まで基礎編の一齊教授がありますが第二日と第三日はなほつゞいて研究したい方だけに、各自お好みの實物について個人的に指導する筈です、會費無料、會員は滿日婦人團員に限ります、

第一日に 出席の方は基本編用としてお持合せの並毛糸二オンスほど御持參下さい、第二日第三日の材料は皆さんの御自由ですが、毛糸の御用意のない方には當日會場で上等の毛糸を廉價で提供する手筈になつてゐます、なほこれは毛糸ばかりでなくてリリヤン、スピーンなどにも應用されるさうです、講習が長時間に亘りますので各自座蒲團とお辨當を御持參下さい、團員の約束に從つて服裝、食事萬端なるべく質素に、

團員章を 御着用下さい、今回は別に出缺席の御通知は要りません、一般の迷惑にならない限りお子樣おつれ下すつてもかまひません【寫眞は佐久間講師】

家庭消費經濟の日本主義

三田雄

日本主義は日本人の國民生活上の一般的原理であります。その道徳的意義は誰しも認めてをりますが、その實行的方面のことに至りますと注意を向ける方は案外少いやうです。

×……×

家庭の消費經濟は國民生活全體から見ればその一部に過ぎませんが家庭生活から見ても、一人の主婦が司掌してゐるやうな極小さな仕事であります、日本主義の實行はこの卑近な家庭消費經濟から始めたらよいことを、最近になつて私の考へに浮びました。極卑近なことではありますが、家庭消費經濟の日本主義の實行は國を救ひます。嚴密の意味からこの日本主義を定義しますと、日々私共が使用する品物の一切を日本製品にすることです、併し私はそれ程の徹底した主義を行はふとは思つてゐません、實行しやうとしても不可能です。

×……×

日本人は今は西洋なしには一日も生活出來なくなつてゐるやうです、私共の腕には瑞西の時計が卷かれ、身には英國製の毛織物が纏はれてをります、時計も洋服も我々の生活になくて叶はぬものであるとしますと、私共の消費生活から全く西洋を逐ひはらふことは不可能です、私の日本主義は相對的であります。徹底しないと云ふ意味で非難する人もありませう、人間は得手右か左かの極端に傾き易いものですから、下駄屋は穿いてゐる下駄を見てその人を判斷し、呉服屋は着てゐる衣服で人を判斷することもあります。

×……×

外國品を使はないことには可成りの不便がありませう、日本品に代用品がない場合もありませう、また外國品より日本品が高價だといふ場合も多いでせう、消費經濟の日本主義は一種の痩我慢であります。國は何で保つでせうか、喧嘩には何で勝つでせうか、痩我慢によつてです、十五億の外債と年々の輸入超過とを考へたら、日本も破産する時が來ないだらうかと心配になります、國を保つためには私共も痩我慢をしなければなりますまい。

×……×

最も實行し易い痩我慢は外國嗜好品の廢止であります、リプトンスは只一例に過ぎません、リプトンス紅茶は滿洲の何處の家庭でも愛飲される品でありますが、あれを止めて私共は何れほどの苦痛を嘗めなければならないでせうか、酒にも煙草も日本品、菓子も日本品と云ふことにして、手近いところから日本主義の實行にかゝつたら何うでせうか。

これだけ知つて置けば食べるのに不自由はない

支那料理の形と材料と調理法の根本的な名稱解說 (下)

料理の名稱

●炸(チヤー)炸とは油であげる事を云ひます、強い火をつかつて油をたつぷり用ひます、ラード豆油、落花生油、胡麻油など色々使ひますが、普通落花生油と豆油と半々位用ひます、炸蝦球など日本人に好まれてゐます

●炒(チヤオ)矢張り油物ですが炸ほど油を澤山つかひません、油を用ひていためる程度のものです、炒肉絲、炒飯など皆さんにも親みの深いものでせう

●煎(チエン)肉などいためてから湯をかけて煮たものです、煎丸子、南煎丸子などなか〳〵美味しいものです

●溜(リユー)これはあんかけです油であげたりいためたりしたものゝ上に葛をかけたもので、溜汁魚などは皆さんの御家庭でお拵へになつても結構でせう

●醬(チヤン)味噌の事です、豆味噌とメリケン粉味噌と二通りありますが、豆で拵へた方が日本人向でせう、なほ味噌漬の事を醬といふ場合もあります

●燴(ホエ)油でいためたのに汁をたつぷり入れてグタ〳〵煮たもので、燴蝦仁などあります

●烹(ポン)油を少く、火を強くして手早く拵へる料理です、野菜をよく用ひますが外が熱く、中が未だ冷たくてグニヤ〳〵にならぬ程度にしたものです

●湯菜(タンツアイ)湯は品物を煮た汁、菜は料理で、つまり汁物の料理です、豚肉、雞、家鴨などに葱、人參、生姜などを入れて少くも半日以上煮たものです 燕絲雪里紅湯など代表的なものでせう

●川(チヨワン)湯菜はスープの中に肉や野菜が澤山はいつてゐますが川は中味が少くてスープが澤山あるのです、川丸子川肉片等あります

●高湯(カオタン)高といふのは良いものといふ意味で味の良い上等のスープのことです、これはほんのスープで海苔を二三枚浮せたのもあります

●燜(メン)肉類をとろ火で蓋をして長く煮たもので、蓋を明けたら燜にりません、軟かく煮えたらドロ〳〵したお汁をかけて頂くのです、黃燜雞だの黃燜肉だの色々あります

●燒(シヤオ)これは火の上で燒くのではありません、鍋の中で煮るのですが、その前に一度油でいためるか燒くか炙るかしてあるものを煮るから燒といふのです、燒茄子、燒肉片などがあります

●燉(トン)これは燜と同じやうに蓋をして煮るのですが燜のやうに蓋をとると失敗するといふやうな事はありません、燉肉といふのは皮の附いた豚肉を用ひ、支那人の家ではお正月に必ずこしらへます

●熬(アオ)これは汁物で湯と川との間位のものです、熬白菜、奶子熬白菜等があります

●蒸(チヨン)蒸す料理ですから種類も澤山あります、豚饅頭もこの一種ですが米粉肉、雞子蒸などやはり蒸籠で蒸したものです

●烤(カオ)日本語の炙ると同義で直火であぶる料理です、烤鴨は夏向の料理で、烤肉は火鍋子に入れると大變美味しいものです

●燻(シユン)煙で肉類を燻べたもの、所謂燻製です、本當は松かさを焚いてその煙で燻べるので肉に松の香がしみこまなければ燻といふ値打がないとされてゐます

●糟(ツアオ)前に申しました溜の料理の最後に葛をかける時酒糟を加へたものです

●蜜餞(ミーチエン)砂糖蜜を使つて拵へる料理です、果物などを油と強い熱で手早く形のくづれぬやうに煮て砂糖を入れかき廻し乍ら焦げないやうにして、砂糖が細い糸を引くやうになるまで煮詰めたもので、お碗にお湯を入れたものを添へてあります

●釀(ラン)つめ物です、鷄、家鴨、茄子、冬瓜などの中味をくりぬいて肉に生姜や葱をまぜたものをその中に詰めて、詰めた後は輕く糸で縫合せて湯に入れて茹でるのです、ナイフとフォークで頂きます

●拌(パン)和へものです

滿日各地版

大正八年に定めた宿泊料が尚その儘
最高一日三十餘圓から八十錢迄
全滿旅館下宿の調査

【旅順】關東廳文書課物價調査係では今回滿洲各地に於ける邦人經營の旅館及下宿に就き七月一日現在で宿泊料及食事料の調査を行つた、現行料金は概ね昨年或は本年に入つて定められたものが多いが中には鐵嶺の如き大正八年に定められた儘の所もあり又組合料金を實施せる地方は旅大、鐵嶺、貔子窩、開原、長春の五地で其他は何れも各旅館單獨の料金を定めまちくである、宿泊料で一番高いのは遼東ホテル、安東ホテル、撫順聚樂館、奉天瀋陽、大丸、大星の一等乃至特等十圓にして最低は大連組合館三等の八十錢であるが普通は朝夕二食付で一等五圓、二等四圓、三等三圓の程度となつてゐる、又各地ヤマトホテル其他洋式旅館は原則として室料と食事料を區別して居り大連ヤマトホテルには一人室で最高十八圓、奉天同十二圓、星ケ浦同十一圓等ベラ棒に高い所もあるが普通は室料凡そ三圓以上で

食事 は一食一圓乃至二圓五十錢でヤマトホテルは一日三食各地とも五圓である、次に下宿は一般に各地とも少數であるが、大連組合は一等四十圓乃至五十圓、二等三、四十圓、三等三十五圓から三十圓、旅順は一等三十圓乃至四十五圓、二等は五圓下り其他營口、鞍山、撫順、奉天、安東、各地とも三十圓程度が通り相場で最高四十五圓止まり最低は二十二、三圓からあると

撫順炭礦の新陣容全く整ふ
卅一日本社より電達

【撫順】新陣容全く整へる撫順炭礦所幹部級の正式任命通知は卅一日午後零時半漸く本社より電達されたが何れも本紙卅一日二面所載の如く一人の狂ひもなく確定したその顔觸れは次の如し

△所長 伍堂理事 △次長 久保孚（前採炭課長） △庶務課長宮澤惟重（前老虎臺庶務主任） △工事課長大塚頼三（前電氣課長） △採炭課長坂口兌（前大山採炭所長） △古城子採炭所長宇木甫（前工事々務所長） △楊柏堡東鄉採炭所長渡邊寛一（前運輸事務所長） △運輸事務所長人見雄三郎（前古城子庶務主任） △工事事務所長馬場彰（前楊柏堡採炭所長） △大山採炭所長中島鶴吉（前煙臺採炭所長） △煙臺採炭所長栗屋東一（前採炭課員） 尚この外石炭輸理課長、前島東輝、平石龍鳳、高知老虎臺の各採炭所長、今泉機械工場長同發電所長、長谷川製油工場長等は從前の如くである

暗雲一掃さる

【撫順】月餘に亙つて流言蜚語續出しかも炭礦だけで五、六百名の首きりがあるとかいや東郷その他の採炭所、機械工場の廢止いや工事事務所の大縮小の爲め日支社員二千有餘名の犧牲者を出すとか次から次へと傳へられ眞に全礦を通じて暗雲低迷滿石の邦人三千餘の社員連も首の事が心配で碌に約半月は仕事も手につかぬ狀態であつた、而し被整理者も悉く判明その數字に比しては案外少い方で三十一日朝來暗雲は全く一掃され月替りの一日から殘つた全社員何れも首をなでつゝ命拾ひした想ひで嬉々として社務に精進人心は今や全く鎭靜撫順全礦には潑剌たる更生の氣漲りこの未曾有の經濟的受難期の打開に緊褌一番善處せんとする氣持ちが溢れるに至つた

撫順炭礦の退職者
百七十四名

【撫順】全滿鐵を吹き捲くれる大嵐の爲撫順炭礦所の勇退者は本紙の三十、三十一日附逸早く報道したる如くであるが總括的詳報次の如し

邦人勇退者百七十四名（三十一日退職申出追加職員一、傭員三名）にしてこの內譯職員四十三名、雇員四十八名、傭員八十三名、計百七十四名中國人傭員二百五十七名、總計四百三十一名である右の內邦人社員自發的辭職申出は約三分一で殘餘百餘名は純然たる整理された者である邦人勇退社員中退職即時希望者は十七名他は勤續年數給額家族數等に依り最長一年までの待命期間を與へられ右期間終了と共に名實共に退職する事となる前記全部の退職手當撫順炭礦だけで約八九十萬圓と云はれてゐる勤續年數の最も長い高給社員では製鋼係主任山口武吉氏の二十四年四ケ月職員では機械工場の今永莊吉氏の二十四年五ケ月大山坑の三本米吉氏の廿三年九ケ月等である

井上所長の功績
近來安東の名市長

【安東】滿鐵の人事整理に依り安東地方事務所長井上信翁氏も待命となつた、井上所長の安東在任は僅かに二年四ケ月であるが此の短期間內に安東の爲めに盡した功績は頗る多い、地方事務所關係の仕事は減收、緊縮の爲め殆ど中止又は休止の形で大して見るべきものが無かつたが安東民間の仕事で氏の盡力に依り圓滿解決を告げたもの、一部を擧げれば第一現安取問題、學校問題、氏子問題、安東驛問題、商議書記長問題、沙河鎭問題、土地現業員問題、第二次安取問題、競馬問題等で此の外電燈問題、滿鐵問題等枚擧に遑なき程である又一面安東運動協會長、滿洲青年聯盟支部長、修養團聯合支部長、商議特別議員、安東慈善團理事その他日支有力團體の最高幹部として活躍し純然たる安東市長として公共に滿點の好所長を失つた安東市民は只管氏の永久に安東人士として居住されることを希望してゐる

愉快に仕事をした
井上氏語る

【安東】滿鐵の大地震、參事、技師等五十餘名の待命の報を齎して地方事務所々長室に御大井上所長を訪へば平常と何等變りなき態度でニコヤカに語る

愈よやめる事になりました、安東所長を命ぜられたのが昭和四年の三月十八日で着任したのが四月一日です丁度二年と四ケ月になります、滿鐵の經濟狀況が御存じの通りですから餘り大した仕事も出來ませんでしたが市民各位の御援助に依つて始終愉快に仕事をして來る事が出來たのは何ともお禮の申樣のない次第です

萬寶山にある警官隊苦闘
酷暑と馬賊に惱む

【長春】萬寶山現地保護にある我警官隊の昨今は地獄たぎりの酷暑に依然警戒をゆるめず苦闘を續けてゐるが吉林交渉が解決せざる限りは撤退せざることに決定してゐるためこの撤退は果していつになるか豫測を許さぬも吉林での圓滿解決は大體不可能視されて居り結局奉天に交渉地を移すことになろうが斯くしてこの問題も解決までには今後幾多の迂餘曲折を要する譯だから從つて警官隊の引揚もそれだけ延びることにならう、然し最近は高粱が繁茂したので警戒方針も馬賊の襲撃を防止することに努めてゐるが馬家口、萬寶山間往復六里餘の警戒線は一隊を十名餘とし高粱間からの狙擊を特に注意しまた馬家口が馬賊の唯一の通路となつてゐたがこれを邪魔されてゐる形になつてゐるので警官隊の襲擊說も頗る濃厚であるため夜間の立番も四名とし徹宵之れが警戒に努めるといふから現地保護の警官隊の勞苦は一般の想像を許さぬものがある

奉天が生んだ三人の地方長官
事務所長に榮轉の人々

【奉天】滿鐵新職制による人事の大異動によつて奉天から沿線の地方事務所長に榮轉する三氏があるがこの榮轉する人々を訪へば何れも左の如く喜びを語つた、公主嶺地方事務所長となる滿洲醫大幹事森脇保氏は

自分が大學醫院事務長から幹事に就任して以來四ケ年その間診療所、新病棟等の大建築を終り二年目には滿鐵から分離した獨立會計となり益々その責任の重大なるを覺えて來たのであるが更に大學の學位問題、専門部の開業醫資格問題等の重要な問題も一段落をなし安東地方事務所勸業係長であつた阿比留乾二氏が着任と同時に敏腕な事務の働きをなすことでより以上の成績を擧げることゝ思つてゐる

鐵嶺地方事務所長になる奉天地方事務所庶務係長前田鐵雄氏は

鐵嶺は對支關係も至つて平穩ではあるし自分としてもどうにか勤まることゝ思つてゐる事務については全く白紙なので赴任して事情を聞いた上でなければ何とも云ひかねる

又營口地方事務所長となる奉天地方事務所勸業係長門脇默一氏は

全く意外なことである奉天に來てまだ一年そこらで奉天の事情がどうやら判り掛つた處なのである故に所長として如何にするかなど、將來の事はちよつとも考へてゐない何れ赴任し色々の事情を聞いた上で方針も樹てやう

五龍背の川遊び

【安東】一年中を通しての遊歩地として好適の五龍背溫泉では目下大和、朝日の兩小學校の兒童が溫泉聚落に赴いてゐるが同溫泉五龍閣では土に親み水に親む事が夏の保健の第一要素として常に河水の少い碧河を掘り下げて一大プールを作り兒童及び一般浴客の子供娛樂の爲に開放してゐる此のプールは小さい子供にも危險なく愉快に川遊びが出來るので溫泉に河に一日の清遊にはもつて來いである

夏の浴客を迎へ熊岳溫泉の躍進
簡易宿泊所を開設

【熊岳城】三伏の酷熱はいよく本調子にやつて來た海へ山へ避暑客は押し寄せた滿洲中唯一の民衆的溫泉として知られ山紫水明河魚躍り水鳥飛び交ふ大自然をバックにいとも原始的な河原の砂浴は汗みどろになつて植民地の生活戰線に活躍するプロレタリアのみの滿喫する事の出來る

自由と平等との表徴 として喜ばれ出した押し寄する寄する上り下りの各列車より吐き出さるゝ浴客は日々に激增した、然し此の人々は逗留中案外に經費の嵩むを歎じて今少しく經濟的に長期入湯の出來る設備をと渴望したが今回いよく民衆本位經費節減而も居心地よく心長閑に濯浴の出來る時代向き新營業方針に依つて驛前電燈會社裏に多數の室數を有する小ざつぱりとした簡易宿泊所の經營を始めスピード時代にふさはしい奉仕的旅館熊岳寮の開設を試みる篤志の人を出した、此の種營業は當溫泉をして益々民衆向きとし全滿人士に此の靈泉の活用をうながす

好設備 として大いに期待せられ開業前既に豫約申し込み十數件二三十名に上つて居ると云ふ好人氣因に其宿泊料は食事代を含み金一圓均一と雖も從來の二圓程度の待遇をすると云ふ破天荒の勉強振り殊に開設自祝の意にて當分溫泉場への送り迎へ馬車賃も無料で奉仕すると云ふ大サービス振りである

夜の太公望の爲簡易宿泊所
金州西海岸の新施設

【金州】メバル、アイナメは言はずもがなチヌも二寸位に成長して愈々釣場の金州西海岸には無我の境に入らんとする群が日毎に増へつゝあり正に太公望跳躍の時季は訪れた、海岸線に出入の多い西海岸龍王廟より北に向ふ海岸一帶は豐富な棲魚量に於ても距離の點から言つても最も理想的な釣場であることを疑はない、至る處釣場ありの觀ある金州ではあるとしても衆目の推す第一位は卽ち西海岸であらう、其の意味に於て今度龍王廟先の海邊に建坪十二坪の簡易宿泊所兼調辨所と言つたものを設けたこれは夜釣に大連方面から來る太公望連に取つては一大福音であつて一時に十四五人のゴロ寢も出來るから團體に利用しても誂へ向である兎に角廣茫たる渤海の青海原を前にしてオゾンを吸ひつゝ寸時の夢を釣場に求むるのも亦一興であらう

朝鮮を引揚げて北滿地方に移住
約五十名長春を通過

【長春】在鮮支那人四十七名は廿九日來長、城內紅卍字會員の出迎へを受け紅卍字會內に保護を加へてゐたが內五名は三十日吉林に職を求めて移住し殘りの四十二名は同日八時二十四分發列車でハルビンに向つた、因に一行の旅費は安東長春間は安東總商會より醵出保護し長春吉林間、長春ハルビン間は長春紅卍字會より保護することゝなつた、尙長春縣署からも一人宛哈大洋五十仙宛を支給したもの如くであるが在鮮支人の北滿移住者はこれが最初である

奉天の火事

【奉天】卅一日午前一時十分頃市內稻葉町建築請負業深町方より出火し消防隊の活動でトタン葺平屋十七坪を燒いて鎭火したが原因は煙草の吸殼、損害は約六百圓である

御眞影奉安

【奉天】奉天加茂小學校の御眞影は卅一日十五時半着急行にて小倉地方事務所長捧持し到着直に派遣通り加茂町より小學校に安着同校講堂に奉安した

日支兩教授の滿鐵附屬地論（六）
鐵道居留地の地位（9）
徐淑希

右條文中にあるアドミニストレーションなる文字の意味が單に商業經營にあることはたゞに支那側のみの見解ではなく、米國もかくみてゐることは、東支鐵道に關するハルビン協定締結當時における米國からロシヤ帝國に對して與へた文書によつて示されてゐる、卽ち千九百九年十一月六日附當時の米國々務長官よりロシヤに宛て發せられた文書に於て次の如く述べられてある

東支鐵道に關する契約の第六條の規定により租借せる土地の會社によるアドミニストレーションなるものは單に鐵道の「建設運用及び保護」に必要な商業經營を意味してゐるに過ぎない、これ右條文中が明白にこの點をあげた目的であり、その結果これ等の土地が支那によつて讓與されるに至つたわけである、これこそ實に疑もなく、問題の第六條の支那譯により、又た東支鐵道がハルビンにおいて市政を行はんとして支那政府から受けた抗議により明らかとされてゐる點である（中略）アドミニストレションなる文字の意味において英語ではこの文字は各種の商事經營の意味に使用せられるが佛語における同一の文字及び同契約の支那譯文中の同文字の譯語は英語における意味以上に商業的に非政府的に一般に使用されてゐる言葉である、佛語に於けることに言葉は普通一般には商事經營の意味に用ひられてゐるため、その一々の場合における絶對的意味は全々前文句によつて決定されるものである、しかし、契約全文を通觀するに、それは第六條の第二項中には全然政治的行政の意味を含んでゐない事を示してゐる

この米國々務長官の文書には今更何も附加へる必要を認めない

さて、所謂滿鐵本線沿線の鐵道居留地に關する日本の主張が薄弱なるものとすれば、安奉沿線の鐵道居留地に對する主張は尙薄弱なものである。その根據はどうあらうとも、千八百九十六年の契約第六條は單に所謂本線を指すものである、蠟山教授は鐵道居留地の法的基礎ともアドミニストレーションなる文字を引用することは取りやめることがよからう

もはや支那に於ける外國居留地制度終末の日は來た、この滿洲における鐵道居留地はロシヤにより放棄された、ある決定的法律上の地位をもつた條約港における一般的な外國租界も漸次列國によつて返還されつゝある、かゝる時に日本が問題の區域を保持する何等の理由もない

蠟山教授はやゝ心配氣に「京都會議に出席した米國代表のあるものはこの鐵道附屬地と支那の他の地方における外國居留地との間に何等の差別を設けてゐないが如くである」と述べてゐる、氏は又た「京都會議の空氣及びそこで討議された問題の內容から見れば、吾人は日本人として鐵道附屬地における行政の性質についての學術的分析を必要となす焦眉の必要を感ずる次第である」と述べて居られる

然しながら、蠟山教授が引戻さうと望んで居られる時計の針は、京都會議においてのみならず何處においても「米國の代表の或もの」との間ばかりでなく、すべての人々の間に、また國際的學術會議においてのみならず外交的會議においても先へ先へと進んで行く、蠟山教授の述べられたところによつても、氏の理論なるものは、日本においては一般的ではあるが「支那人その他の外國人」の見（と氏は說明してゐる）とは異つてゐる

吾人は本稿の終りにあたり、次に華府會議の支那における外國郵便局に關する小委員會で、偶然にも本稿で論ぜられたと同一の問題が持ち出された際に、取り交された委員の應答を議事錄によつて紹介しておこう

「埴原（日本代表）はそこで鐵道附屬地問題を持出し、氏の條約の解釋によれば、日本はその管轄下にあり鐵道附屬地に郵便局を設置して差支へないと說明した

施肇基（支那代表）は埴原氏が何れの條約の何の條項によるかを質した

埴原氏はポーツマス條約により日本は南滿洲鐵道附屬地及び租借地におけるロシヤの權利を繼承した旨を說明した

委員長ロッヂ（米國上院議員）は租借地と鐵道契約とには相違ありとの意見を述ぶ

埴原氏は日本の行政權に關する限りでは日本は租借地における同樣な權利を鐵道附屬地においても有すると聲明す

委員長は鐵道に關する權利なるものが單に通行權だけでなく、土地の租借も含むかと質す

埴原氏は日本は鐵道線路上においてのみならずその兩側の一定地帶に權利を有し、その地帶は租借地と同樣の地位として取扱はれ、徵稅警察郵便を含むすべての權利が附隨するものであると回答す

委員長はそれこそ通行權といふべきものだ」と述べた（をはり）

沿線往來

▲山崎代議士 三十日安奉線にて京城へ
▲宇都宮高等農林生一行十四名 三十一日、主嶺より奉天へ
▲日本大學雄辯會鮮滿視察團一行七名 三十一日安東より奉天へ
▲大阪福島商業生一行五十名 三十一日赴連
▲米國ボストン旅行會社主催觀光團一行十二名 三十一日京城より奉天へヤマトホテル投宿
▲慶應義塾產業研究會旅行團一行十三名 卅一日奉天へ
▲京都帝大鮮滿視察團一行卅六名 卅一日奉天へ
▲[illegible]岡縣第二回見本市團一行十一名 卅一日京城へ
▲柴山顧問 卅日北平へ

吉林

上京委員送別

當地方居留民の死活問題たる治外法權撤廢に反對運動の爲め二十五日開催の議員等に於て民會長三橋政明氏及議員稲村峰一氏の兩名を上京委員として推薦したことは既報したが、右上京委員は來る八月五日當地出發途中奉天、旅大に立寄り九日大連出帆の豫定らしい又在留民一同もこの兩氏に對し何等かの方法を以て激勵的の會合を爲さんとして二十九日夜民會に有志十數氏相集り協議の結果八月三日午後正七時より小學校講堂にて送別茶話會を民會及び青年聯盟主催の下に開催する事に決定し其席上に於て上京委員の要路に對する陳情の腹案の發表を乞ひ參會者又各々經綸談や抱負を披瀝して上京委員の參考に供することにし係員を選び着々準備中である

江上で觀月宴

吉林滿鐵公所長濱田有一氏は廿九日夕六時頃より同所前附近の松花江上にて觀月の宴を催したが、臨宴者は石射總領事夫妻初め同書記生夫妻や田中署長、三橋民會長も列席した

長春

利勝號の備砲

奉天兵工廠に野砲及その附屬品受取りに行つてゐた東北海軍江防艦隊所屬少校參謀趙文裕は野砲二門、砲車十輛、砲彈二百發、爆管二百個、砲火指揮器二十六箱、馬具十四箱を輸送し三十一日十時着列車で來長正午寛城子驛發列車で赴哈したが右軍器は江防艦隊所屬艦利勝號の艦備砲と取替ゆるものだとのことである

北嶺夜話

關東州にせよ滿鐵にせよ日本人側の機密であるべき情報が支那側に餘りに早く探知されてゐる例は決して少くない▲されば支那人を使用する日本人が餘りに無頓着でありまた輕視する結果からであることは今更云ふまでもないことである▲所謂飼犬から咬はされた結果と同樣だがどうせ飼はねばならぬ犬ならもう少し上手に慎重に取扱つたらどんなものか▲失業苦の今日日本人も贅はいはぬ滿洲を日本の延長としてどんな仕事でもするといふ前提のもとに各會社が支那人を馘首して日本人を充當するとしたらどうだらうそれも徹底的に實行せれば眼目だ▲長春國民外交協會南京政府に打電して田代君の免職要求をなす更に周警備處長にも▲長春の反日紙大東報その全文を掲載して愚民に氣勢を揚げさせんとす流石は官僚閥だけ恐ろしいまた逆文字を並べたものだ

四平街

簡閱點呼執行

昭和六年度簡閱點呼は三十日午前八時暑熱百〇九度の炎天下、守備隊營庭において獨立守備隊第五大隊長田所中佐により最も嚴粛に執行せられた、參加者八十四名にして其內譯教育兵四十六名、未教育兵三十八名にて此の外疾病のため不參者二名、點呼期日を誤解して遲刻せる者一名ありたる外全部定刻前より參集し嚴格なる軍紀の下に各自十二分に緊張し所要の點檢並に指導を受け僅半日の短時間ながら一般參加者に多大の感銘を與へ其成績の如きも一部學科試問など除く外は概して良好な[illegible]

鐵嶺

下され午後零時二十分終了散會を命ぜられたり因に當機關庫勤務員後備役歩兵上等兵作本定氏は日常在鄕軍人分會のため盡粹し且つ同機關區百二十名の分會員の班長として一致團結を圖り而も其勤務に至りては刻苦勤勉一般分會員の模範とするに足る者として執行官より表彰せられた

鐵嶺軍の陣容

全滿中の陸上競技部を迎へ本日午前十時より衛戍病院前のグラウンドにて對戰する全鐵嶺陸上競技部は過般來陣容の編成に苦心中であつたが幸ひ守備隊工兵隊の選手出場が決定したので非常な強味を覺え有力なる陣容を整へることが出來遠征軍中軍を鐙袖一觸の勢ひで屠るべく意氣込んでゐるが堅實を誇る全鐵嶺軍の陣容は左の如し

（百米）中村、宮久保、石田（二百米）高橋運、宮久保、中村、（四百米）槽谷、高橋運、宮久保（八百米）鈴木、槽谷、迎（千五百）李、鈴木、迎（八百米リレー）中村、宮久保、佐藤、高橋運（走高跳）佐藤、石田、柴田（走巾跳）高津、高橋、柴田（三段跳）高津、高橋、石田（圓盤投）海野、古賀、網屋（砲丸投）網屋、古賀、松田

振興運動資金

鐵嶺振興會では既報の如く實行委員を擧げて振興策に對し本格的の研究を進める事にしたが實行運動に伴ひ若干の資金も要するを以て一般有力者から寄附金を仰ぐべく目下準備中であるが募集金額は約三百圓にて民會と商工會議所に於て募集勸誘をするさ

自主同盟支部

全滿自主同盟鐵嶺支部の發會式は今二日午後七時より公會堂に於て舉行せられ式後直に時局大演說會に移り鐵嶺の有志[illegible]名の外奉天本部より上田統、藤原昌彦、撫順支部より河村芳男氏其他各支部からも應援弁士來鐵し大いに獅子吼する由につき全市民多數の來場を望むさ

奉天

民會評議員會

奉天居留民會では卅日評議員會を開き左記事項につき協議決定した

一、衛生組合役員推薦の件
二、諸木華普通學校設置費に百五十圓寄附の件
三、新賦課金等級査定の件
四、昭和五年度決算報告
五、同上特別一般剰餘金の件
六、その他支那側の不當課税、治外法權撤廢に關する件につき協議をなす處あつた

滿蒙牧場重役

滿蒙牧場の取締役に田中廣吉、中野三四一、萩原昌彦、安達利平、監査役に多賀宗平、山田杵藏の諸氏が重任することに廿九日の株主總會で決定した

日曜の催し

▲全京城對全奉天の水上競技大會午後一時から奉天プールにて
▲奉天組合教會の音樂禮讃式 午前十時半から同組合教會に於て

遼陽

家事講習臨休

遼陽地方事務所附屬家事講習所は一日から十日間暑中に付臨時休講するさ但し獨習する者は臨休中さ雖も出所差支なしさ

養峰講習會

遼陽地方事務所では三四の兩日社員俱樂部に於て養蜂講習會を開催[illegible]することになつて[illegible]及び日割左の如くである

▲第一日（三日）（イ）滿洲に於ける養蜂（ロ）蜜蜂の三異性（ハ）養蜂器具（ニ）蜜蜂の取扱方
▲第二日（イ）蜂群の管理法（ロ）蜂蜜の効用及販路（ニ）附王蜂養成法（ホ）實地指導

兩氏歡送迎會

遼陽機關區長安原瀧次郎氏が奉天機關區長に榮轉後任に大連から高橋敬藏氏が三十一日着任したので同日午後七時から玉家で今回の勇退者を併せて歡送迎會を催した

師團幹部招宴

遼陽駐箚第二師團小野參謀長が少將に昇任敦賀歩兵第十八旅團長に大沼高級副官が大佐に昇進青森聯隊區司令官に榮轉することになつたので三十日夜玉家に於て兩氏の主催で師團司令部の各幹部其の他を招宴したさ

關野氏榮轉

遼陽商業實習所主席教諭關野惣平氏は營口商業實習所長を命ぜられた

營口

滿鐵の異動

滿鐵職制改革に依る當地に於ける主なる異動は粟屋地方事務所長地方部地方課長に轉じ其後任として門間堅一氏來任し前田院長の吉林東洋醫院轉任に後任として鈴木主税氏九里驛長の長春鐵道事務所庶務長に後任として驛貨物主任の野村富貴氏、野村氏の後任には驛貨物助役の石關信助氏驛助役の佐竹榮氏は[illegible]平驛長に其後任には驛の鈴木茂雄氏任ぜられ驛の山屋氏は遼陽驛助役に同千葉氏は本溪湖助役に轉じ三田村前實習所長の後任として關野惣平氏來任することゝなつたが勇退者は職業學校長一名小學校訓導一名工務係一名營口驛十一名保線區一名である

金州

金州驛の異動

滿鐵大嵐の犧牲となつたのは金州驛貨物係松尾佐市同家種信號所鈴木朝吉の兩氏と外支那人二名さだけであつて轉勤は驛勤務の田野三郎氏大連列車區へ一名のみ尚缺員の補充は行はない模樣である

麻雀俱樂部

麻雀の遊戯熱旺盛なるに鑑み關東廳では麻雀俱樂部の取締規則なるものを出して遊戯場經營を認め徹底的に取締る方針を取つたが、金州でも該てから是れが必要に迫られてゐた處であつたので、警察でも經營希望者一人だけに許可を爲すこゝなつたから近く麻雀俱樂部の出現に依てより以上に麻雀黨は悪まれる譯だ

夏季警戒開始

金州警察署では來る三日より署員及管內の保甲團千餘名の總動員を行ひ徹底的に夏季警戒に當ることゝなつた

土用稽古納會

去る廿一日から城內道場において行はれてゐた武道の土用稽古は豫定の二週間を繰上げて卅一日納會を行つた

兩氏武道視察

武道小關鍊士柔道島田教士は武道視察のため來る十二日來金の筈

餘滴

來る九日開催の金州庭球選手權大會優勝組に加世田織二郎氏より優勝楯を贈呈することになつてゐるがその優勝楯に[illegible]

旅順

如陰。前衛其徐如林。動如雷霆 侵掠如火

市民への挨拶

上海少年團は憧れの旅順に二週間に亘るキャンプ生活を行ひ卅一日午前七時二十五分旅順驛發列車にて歸還の途に就いたが驛頭には米內山團長以下同志一同の盛んなる見送りを受け盡きぬ名殘を惜みつゝ一路上海へそうして離旅に際し左の一書を旅順市民へ殘して行つた

旅順、それは吾々日本人が一日も忘れる事の出來ない土地であります、私達は今日までどんなにこの由緒ある聖地に憧れてゐた事でせう、そして今年は幸にもこの願望が達せられたのでありました、十八日以來海に山に往時を追懷しつゝ御當局の方から御指導を受けて見學致しました、見るもの聞くもののすべてが涙ぐましいものばかりでした、「自然は人を育む」と申しますがこの精神的に偉大な環境に生活なさる皆樣に接しましてこの言葉の僞でない事をしみ〴〵と感じました、物質文化の街に育つてゐます私達の最も缺けてゐる親切、同情、犧牲的精神といふ樣なものを充分につき込んで戴いた樣に感じます、僅かに二週間ではありましたが精神的にも身體的にも非常に澤山の獲物がありました、御達者で御奮闘下さいませ

全旅軟式野球

全旅順軟式野球大會第三回戰は三十日午後一時より旅順球場において關東廳審判中野柴審の下に關東廳官房對アカシヤの試合を行ひ官房先攻にて開始されたが十三對一に官房の勝、兩軍のメンバー及び得點左の如し

回數	一	二	三	四	五	六	七	計
官房	1	4	0	1	3	0	4	13
アカシヤ	0	0	0	0	1	0	0	1

官房　崎　木　田山永藤野井賀藤　鳥
　　　山青吉村宮加今大古伊
　　　6 4 2 5 3 1 8 9 7
アカシヤ　部谷瀬場崎本藤田　山島
　　　矢磯棚馬藤山市太　原　柴中
　　　4 1 6 5 9 7 8　2 3

次で午後四時よりは滿鐵對關東廳財務の試合を行ひ粟原の球審、山口壘審の下に開始豫期せざる接戰を演じ二對一にて滿鐵惜敗、兩軍のメンバー得點左の如し

回數	一	二	三	四	五	六	七	計
滿鐵	0	0	0	0	0	0	1	1
財務	1	0	1	0	0	0	0	2

財務　乃本濱山田野伯田　張
　　　幸岩日灣島岡佐角
　　　3 1 6 2 9 8 7 5 4
滿鐵　澤山田　鄉　島尾田田平本
　　　山秋武　眞松新戸小森
　　　8 4 2 5 1 6 3 9 7

美術協會展

旅順美術協會第三回展覽會開催に就いては過次役員會開催の結果來る十月十七日から同十九日三日間毎日午前九時より午後五時迄第一會場は東洋畫、彫刻、書の第一部を女學校雨天體操場第二會場は西洋畫、彫塑、印畫の第二部は一中講堂に於て開催される事に決定した尚[illegible]軍高級副官[illegible]渡波教育主事女學校長の三氏は顧問に推戴された

黃金臺

土産品販賣の主なる者十餘名は三十一日午前十時より市役所に集合の上種々協議を遂げる處があつたが右は來る十七、八日諸學校に於て開催の豫定なる展覽會に對する打合せにて其他に就き協議を遂げる處があつた

◇

民政署內興文會では日下滿洲滯在中の京都一燈園西田天香師の高弟で實踐躬行の人三上和志師を聘し五日午後七時半から警察署演武場に於て一夕の修養談話を[illegible]

最終日の爭覇戰に大相撲熱狂的人氣
武藏天龍の取組勝負つかず 選士權決勝引分け

大日本相撲協會の千秋樂たる三十一日は選士權爭霸戰の最終日と云ふので三日四日目におさらない入り、その上、今日一日のこととて觀集は全く熱狂、大檢、運轉の連中も今日を最後の聲援、たがをはずしての騷ぎ土俵入り、三役と進んで愈々人氣の中心たる選士權爭霸戰に入る、武藏先づ大の里を屠り天龍また綾櫻を輕く一蹴してこゝに當代人氣力士天龍對武藏の決戰となる、本場所に於ても見られない一戰とて場内は極度の熱狂、俄然戰ひは火花散り、乾坤一擲の戰ひとなり水入れること二回、決せず遂に行司式守伊之助は春日野陣幕兩檢査役と協議の結果十五分の後に再試合に移つたがこれまた水入れをなしたが決せず遂に預りとなり、關東長官盃、滿鐵總裁盃、大連新聞社銀盃、本社優勝旗、武藏山後援會優勝刀は預りとなりさしも全市の人氣を沸騰せしめた選士權爭霸戰は盛會裡に午後十時千秋樂をつげた

玉錠（より切り）常盤野
しきり直し二回立つや武藏出羽の右手を殺して右差し、土俵中央でしばし、出羽の出鼻をくじいて歩藏さかひねり出羽もろくも敗れる

武藏山（逆捻り）出羽ケ嶽

天龍（上手投げ）和歌島
しきり入念漸く六回目に立つ和歌頭を以てごし〳〵押すを天龍これを輕くはなして右差しさなり行司だまり際まで押し寄つて上手投げて極める

大ノ里（上手投げ）山錦
右四つ、山錦東土俵際まで一氣に押し寄せたが大ノよく餘し返つて押し返し正面土俵際で大きく上手投げを打つて見事に勝つ

武藏山（下手投げ）大ノ里
きりなほし五回目大ノ聲を立てたが武藏自重して立たず漸く七回立つ、武藏右差してぐんぐん押すを大の危く土俵を半周して飛ばすを武藏まきかへして二本差しさなり赤柱に押寄り下手投げを打てばさしもの相撲巧者大ノも敗れる

天龍（小手投げ）綾櫻
綾櫻右差しさなつたが天龍一氣に小手投げ打つて勝つ

水入れを繰返し遂に引分け
―選士權決勝戰―

▲再戰にや〻堅くなつた兩力士漸く八回目に立つ、武藏再び右差し、天龍武藏の左手を殺して優勢、土俵中央にしばし、後武藏じりじりとつめよるを天龍防ぎかへつてさそひをかけるも武藏應ぜず水入れとなる水入れ後天龍敵の肩にがつちり顎をおし

武藏山（預り）天龍

▲兩者入念にしき直し實に九回目に立つ立つや天龍上手まわしをとつてや、優勢天龍よく防いで後右がッちり四つ武藏下手投げを打つて一氣に敵をほふむらんとするを天龍もまたよくのこし武藏まき返へして二本差しさなり土俵中央にためる時水入りさなる、水入れ後兩者土俵中央で慮をうかゞひ武藏じり〳〵押すを天龍右肩をがつちり敵の胸にあて〻動かず、式守伊之助、春日野、陣幕兩檢査役協議の上十五分再決勝を行ふことに決す

勝負

綾若（より切り）番神山
常昇（押し出し）大鵬
大高山（より倒し）羽後響

中入

高の花（より切り）大島
藤の里（押し切り）駒錦
外ケ濱（より切り）銚子灘
新海（押し出し）常陸島
大和錦（より切り）肥州山
信夫山（より倒し）伊勢ノ濱
錦華山（押し出し）綾櫻

あれ以上さらせるに忍びぬ
春日野檢査役談

天龍對武藏山の一戰について春日野檢査役は語る

兩力士とも丈は同じですし強さも同じその上相四つと云ふのですから實力は相伯仲です、御互ひが右左にまはして四つになれば勝負はつき難い、二度まで水を入れてその上さりなほしてもあんなのですからあれ以上さらせることはいづれかの一方をたほしてしまはなければならない東京に於てもあつた例ですから協會が預かることゝなつたのです、皆さまに對しては甚だ相濟まないと思ひますがあの際私達檢査役としてはどうしても預りより外に方法がなかつたのですこの點どうぞ御諒察下さい

つけて武藏もまた金剛力を以てこれに對戰、武藏一氣に敵を倒さんと押し寄るを天龍殘す、この時式守伊之助、兩檢査役と再び協議の結果、預りさなる

更に再取組か

武藏山對天龍の再試合に關しては協會並に當地關係者集合の上協議を重ねてゐるが或は一行歸國前に大連にて再決勝を行ふかも知れない由

戰ひを終えて

（上中央）武藏山（下）天龍

ロビンス機一日壯途に上る
先づアラスカへ向ふ

【東京特電三十一日發】ロビンス―ジョーンズ兩氏のフォートワース號は本日午後試驗飛行の結果發動機の狀態其他總て理想的である事が判つた新設備に依る速力は一時間百三十八哩の素晴らしさだと發表された依つて出發は三十一日天氣がよくても今一日待ち八月一日再びアラスカ經由東京への北太平洋無着陸横斷飛行の壯圖に出發し先づ第一の給油地たるアラスカのフエアバンクスに向ふ事に決定した

世界早廻り機 モスコー到着

【モスコー三十一日發】世界早廻りのパングボーン、ハンドン機は三十一日午前十一時五十二分（日本時間午後六時五十二分）モスコーに到着、最初より七十二時間餘である

オムスク到着

【東京特電卅一日發】訪日飛行の途にあるアミー・ジョンソン嬢はグリニッチ標準時三十一日午前八時クルガンからオムスクに到着した

ロ氏出發未定

【シヤトル三十一日發】ロビンス・ジョーンズ兩氏はカムチヤツカ方面の天候回復せざるため出發期を確定し得ないでゐる

リ大佐夫妻

【オッタワ三十一日發】リンドバーク大佐夫妻は一日ムースファクトリーへ出發の豫定なるもまだ確定せぬ、夫妻は何時でも出發し得るやう準備した上本日はカナダ下院を見學した

百萬法の懸賞金
八千キロ飛行新記錄者に
佛航空協會の意氣込

【パリー三十一日發】ポートマン、ポーランド兩氏のニユーヨーク、イルタンブール間八千四十五キロ（國際航空協會の計算）一氣翔破長距離飛行新記錄はフランス航空界に非常なセンセーションを起しパリー航空協會は、氏の記錄を打破る佛飛行家に對し百萬法の賞金を提供すべしと發表した、このため曩にパリー、チチハル間を翔破したコスト氏も今秋この懸賞に應ずべし既に使用機に特別燃料貯藏タンクを取つけ準備中であり過般東京訪問飛行の途挫折したル・ブリ氏も今秋迄に再擧する模樣である

ノ號航行を續く
ベ港迄の大半を航行

【ノーチラス號にてウイルキンス大尉三十日發無電】今夜十時わがノ號はツプリマスを離れると五百六十哩、ベルゲントル三百五十哩の洋上を平均時速七節で航行しつゝある、スピードが出ないのはエンヂンを一つだけしか動かしてゐないからだ、右舷エンヂンは排氣ヴアルヴに故障が起つたがこれは恐らくカムシヤフトの調整を誤つたためだらう、しかしその方はベルゲンへ行けば短い時間で修繕し得るから心配はない、昨夜一寸の間怪しい天氣模樣になつたので乘組員一同懸念したが格別のこともなかつた、今日は曇つて暖かく海上靜穩、鏡の如く滑かだ【本社版權所有】

中空に躍る狂人
消防の出動を求めて救助網で漸く救助

ミイラとりが危ふくミイラ取りになつて發狂した話し山東生れ當時大連醫院小使范文學（□）は過日來氣が變になり精神病科で血液檢査をして貰つたところが、いよ〳〵それを氣にして神經が過敏になり

◇病院で もそれさなく發狂者扱ひさしてゐたところ卅一日午後八時半ごろ范は突然、精神病室の窓から窓を野猿のやうに驅登り、遂に三階目の室から室へ兩手をかけて街にブラ下り、遙か下界を見下して、ゲラ〳〵薄氣味惡く笑ひ乍ら「こゝまでおいで、飛び下りるよ」と騷き騷ぐ醫師看護婦を尻目にかけて、突飛なからかひを繰返した上、岩本、富本兩消防手が命懸けで

◇狂人に 近づき、壁にかけた兩手を渾身の勇を揮つて引つ張り、遂に、危機一髮の瀬戸際を救助したが、屋上の狂人范は筋書通り精神病室へ送られてミイラ取りがミイラになつた

盜んだ品の分け前爭ひから
相手を射殺しやうと企つ
恐い不良少年捕はる

盜んだ品の分前爭ひから恨みを懷き相棒を射殺、自分も自殺せんとした大膽不敵な不良少年が大連署に擧られた、市内八幡町茶販賣店持永源吾方の雇人小櫻こと有馬金廣（一七）は十日以前家出し行方不明であつたが、去る三十一日朝ヒヨツコリ歸店し、店主所有のブローニング

拳銃を盜 み、午後一時ごろ再び無斷家出したので、大連署に屆出で搜査中、一日午前十時ごろ中央公園滿倶グラウンド内で數名の不良少年と會合中を大連署員が取押へ、一味を本署に檢束取調べたところ、有馬は約一ケ月前、市内小崗子回春街居住大連檢車區西田某＝假名＝と共謀、市内某寫眞店の店員を唆のかし寫眞機一臺を窃取、入質したが

山分けの ことから西田と爭ひを生じ、ひどく西田に暴行されたのに恨みを抱き西田を射殺の目的で拳銃を盜み出した旨を自白した、滿倶グラウンドで會合してゐた不良少年數名とは何等の連絡ないことが判つたので有馬を除く全部は歸宅を許されたが、窃盜共犯者たる西田及び某寫眞店々員に就き引續き取調べてゐる

軟式野球大會の大連豫選會
來る九日から開催

スポンヂ野球の隆盛は近時各種スポーツを凌駕し大衆的スポーツとして大いに歡迎されて居り滿洲でもこれが統一機關の設置を要望されてゐる折から先般これが統一機關たる大日本軟式野球協會滿洲支部の設置を見たことは既報の如くであるが愈々來る八月九日より滿洲豫選會第一次豫選たる大連豫選會を本社後援の下に開催することに決定した、參加規定左の如し

▲參加資格 實滿兩軍選手を除いたチーム、一チーム九名補缺三名
▲申込方法 選手氏名チーム名を明記の上參加料二圓を添へ責任者を以て來る七日までに申込みのこと
▲申込場所 連鎖街體育室内日本軟式野球協會大連支部宛
▲使用ボール 日本軟式野球協會制定ボトル（三十八匁）
▲使用ルール 協會ルール
▲主將會議 八月八日

黄金臺で盆踊り

逐日人出を增して行く享樂地黄金臺海水浴場も昨今その盛りの極に達し黄昏頃からの家族連、モボモガ連の散策者も多いので本月の中旬を卜し同地運動場に於て盆踊りを開催せんとの議がある、歐拍子は擴聲蓄音機を利用し踊子には取敢ず五花會壽連中の別嬪連を總裝せしめてはどうかとの案で目下主唱者側も主催者及び世話人に就て考慮を爲してゐるが實現の曉は一層の人氣を呼ぶ事であらう

滿倶慘敗
對橫濱高商戰

【東京三十一日發】滿倶對橫濱高商戰は午後四時十五分より戸塚球場にて三浦、西村兩氏審判にて滿倶の先攻にて開始、横商は最初より好打を浴せ安打敵失を利し一回三點、二回四點をリードし七回更に三點を加へて山口をノックアウトしたるに對し滿倶は橫商荒木の曲球を打ちあぐみ漸く五回一點、七回三點を返したのみで九アルファー對四で滿倶慘敗した、閉戰六時十分、バッテリー滿倶山口、濱崎、片岡、橫商荒木宇佐見

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
滿倶	0	0	0	0	1	0	3	0	0	4
橫商	3	4	0	0	0	0	2	0	A	9A

滿倶士氣旺ん

【東京特電三十一日發】都市對抗野球大會のため上京した滿倶チーム中澤監督、辻田主將外二十一名は打揃つて三十日午前着京滿鐵支社を訪問の上、明治神宮參拜、午後四時より熱暑の中を帝大球場にて練習、今日午後四時より早大球場にて橫濱高商倶樂部と試合をした、都市對抗野球戰を前にして全軍元氣旺盛、覇を眼ざして緊張してゐる、大滿支社長は一行を歡迎して一日正午赤坂の幸樂に於て盛宴を開き大いに士氣を鼓舞する筈である

陸軍異動
一見平凡のやうで實は味がある

◇…今度の定期異動では後進に途をひらくため勇退するであらうことを期待されてゐた大將が三名あつた、ところが例の軍制改革問題と、明春の國際軍縮會議に絡んで、此等の重大問題に善處するためと同じ軍部といつても海軍との振合ひを考慮に加へて古參大將が居殘りとなりたゞ技術本部長吉田豐彦大將だけが引退した

◇…軍縮會議の陸軍全權、その隨員などは主席全權が決定しないので今度の異動には姿を見せないしかし第四師團長阿部信行中將が陸軍次官杉山元中將を派遣する事は確定的のもので之に伴ひ軍務局長小磯國昭中將の陸軍次官、整備局長林桂少將の軍務局長に榮任することも今回の異動から見て愈々確實と見るべきである

◇…今回の異動はその發令を見ると正に大異動ではあるがその内容において極く平凡なと目ぼしいものがない、師團長に轉補された西、廣瀬、坂本、佐藤の四中將孰れも士官學校第十一期生といふだけで他期生との振合ひから順當に轉補されたといふ程度、この十一期生には軍刀組は一人もなかつた。

◇…關東軍司令官菱刈隆大將（鹿兒島）は武藤大將に代つて當然教育總監に補せられるものと見られてゐたが、武藤總監が軍改案未解決のため現職に殘ることになつたので先づ軍事參議官といふわけ、臺灣軍司令官渡邊錠太郎大將（愛知）の航空本部長兼軍事參議官は航空本部長の本職の方は二度の勤めである、空軍十年の時期に際會して同大將の返り咲きは蓋し適任であらう、それにしても意外中の意外といふべきは古谷航空本部長の依命である、當然師團長に轉補さるべく見られた同中將がこの憂目を見たのは宇垣大將に見放されたものと傳へられる

◇…緒方新技術本部長（佐賀）眞崎新臺灣軍司令官（佐賀）は阿部第四、松井第十一、岡本近衞各師團長等と共に多士濟々たる士官學校第九期生の軍刀組、孰も順當な榮轉である

◇…最も出色あるは、經理學校長小野寺長治郎主計監（宮城）の陸軍省經理局長兼補である、同主計監は南陸相が支那駐屯軍司令官當時の幕下で夙に肝膽相照し、當時の徐州錚行李詰事件は餘りにも有名な逸話である、南陸相を中心として新經理局長と建川參謀本部第一部長とのコンビネーションは陸軍部内注目の焦點である

◇…本庄關東軍司令官（兵庫）は支那公使館附武官として令名があつた、參謀總長候補の一人眞崎新臺灣軍司令官（佐賀）と共に立派な大將候補だ

◇…橋本參謀本部第二部長（東京）は溫厚篤實の中に燃える樣な愛國心を藏する外國通就中ロシア通の好將軍であり、田代支那公使館付武官（佐賀）は支那通でその判斷の正確と觀察の精妙を以て部内に鳴る學者肌の武將

◇…秦東京警備司令官（福岡）は稀代の新聞班長で抑々の遣り手である、滿州事件（當時奉天特務機關長）がなければとうに要部を占めて居た筈

◇…今度の異動は要するに南陸相の人柄同樣、一見平々凡々の感はあるが深く見ると却々味がある

殺すと、人質を山中で脅迫
『金は十日以内に持參せよ』
鞍山の自宅へ手紙

三十一日滿洲銀行鞍山支店出納係候立峰を人質として拉致した頭目北國馬賊團十數名は午前七時ごろ千山無量觀に於て朝食の際候に對して「金十六萬圓を今日より十日間以内に千山無量觀に持參すべし若し期限内に持參なき時は耳、手を殺ぎ殺し送る」と脅迫し、候本人はそのため已むなく妻女に宛て「財産全部を整理して送れ」と書いた手紙を送つたが、この手紙は朝食の際大孤山に通勤する苦力を抑留して脱き候にこの書面を認めさした上これを該苦力に託し大孤山より郵便にて發送したものらしいが、候方には三十一日午後一時ごろ到着した、これに就て滿鐵支店では絶對に出金せぬと語つて居た【鞍山電話】

火事二件

卅一日午後六時十五分ごろ西崗子□□街四丁目百五十七番地□□方から……

五十餘名の馬賊と交戰
鞍山の警官隊

滿鐵鞍山支店行員を拉致した馬賊搜査のため大孤山に追撃中のわが官憲は三十一日午後五時頃、馬賊五十餘名に遭遇し交戰中【鞍山電話】

【寫眞は馬賊に拉致された候氏】

日米水上競技
プログラム決定

【東京特電三十一日發】八月七日より三日間神宮プールに於て擧行される日米對抗水上競技のプログラムは左の如く決定した

▲第一日（八月七日）入場式、二百米背泳、女子五十米自由型、二百米自由型、飛込競技、女子二百米自由型、八百米自由型三百米メドレーリレー
▲第二日（八月八日）女子四百米自由型、百米背泳、飛込競技、四百米平泳、高飛込、四百米リレー
▲第三日（八月九日）女子百米背泳、千五百米自由型、二百米平泳、女子百米自由型、八百米リレー、閉會式

白米を急送

【上海三十一日發】水攻めに遭つてゐる漢口居留民團から上海民團へ白米二百俵急送を依賴し來たので二日發日清汽船寶陽丸で急送すべく準備中

失火したが、急を聞いて馳せつけた消防署員の活動により大事に至らずして消失した原因は沙河口署で取調中であるが煙突の不始末からしい▲卌一日午後六時卌四分ごろ信濃町公設市場構内の引込電線から發火し約三十米を燒失したが、消防署の活動で消火した、大連署で原因取調中であるが漏電と見られてゐる

朝鮮疑獄の上告棄却

【京城一日發】朝鮮疑獄事件の肥田理吉、增原一馬兩名に係る詐欺事件の上告審は一日午前十一時京城高等法院で金子裁判長係山澤檢事立會の下に開廷裁判長より上告棄却を言渡した

聚落兒童交代

滿鐵學務課の星ケ浦における沿線兒童聚落に來連中の奉天兒童百六十名は一日午前十時半列車で奉天以南の兒童百六十名は二日午前十時四十分發列車でそれぞれ歸校したが第三回目の撫順兒童二百名は二日十六時五十分着列車で安東方面兒童百九十名は三日午前七時着列車でそれぞれ着連の筈

水泳場開場式延期

滿鐵水泳部では今二日黑石礁において盛大なる開場式を擧行する筈であつたが種々なる事情のため來る九日に華々しく開場式を擧行することに延期された

藝術寫眞展

三、四日の兩日午前九時より午後六時迄オリエンタル寫眞工業株式會社主催の下に滿洲日報社講堂に於て滿洲文化藝術寫眞展覽會を開催するが、大連、奉天、ハルビン、四平街、長春等から參加あり、出品五十點にして其の盛況を豫想されてゐるが、入場無料にして一般來會を歡迎すと

小包通關成績

大連郵便局取扱にかゝる七月中の內地行小包郵便物は一萬六百二十五個でこれを前月に比較すれば八百二十九個多く本年に入つてからは二月に次いで取扱物數の多い月であつた而して宛地通關の指定あるものを除いた殘餘の八千六百七十六個に對し通關檢査の結果は五百八個だけ課税された

安樂椅子

野人そのものである滿洲體育主事の林田學君は無類の國粹主義者だがその反面また「如何なることでも自然に即しないのは駄目だい」と自然愛好者だ。

……◇……

話はチト古いがこの間內田滿鐵總裁を熊本縣人會で招待した時「內田總裁は毎日鹿爪らしい宴會ばかりで面白くなからうから俺達は野趣横溢の園遊會をやつていけよう」と肥の家前庭でやつたがそれが圖に當つて內田總裁も大喜び、肥後の鄕土趣味を遺憾なく發揮し參會者も大喜びで野人林田氏も大滿足だつたらしく內田總裁から「前略久方ぶりで十分の鄕土趣味に浸り思はず青年の當時に立ち歸つた心持になり頗る愉快に一夕を過し積日の疲勞を洗滌し去りたる思ひ之有各位の御芳志誠に有難候云々」

……◇……

林田さんこの感謝狀を手にして「ドウダイ、總裁を若返らせ元氣潑剌さして滿鐵のために働いてもらふのは俺達若者だ」と氣燄盛るべからざるものがある

曙の鐘（5）

倉田潮　淺枝次朗畫

白鷺の選士（五）

百合子は春木にたえ子を引合せてから、改めてかう説明した。

「正雄さん、この月瀬たえ子さん、あなたと同郷で、しかも幼な友達なんですって」

「さうです」

百合子の説明を待つまでもなく春木は二度目に見た瞬に思ひついてゐたのだつた。彼の故郷の田舍町に昔から舊家で通る月瀬屋と云ふ造り酒屋があつた。かやぶきの大きい母屋に、古い倉が裏庭に二つついてゐた。その酒倉でない方の古倉で、春木は幼年時代を送つたのだとも云へる。朝からそこへ遊びに行つて「村の腕白同志」と毎日騒ぎ廻つて日を送つたのだつた。たえ子と夫婦にさせられて聡かしいままごとをしたこともあつた。今も幼年時代の追懐に耽るとき、彼は必ずその倉のにほひを思ひ出すのである。

しかし、その月瀬屋は春木が尋常小學三四年の時分に何うした譯か急に東京へ引つこして行つた。恐らく家が立ち行かなくなつた爲なのだらう。

「遠い昔ですが、まだちやんとおぼへてますよ」

と春木は思ひ出すまゝにその頃のことを話し出した。たえ子は背の高い體を少し前こゞみにして話を聴いてゐたが、時に黒い瞳を笑ひに輝かして無言の同感を表した。白粉けなぞは全くないのに、襟足の線が透き通るやうに白かつた。

「で、今は東京にゐられるのださうですね」

「さうですの」

「御家族は？」

「母と弟だけですの」

「それで、あなたが今まで働いて……」

「さうですの。一昨年父がなくなつてから大變困つてゐるのですわ」

と先程大體百合子から聞いてゐた家の事情を細に打ちあけた。父の死後彼女は可成り信用のある製藥會社に勤めたが、この頃その會社が傾きかけて、場合によると月給をくれない月さへあるそれに弟が今度尋常を卒業するので、中學にだけは是非入れてやりたい、でもう少ししつかりしたところへ這入らなければならない立場に立つてゐると云ふのだつた。

「で、淺草を訪ねられたのは…」

「職業紹介所から廻されたんですのよ。父の生前パブロバ夫人に踊りを習ふたことを履歴書にかいておいたら、レビューに出ないかとすゝめられたので……」

「出るつもりだつたのですか」

「ええ、家の爲ですから」

毅然と答へて、彼女はスラとした上半身を起した。家の爲には如何なる危難でも突破する——さう云ふ強い決心がおとなしい態度の裏から光をはなつてゐた。

「正雄さん」と百合子が言葉をさしはさんだ「何うでせう、この方あなたの、社に……。あなたはスポーツの餘徳で（失禮よ）初めから社長の秘書だつてぢやないの。ぢや、一人ぐらゐ……」

たえ子は百合子のさう云ふ言葉を聞くと、まだ稚い女にかへつて恥かしげにうつむいて了つた。横から眺めると其の眼がへの字をさかさにしたやうに見えて、長いまつ毛が瞼をかげらしてゐた。

「僕まだ社に這入つたばかりで」

と春木は一寸考へてから答へた。

「人を御世話する柄ぢやないですけど、一寸心あたりがありますから、いゝです、引受けませう」

「ブラボー、白鷺の選士！」

、百合子がさう云つて笑ふと、たえ子も眼にあふるゝばかりの感謝をたたえて初めて明るく笑つた。聡い顔が急にほころびて、眞紅な花が咲き出したやうな無言の美しさだつた。

新刊紹介

▲滿蒙の重大化と實力發動（細野繁勝著）著者は國民新聞の前編輯局長だが、一昨年上梓した「滿蒙管理論」の一著に依つて俄然東都操觚界に於ける滿蒙通の權威として知られ爾來蘊蓄を傾けて研究して居たが今回また本著なる、著者の如き權威ある滿蒙通が時局の重大性を巧みに捉へてこれを一流の筆法を以つて論じたゞけでも有意義なことは云ふまでもない、内容は▲苦難に喘ぐ日本▲國際日本の正視▲對支外交の退轉▲死活線上の滿蒙▲支那の對日挑戰▲日支交戰と米露▲開戰の波動および效果等に大別されてゐるが近來漸く滿蒙問題に關する世論の喧しき折柄、各種の關係著書中の最も權威ある好著の一つとして、本書を敢へて江湖に薦む（四六判二百三十頁、價五十錢、東京巧藝社發行）

▲新聞全集（第二卷）フランス新聞の動搖・喜多壯一郎著）新聞紙とフランス革命前後のフランス新聞の論との立體的考察の一部分として新聞紙と革命とが、過去においてどんなであつたか、それをフランス革命に求めたのである（價五十錢、東京市京橋區銀座西四ノ五新聞の新聞社）

▲農業世界（八月號）價四十錢、東京市小石川區戸崎町四十六博文館

▲調査月報（第七號）價三十錢朝鮮總督府發行

▲滿洲遞信協會雜誌（七月號）價五十錢、大連市大廣場遞信局内滿洲遞信協會

▲性（八月號）價三十錢、東京市小石川區宮下町五十六日本體性學會

▲新青年（夏季增刊）中篇探偵小説傑作集、紐育ギャング成長記（砂土原袈八）脱獄囚・F・Wホーナング）等他二十八篇（價六十錢、東京市小石川區久堅町百八番地博文館）

▲滿洲建築協會雜誌（第七號）價六十錢、大連市紀伊町八十五番地滿洲建築協會

▲民衆時論（七月號）價五十錢、奉天加茂町九番地民衆時論社

▲同仁（八月號）價二十錢、東京市神田區北神保町二十番地同仁會

▲つはもの（三百二號）價四錢、東京牛込區原町三ノ八つはもの社

▲文學時代（八月號）夏の隨筆、世界を震撼させた最近の人物、夏の新感覺、世界秘密結社秘話他小説八篇（價四十錢、東京市牛込區矢來町七十一番地新潮社

▲海外（八月號）南洋發展大座談會（價四十錢、東京市落合町文化村海外社）

▲運（八月號）價三十錢、東京市神田區北神保町三宏運社

▲セルパン（八月號）海洋文學號季節の横顔（松　讓）私の愛好する島と岬（井伏鱒二）海（久野豐彦）價十錢、東京市麴町區二番町五第一書房

▲露西亞時報（百四十一號）北滿勞働者に關する考察、滿洲貿易と中華民國貿易に於ける其位置等　價五十錢、哈爾濱道裡東經緯街四哈爾濱商品陳列館）

▲内外蒙古の横顔（玉井莊峯著）滿蒙と人々は簡單にいふ、だが滿洲はよく人の識るところであるが蒙古（内蒙古、外蒙古）は依然怪奇、謎の國として露好みの現代人の興味を唆つてゐる、著者は一介の畫かきとして内外蒙古に遊ぶこと七年其の間の紀行を書いたものでスケッチを頁一枚毎に挿入し加ふるに寫眞數葉、讀んで面白く又得るところも多い（菊判布三百十二頁、價二圓八十錢、東京市外落合町文化村二ノ三海外社）

けふの放送

大連 JQAK 八月二日午後七時三十分

▲ニュース▲童話（壬生の鞭）成島成夫▲謡曲（三井寺）梅若流渡邊三作▲清元（三千歳）唄岡崎、同牧、三味線清元延谷富▲小唄（イ）柱川（ロ）高時（ハ）秋の夕邊（ニ）いつしかに、櫻川遊女助▲中國劇（洪洋洞）連東倶樂部々員▲ラヂオ體操▲料理獻立▲天氣豫報

東京 JOAK 八月二日午後六時三十分

婦人山岳の夕（日比谷より）▲講演（山岳の神秘）黒田よれ子▲獨唱、大倉ちゑ子、西條管絃樂團、指揮曲條伸造▲清談（一婦人と登山）（黒田義一郎）（二）歌舞伎の探偵趣味（大下歌治）▲俚謡唄三島一聲、八八福田調童、林田美團▲管絃曲（支那抜萃曲）西林管絃樂團